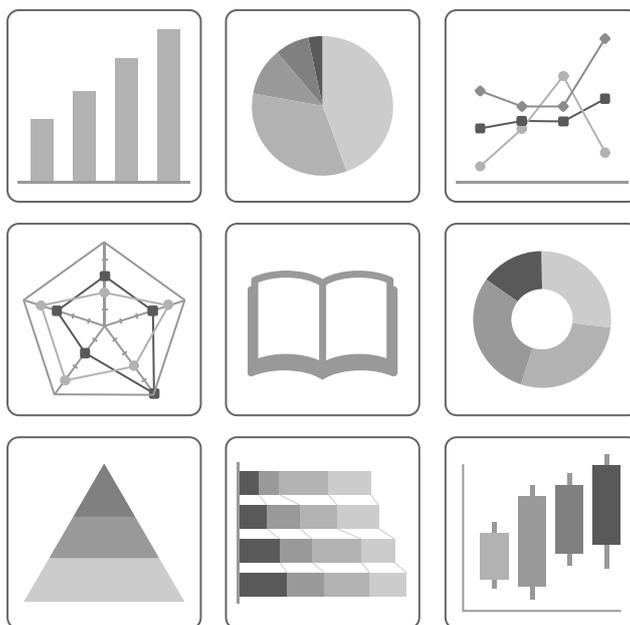


大津市
生涯学習に関する市民アンケート調査
調査結果報告書



令和4年3月

大津市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	生涯学習のイメージについて	4
3	生涯学習の実態と必要性について	6
4	生涯学習の満足度・重要度について	21
5	学習情報の入手について	23
6	学習成果の活用について	27
7	家庭教育について	29
8	地域と学校の連携・協働について	33
9	公民館・コミュニティセンターについて	38
10	社会教育施設について	39
11	大津市が設置している図書館の利用について.....	53
12	子どもの読書活動の推進について	59
13	「おおつ学」について	62
14	日常のお付き合いについて	64
15	生涯学習の振興方策について	66
III	自由意見	69
	調査票	85

I 調査の概要

1 調査の目的

大津市生涯学習推進計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

大津市在住の3,000名の方、無作為抽出

3 調査期間

令和3年7月9日から令和3年7月26日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	738通	24.6%

6 調査結果の表示方法

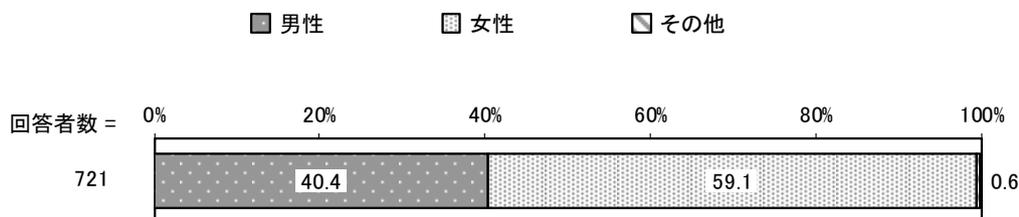
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

1 回答者属性

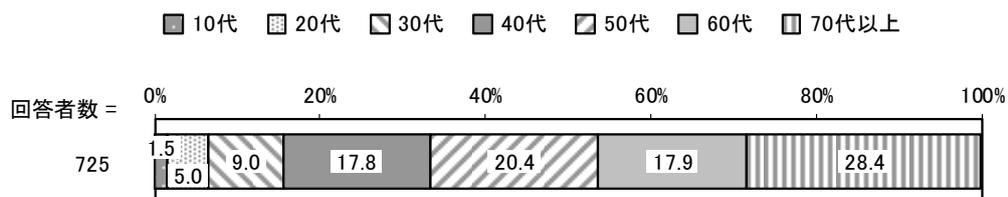
問 あなたの性別をお教えてください。()に記入

「男性」の割合が40.4%、「女性」の割合が59.1%となっています。



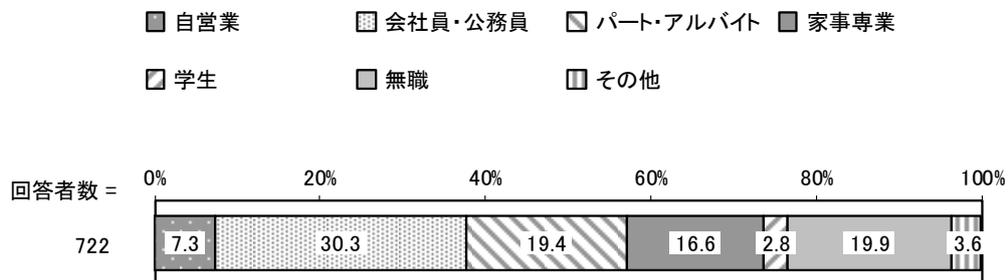
問 あなたの年代をお教えてください。(○を1つ)

「70代以上」の割合が28.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が20.4%、「60代」の割合が17.9%となっています。



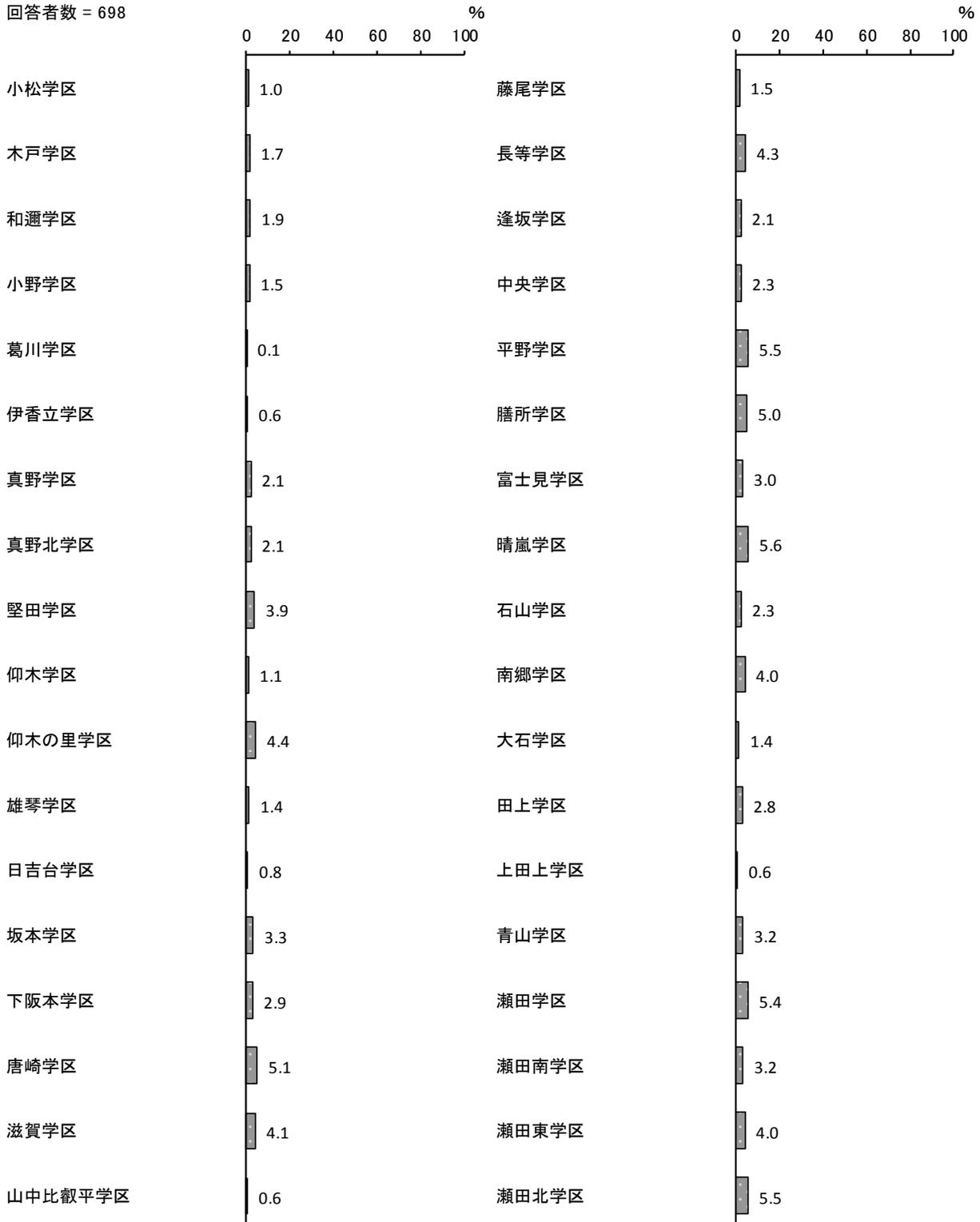
問 あなたは今、何をされていますか。(○を1つ)

「会社員・公務員」の割合が30.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が19.9%、「パート・アルバイト」の割合が19.4%となっています。



問 あなたはどちらの地域（学区）にお住まいですか。（○を1つ）

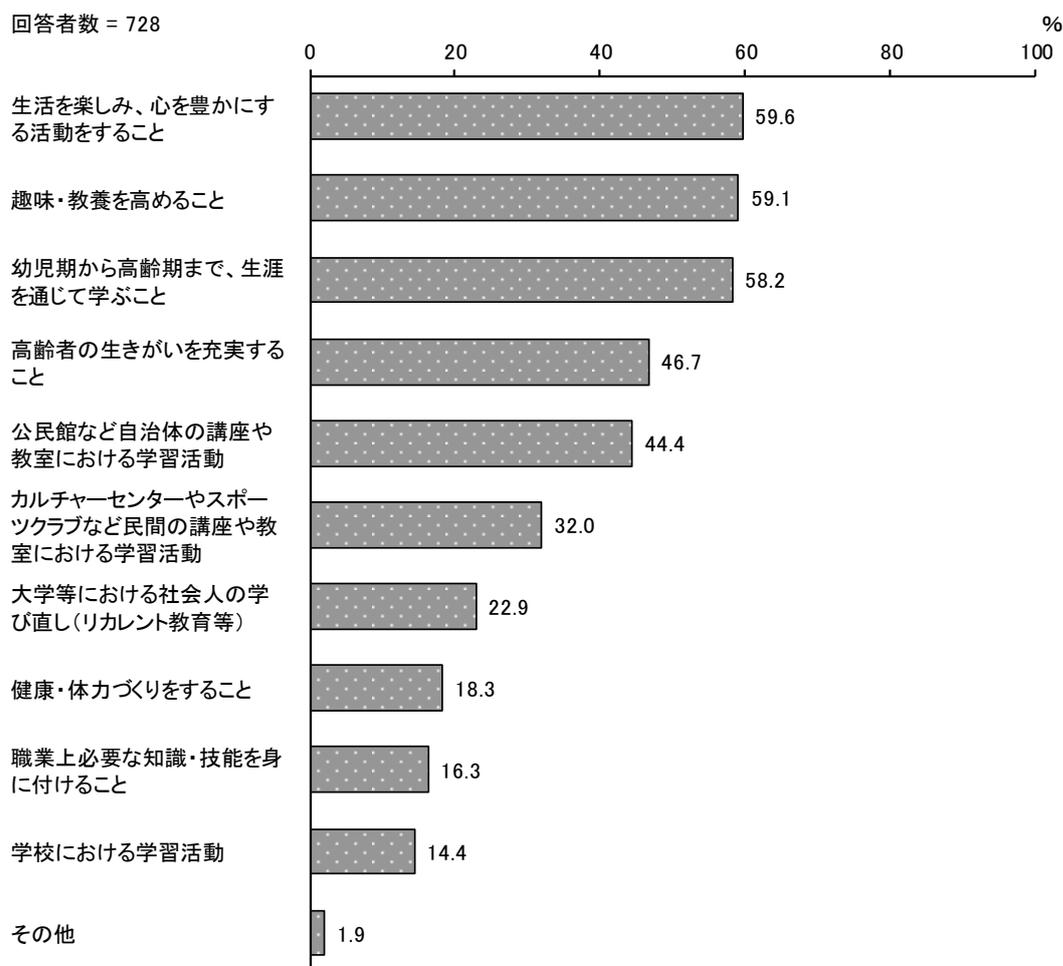
回答者数 = 698



2 生涯学習のイメージについて

問1 「生涯学習」とは、1. ~10. のようなことをいいます。これらのうち、あなたはどのようなイメージを持っていましたか。(あてはまるものすべてに○)

「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」の割合が59.6%と最も高く、次いで「趣味・教養を高めること」の割合が59.1%、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」の割合が58.2%となっています。



【年代別】

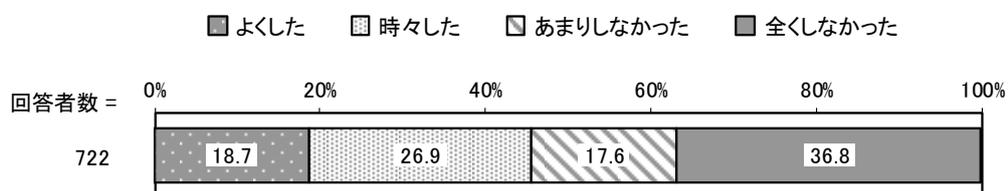
年代別でみると、年代が高くなるにつれて「高齢者の生きがいを充実すること」「生活を楽しむ、心を豊かにする活動をする事」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年代が低くなるにつれて「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数 (件)	生活を楽しむ、心を豊かにする活動をする事	趣味・教養を高めること	幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	高齢者の生きがいを充実すること	公民館など自治体の講座や教室における学習活動	ポータルセンターや民間講座	カルチャーセンターや講座等	大学等における社会人の学び直し（リカレント教育）	健康・体力づくりをする事	職業上必要な知識・技能を身に付けること	学校における学習活動	その他
10代	11	36.4	36.4	81.8	18.2	18.2	27.3	9.1	18.2	—	18.2	—	
20代	35	37.1	31.4	80.0	28.6	34.3	31.4	14.3	8.6	20.0	25.7	—	
30代	64	42.2	46.9	68.8	20.3	31.3	28.1	23.4	12.5	31.3	23.4	1.6	
40代	128	57.0	54.7	62.5	36.7	46.9	34.4	28.9	9.4	17.2	21.9	1.6	
50代	146	56.8	61.0	66.4	48.6	47.3	32.2	26.0	13.7	24.0	14.4	2.1	
60代	129	69.0	72.9	45.7	57.4	49.6	31.0	23.3	18.6	7.0	7.8	0.8	
70代以上	204	69.1	62.3	49.5	58.8	46.1	33.3	19.1	30.4	12.3	8.8	2.9	

3 生涯学習の実態と必要性について

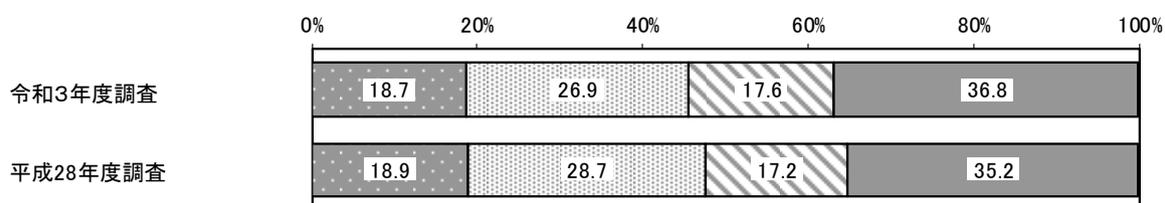
問2 あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。(○を1つ)

「よくした」と「時々した」を合わせた“した”の割合が45.6%となっています。



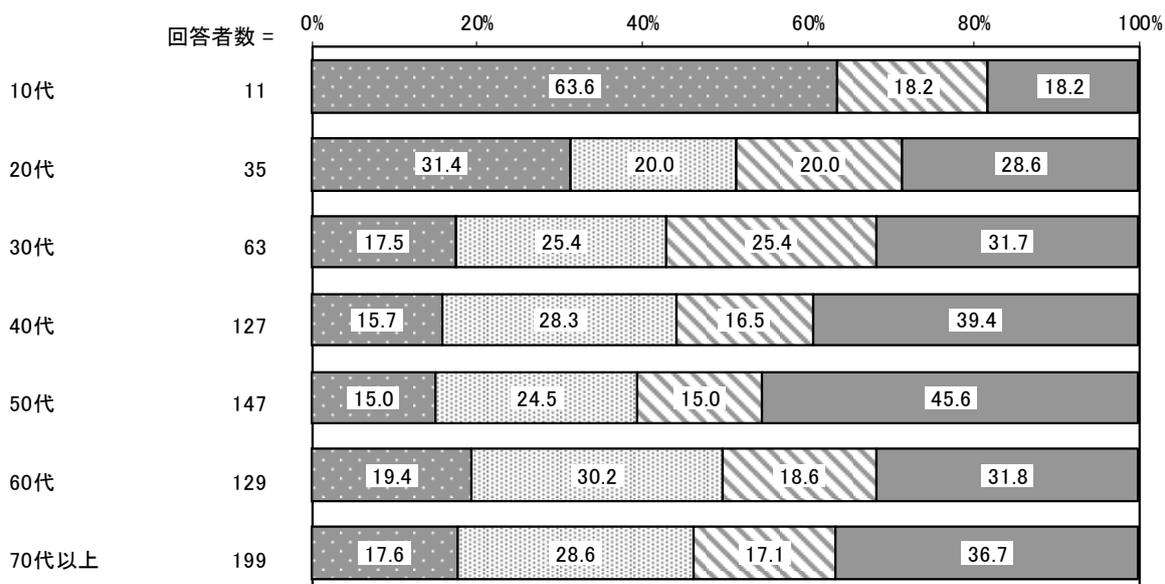
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



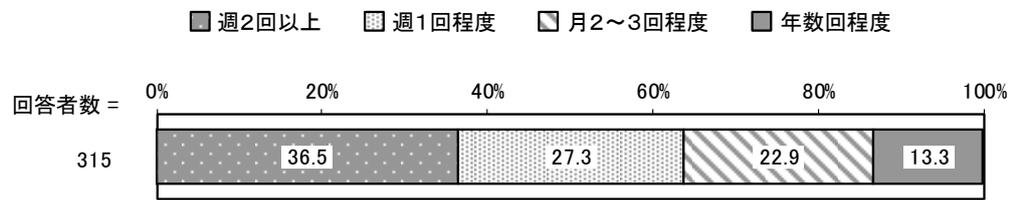
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれて「よくした」の割合が高くなる傾向がみられます。



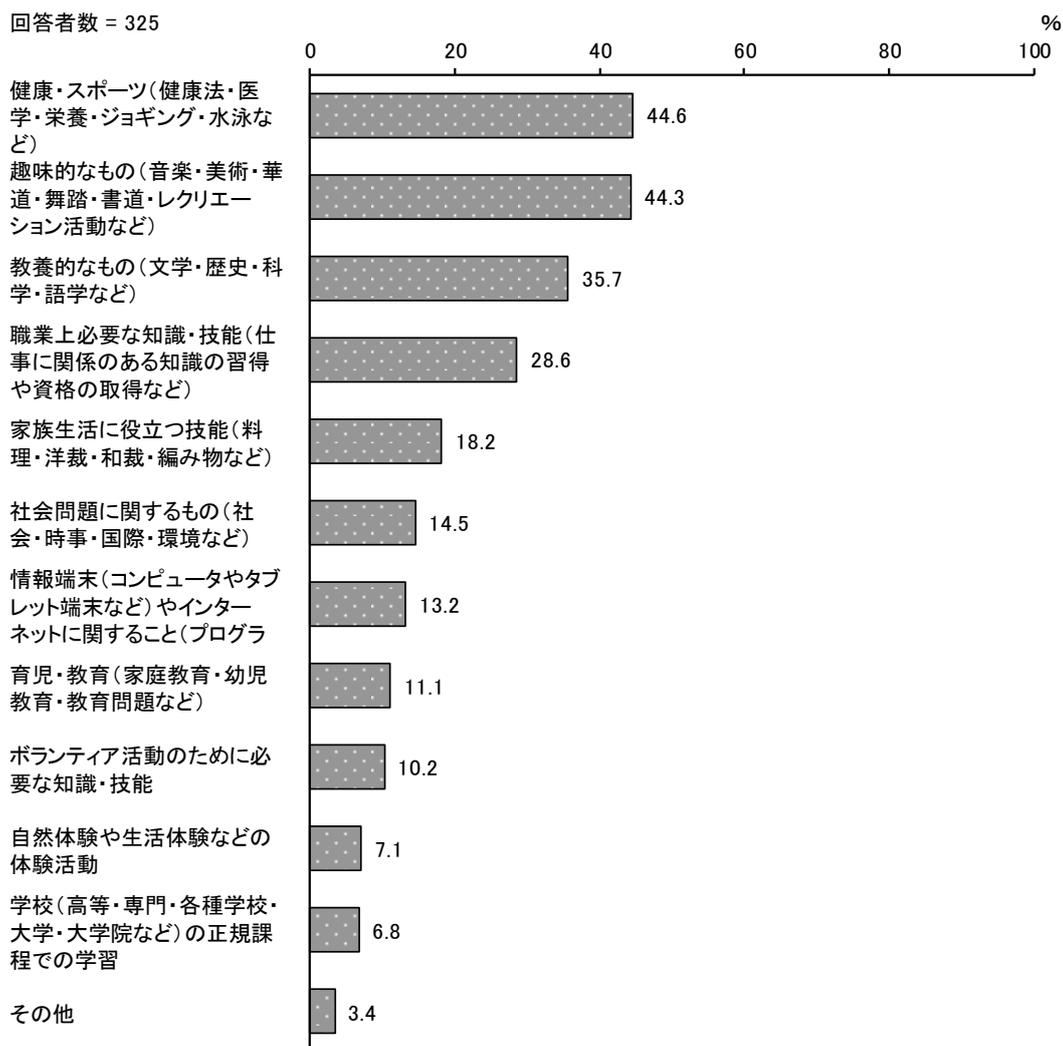
問3 あなたは、この1年くらいの間、どのくらい学習をしましたか。(○を1つ)

「週2回以上」の割合が36.5%と最も高く、次いで「週1回程度」の割合が27.3%、「月2～3回程度」の割合が22.9%となっています。



問4 あなたは、どのような学習をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「健康・スポーツ (健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」の割合が44.6%と最も高く、次いで「趣味的なもの (音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など)」の割合が44.3%、「教養的なもの (文学・歴史・科学・語学など)」の割合が35.7%となっています。



【年代別】

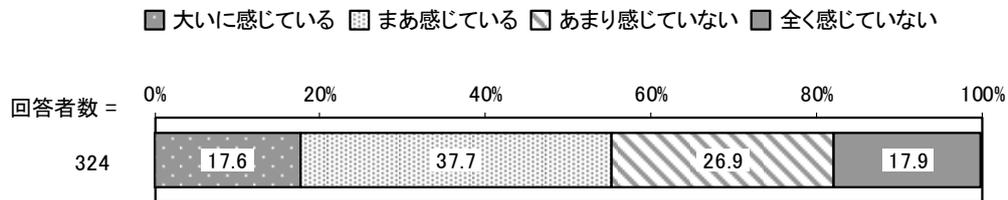
年代別でみると、他に比べ、70代以上で「趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など）」の割合が高くなっています。また、年代が高くなるにつれて「健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数（件）	健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）	趣味的なもの（音楽・美術・舞踏・書道・レクリエーション活動など）	教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）	職業上必要な知識の習得や資格の取得に（関係のある知識の習得や資格の取得に）	家族生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）	社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境など）
10代	7	57.1	42.9	85.7	42.9	28.6	57.1
20代	17	41.2	41.2	47.1	58.8	11.8	5.9
30代	27	25.9	33.3	33.3	48.1	18.5	22.2
40代	55	40.0	36.4	16.4	50.9	20.0	7.3
50代	57	42.1	40.4	43.9	45.6	19.3	19.3
60代	64	46.9	42.2	37.5	14.1	14.1	10.9
70代以上	91	51.6	57.1	35.2	3.3	17.6	14.3

区分	情報端末（スマートフォン・タブレット）の使い方など	育児・教育（家庭教育・幼児教育・教育問題など）	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の正規課程での学習	その他
10代	28.6	—	14.3	14.3	85.7	—
20代	11.8	17.6	—	5.9	47.1	—
30代	18.5	22.2	—	3.7	7.4	—
40代	14.5	23.6	9.1	3.6	7.3	—
50代	19.3	12.3	14.0	7.0	—	1.8
60代	9.4	4.7	7.8	10.9	1.6	3.1
70代以上	8.8	3.3	14.3	7.7	1.1	7.7

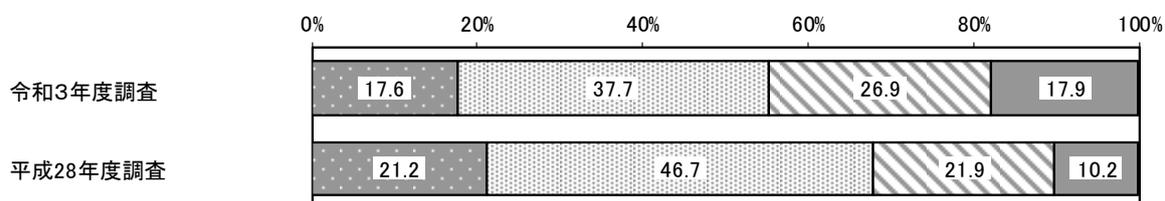
問5 あなたは学びを通して、地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じていますか。(〇を1つ)

「大いに感じている」と「まあ感じている」を合わせた“感じている”の割合が55.3%となっています。



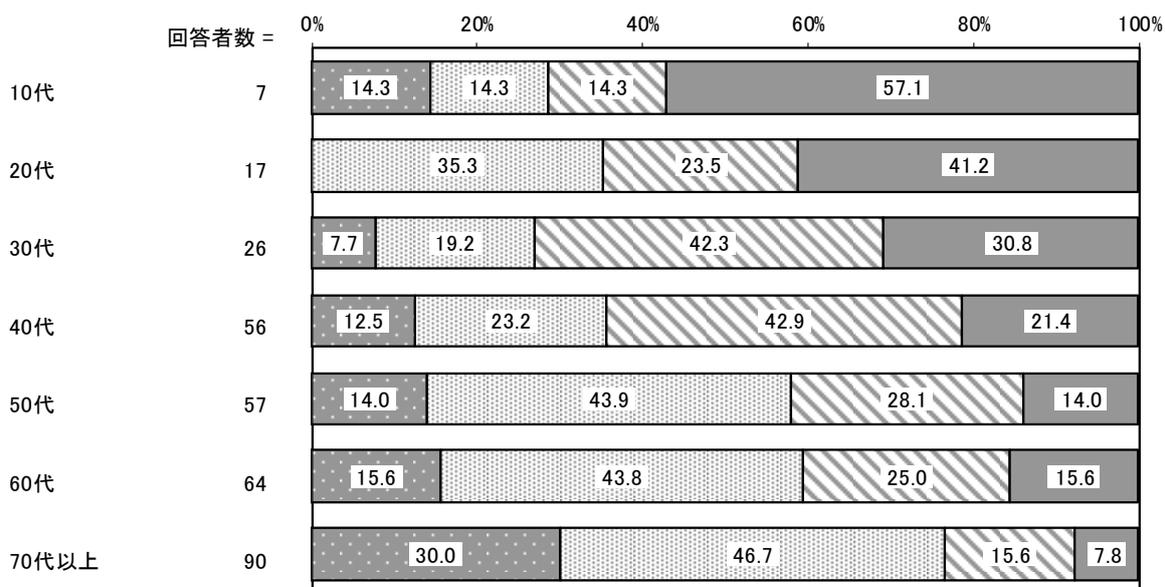
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、“感じている”の割合が減少しています。



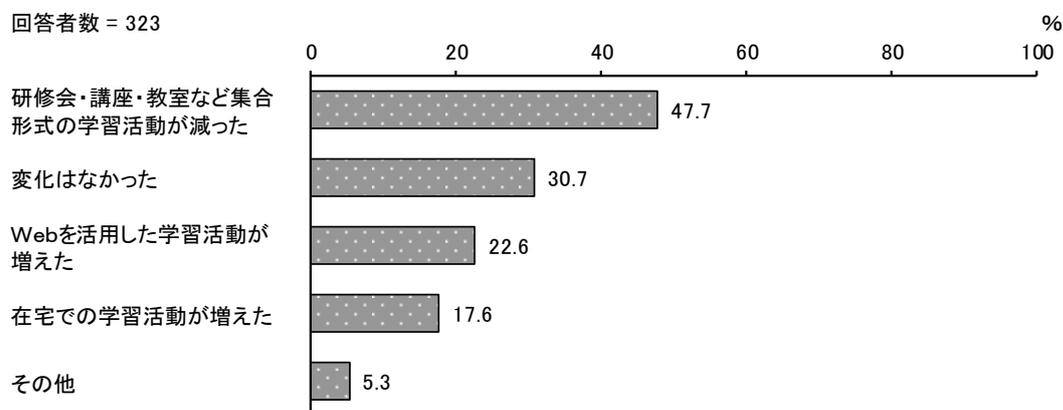
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。



問6 新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動全般に変化はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

「研修会・講座・教室など集合形式の学習活動が減った」の割合が47.7%と最も高く、次いで「変化はなかった」の割合が30.7%、「Webを活用した学習活動が増えた」の割合が22.6%となっています。



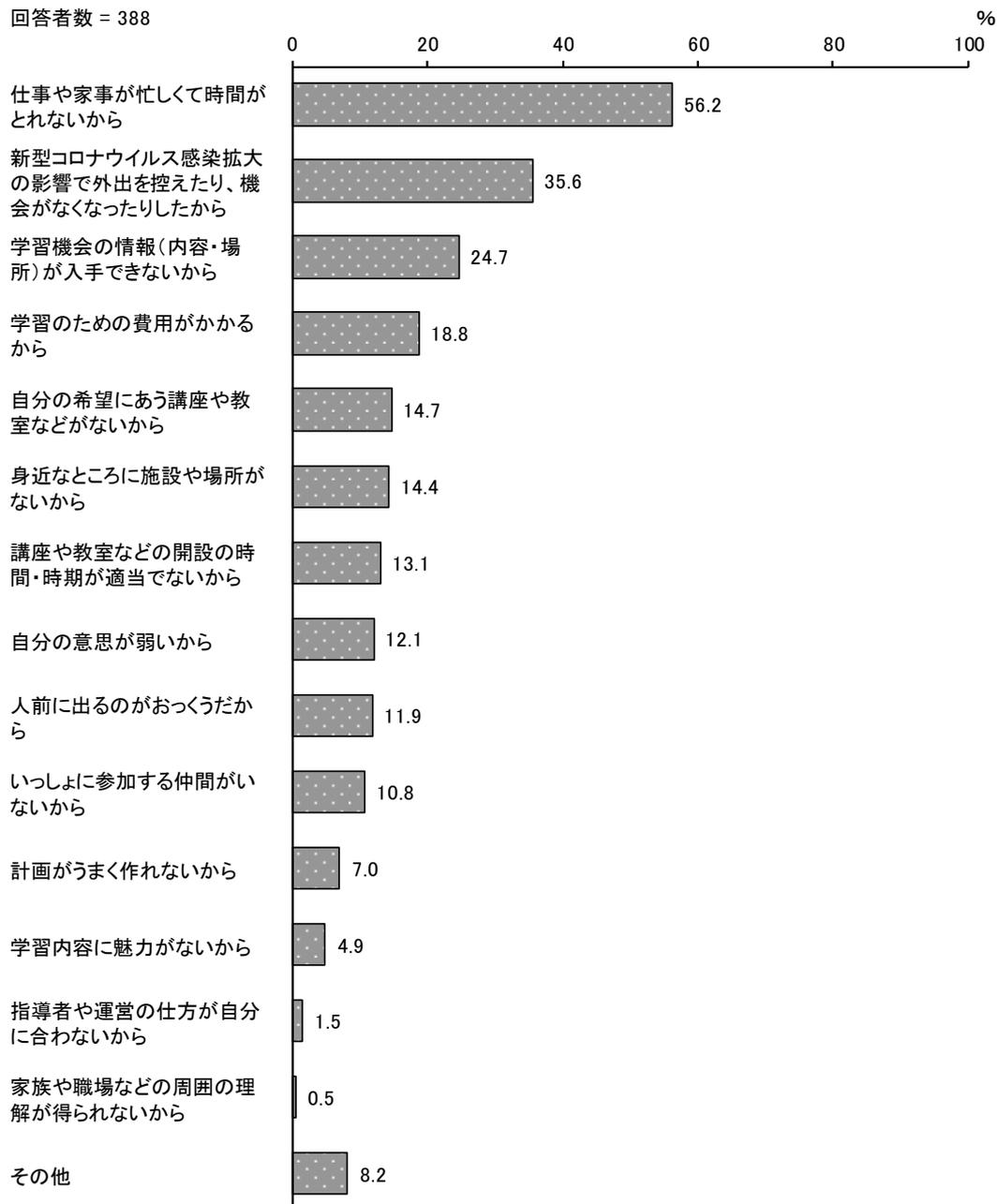
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「在宅での学習活動が増えた」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「Webを活用した学習活動が増えた」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数 (件)	変化の種類 (%)				
		研修会・講座・教室など集合形式の学習活動が減った	変化はなかった	Webを活用した学習活動が増えた	在宅での学習活動が増えた	その他
10代	7	42.9	14.3	71.4	42.9	14.3
20代	17	52.9	17.6	41.2	64.7	—
30代	26	30.8	38.5	38.5	11.5	—
40代	55	36.4	34.5	29.1	16.4	7.3
50代	57	49.1	26.3	29.8	15.8	7.0
60代	64	53.1	29.7	15.6	17.2	3.1
70代以上	90	56.7	31.1	8.9	11.1	5.6

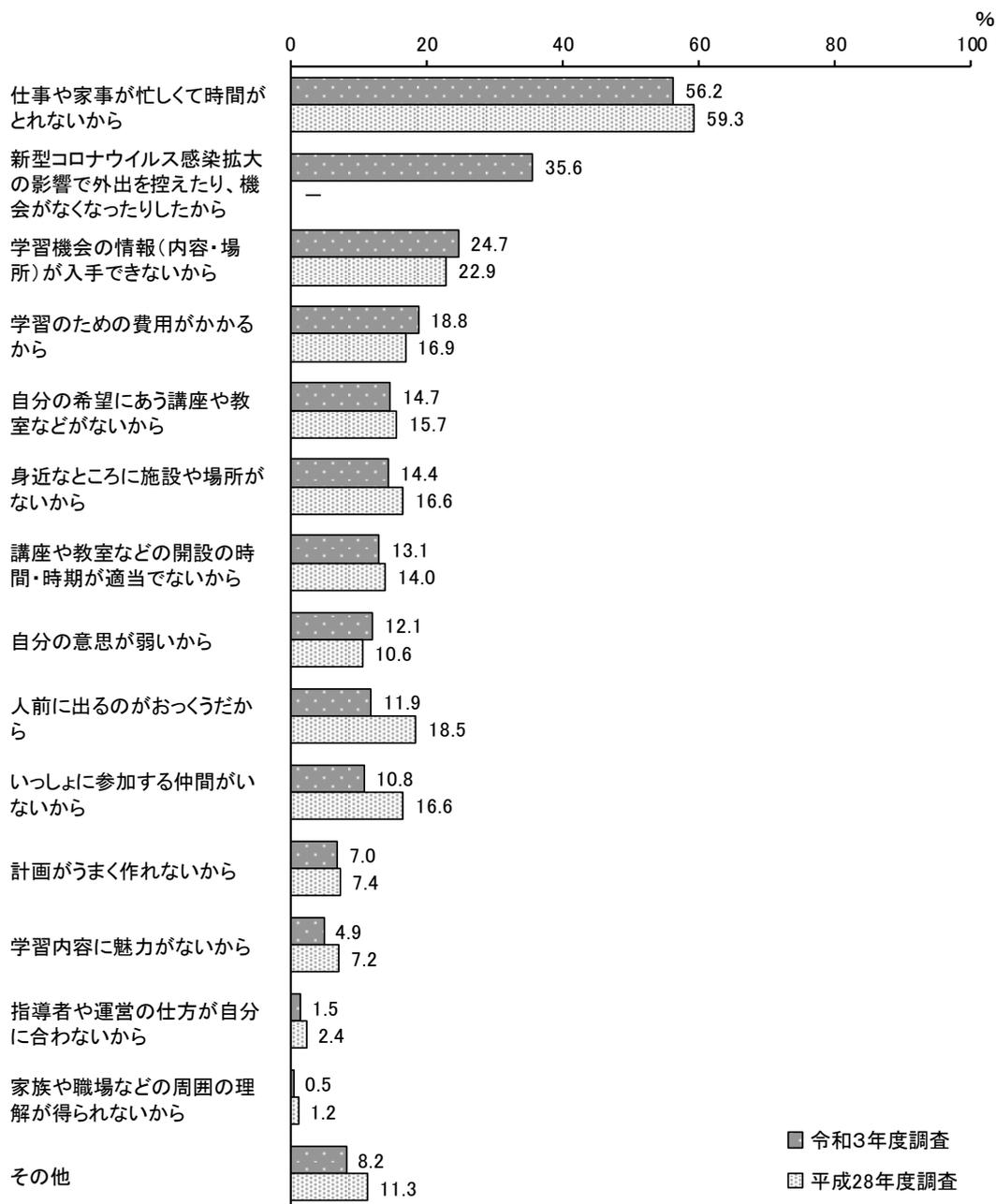
問7 あなたが「生涯学習」をしなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」の割合が56.2%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出を控えたり、機会がなくなったりしたから」の割合が35.6%、「学習機会の情報(内容・場所)が入手できないから」の割合が24.7%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「いっしょに参加する仲間がいないから」「人前に出るのがおっくうだから」の割合が減少しています。



※平成 28 年度調査には、「新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出を控えたり、機会がなくなったりしたから」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

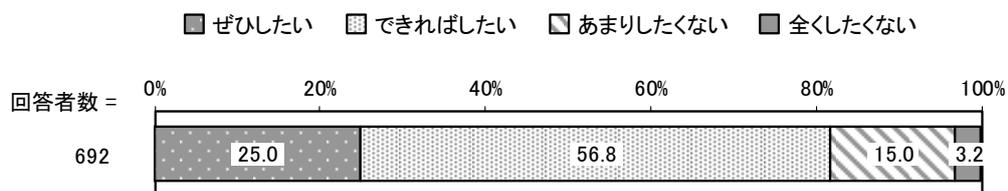
年代別でみると、他に比べ、30代で「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「学習のための費用がかかるから」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数（件）	（％）						
		仕事や家事が忙しくて時間がとれないから	新型コロナウイルスの影響で外出を控えたりしたから、機会がなくなったりしたから	学習機会（内容・場所）が入手できないから	学習のための費用がかかるから	自分の希望にあう講座や教室がないから	身近なところに施設や場所がないから	講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから
10代	3	33.3	—	33.3	—	—	—	—
20代	17	70.6	35.3	23.5	47.1	11.8	5.9	29.4
30代	36	83.3	22.2	22.2	38.9	13.9	22.2	16.7
40代	71	71.8	45.1	22.5	29.6	12.7	11.3	14.1
50代	89	71.9	27.0	25.8	15.7	15.7	7.9	14.6
60代	64	53.1	40.6	29.7	17.2	9.4	17.2	15.6
70代以上	104	23.1	39.4	23.1	4.8	19.2	19.2	6.7

区分	自分の意思が弱いから	人前に入るのがおっくうだから	いつしよに参加する仲間がないから	計画がうまく作れないから	学習内容に魅力がないから	指導者や運営の仕方が自分に合わないから	家族や職場などの周囲の理解が得られないから	その他
20代	17.6	17.6	5.9	11.8	5.9	—	—	11.8
30代	13.9	8.3	5.6	11.1	5.6	2.8	2.8	2.8
40代	7.0	8.5	11.3	4.2	7.0	1.4	—	4.2
50代	11.2	9.0	10.1	10.1	5.6	1.1	—	6.7
60代	12.5	14.1	14.1	4.7	—	1.6	—	6.3
70代以上	13.5	16.3	12.5	5.8	5.8	1.9	1.0	15.4

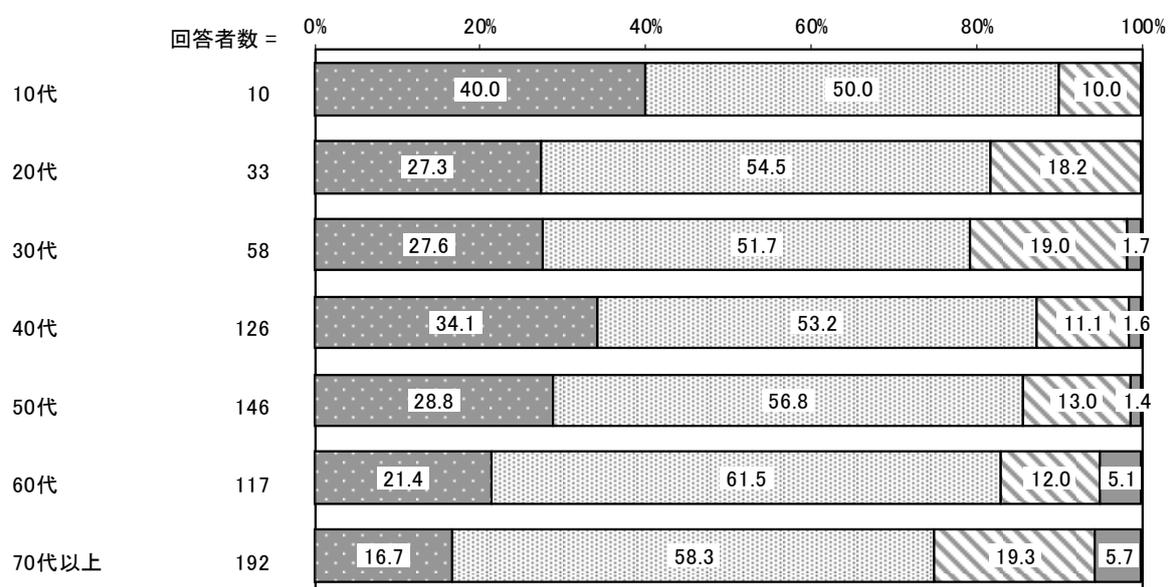
問8 あなたは、今後「生涯学習」をしたいと思いますか。(○を1つ)

「ぜひしたい」と「できればしたい」を合わせた“したい”の割合が81.8%となっています。



【年代別】

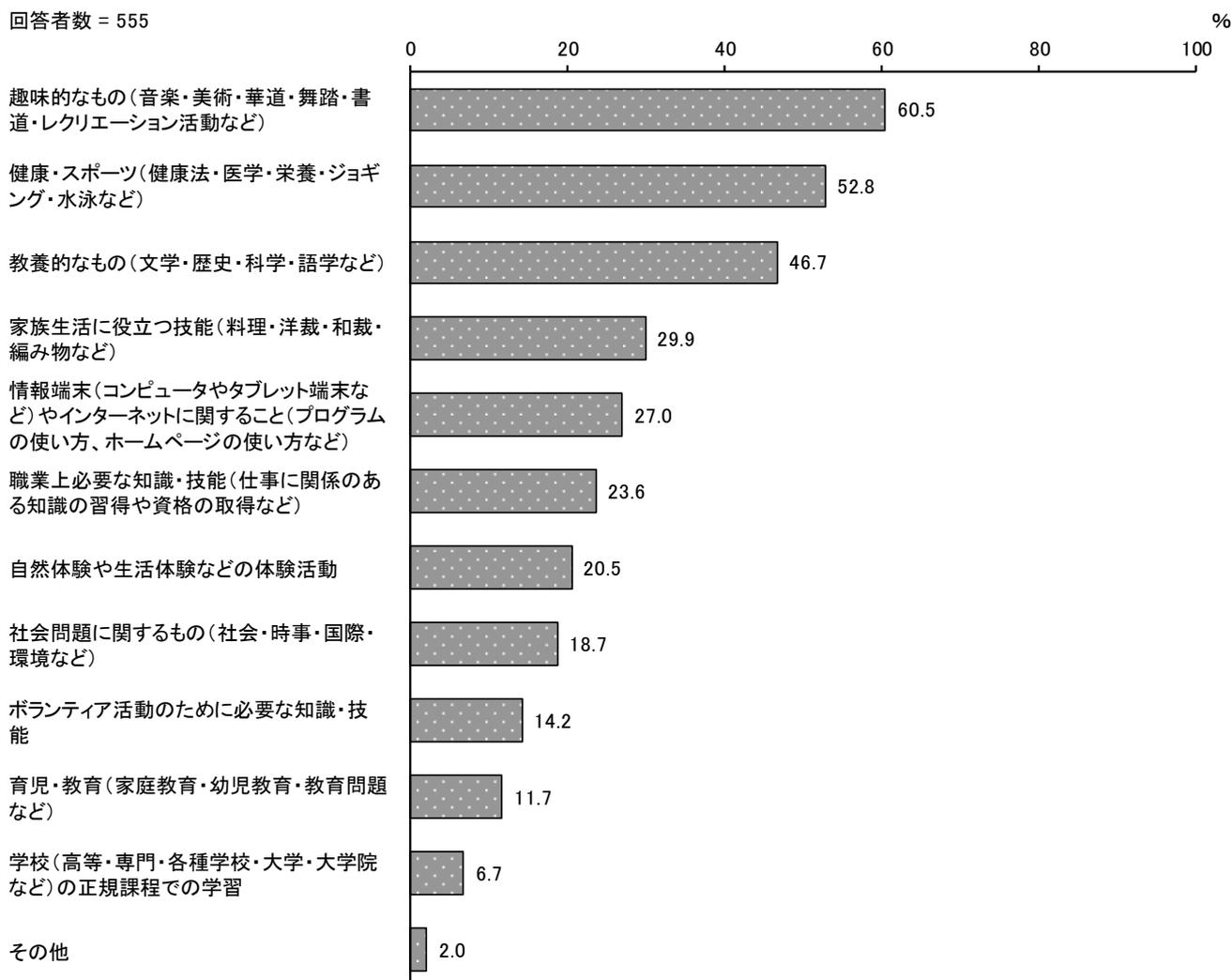
年代別でみると、他に比べ、70代以上で“したい”の割合が低くなっています。



問9 あなたは、今後どのような学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など)」の割合が60.5%と最も高く、次いで「健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」の割合が52.8%、「教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)」の割合が46.7%となっています。

回答者数 = 555



【年代別】

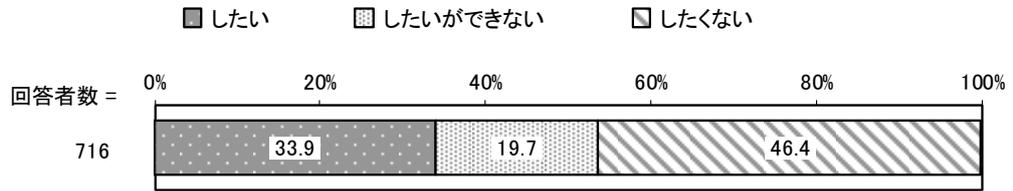
年代別でみると、他に比べ、20代で「趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など）」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「家族生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）」「育児・教育（家庭教育・幼児教育・教育問題など）」「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数（件）	趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など）	健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）	教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）	家族生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）	情報端末（コンピュータやタブレットなど）に関すること（プログラムの使い方など）	職業上必要な知識・技能（仕事に 関係のある知識の習得や資格の 取得など）
10代	9	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	33.3
20代	27	70.4	55.6	40.7	55.6	33.3	51.9
30代	44	61.4	59.1	36.4	43.2	27.3	47.7
40代	110	57.3	56.4	44.5	29.1	20.0	36.4
50代	121	64.5	62.8	54.5	36.4	34.7	28.9
60代	96	58.3	42.7	50.0	22.9	22.9	12.5
70代以上	140	59.3	45.7	43.6	20.7	25.7	4.3

区分	自然体験や生活体験などの体験活動	社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境など）	ボランティア活動のために必要な知識・技能	育児・教育（家庭教育・幼児教育問題など）	学校（高等・専門）の正規課程での大 学・大学院などの学習	その他
10代	22.2	22.2	11.1	11.1	44.4	—
20代	25.9	29.6	7.4	44.4	11.1	—
30代	27.3	22.7	6.8	29.5	2.3	—
40代	18.2	12.7	10.9	14.5	10.9	2.7
50代	18.2	21.5	21.5	12.4	5.0	3.3
60代	22.9	12.5	19.8	4.2	6.3	1.0
70代以上	19.3	22.1	10.0	1.4	3.6	2.1

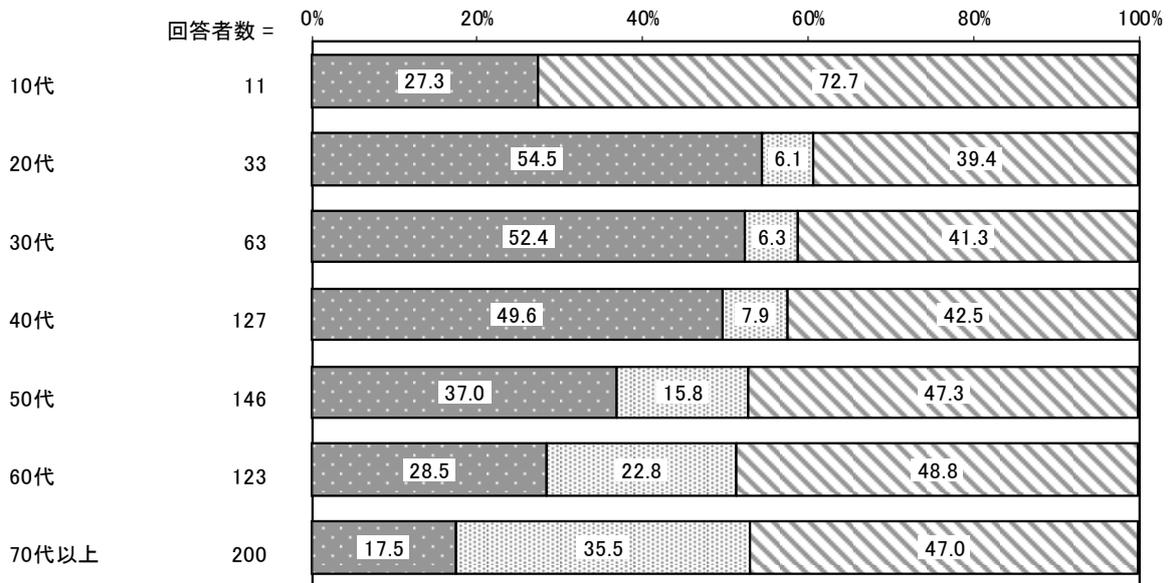
問 10 あなたは、今後、オンライン学習をしたいと思いますか。(○を1つ)

「したくない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「したい」の割合が33.9%、「したいができない」の割合が19.7%となっています。



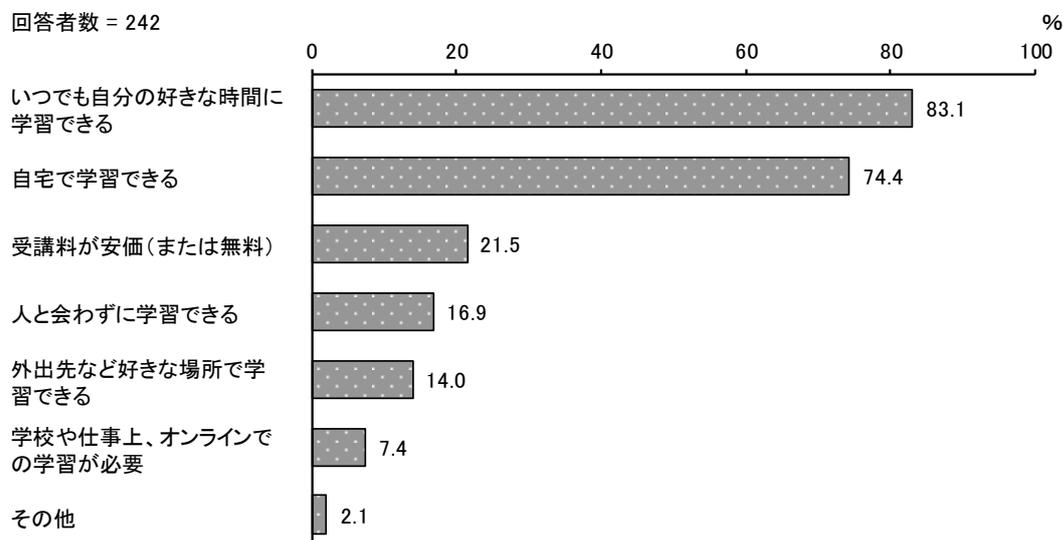
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれて「したい」の割合が高くなっています。



問 11 オンライン学習をしたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「いつでも自分の好きな時間に学習できる」の割合が83.1%と最も高く、次いで「自宅で学習できる」の割合が74.4%、「受講料が安価(または無料)」の割合が21.5%となっています。



【年代別】

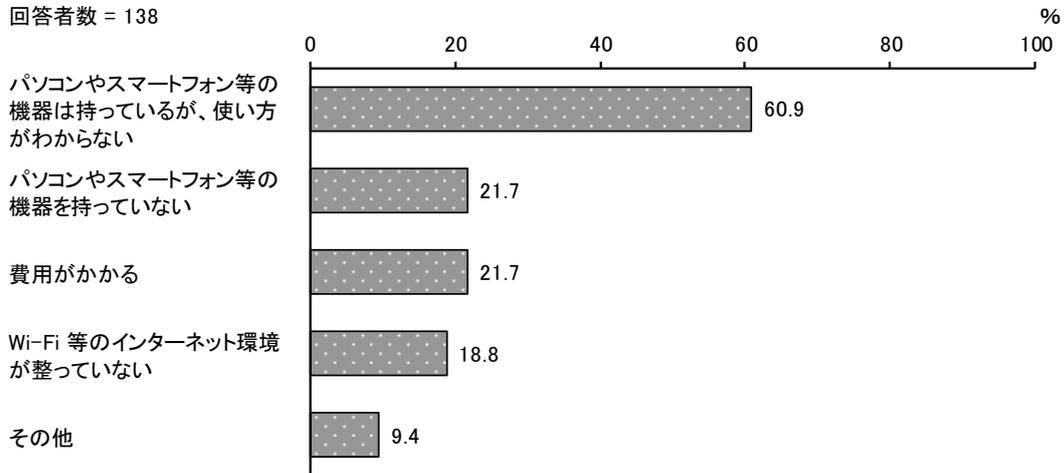
年代別でみると、他に比べ、20代で「自宅で学習できる」の割合が、50代で「いつでも自分の好きな時間に学習できる」の割合が高くなっています。

(%)

区分	回答者数(件)	いつでも自分の好きな時間に学習できる	自宅で学習できる	受講料が安価(または無料)	人と会わずに学習できる	外出先など好きな場所で学習できる	学校や仕事上、オンラインでの学習が必要	その他
10代	3	100.0	100.0	—	—	—	33.3	—
20代	18	83.3	94.4	27.8	33.3	33.3	5.6	—
30代	33	81.8	78.8	9.1	9.1	21.2	15.2	—
40代	62	85.5	75.8	32.3	21.0	14.5	4.8	—
50代	54	94.4	68.5	18.5	13.0	14.8	9.3	—
60代	35	77.1	62.9	11.4	20.0	5.7	2.9	8.6
70代以上	35	68.6	77.1	28.6	14.3	5.7	5.7	2.9

問12 オンライン学習をしたいができない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「パソコンやスマートフォン等の機器は持っているが、使い方がわからない」の割合が60.9%と最も高く、次いで「パソコンやスマートフォン等の機器を持っていない」、「費用がかかる」の割合が21.7%となっています。



【年代別】

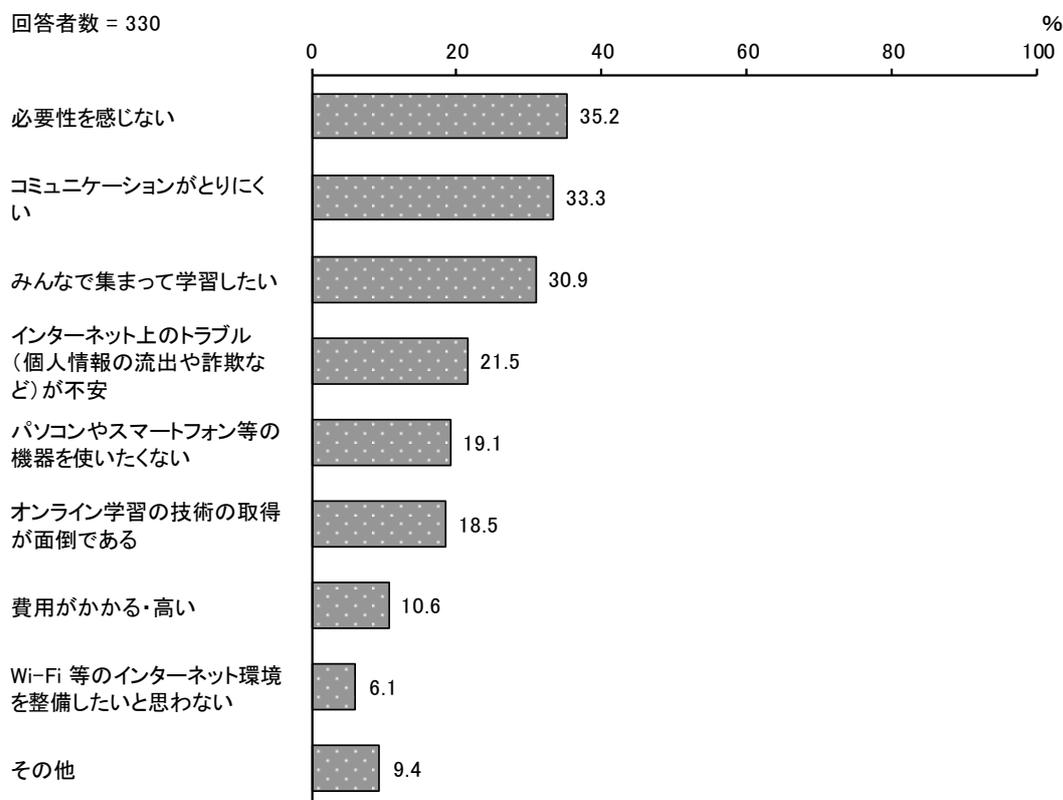
有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

(%)

区分	回答者数 (件)	持っているが使い方がわからない (%)	持っているが使い方がわからない (%)	費用がかかる (%)	Wi-Fi等のインターネット環境が整っていない (%)	その他 (%)
10代	—	—	—	—	—	—
20代	2	—	50.0	—	50.0	—
30代	4	50.0	—	25.0	25.0	25.0
40代	10	70.0	—	30.0	10.0	20.0
50代	23	69.6	8.7	39.1	21.7	13.0
60代	27	70.4	14.8	29.6	18.5	—
70代以上	69	53.6	33.3	11.6	18.8	10.1

問 13 オンライン学習をしたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「必要性を感じない」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「コミュニケーションがとりにくい」の割合が 33.3%、「みんなで集まって学習したい」の割合が 30.9%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「必要性を感じない」の割合が高くなる傾向が見られます。また、他に比べ、40 代以下で「コミュニケーションがとりにくい」の割合が、10 代と 30 代で「みんなで集まって学習したい」の割合が高くなっています。

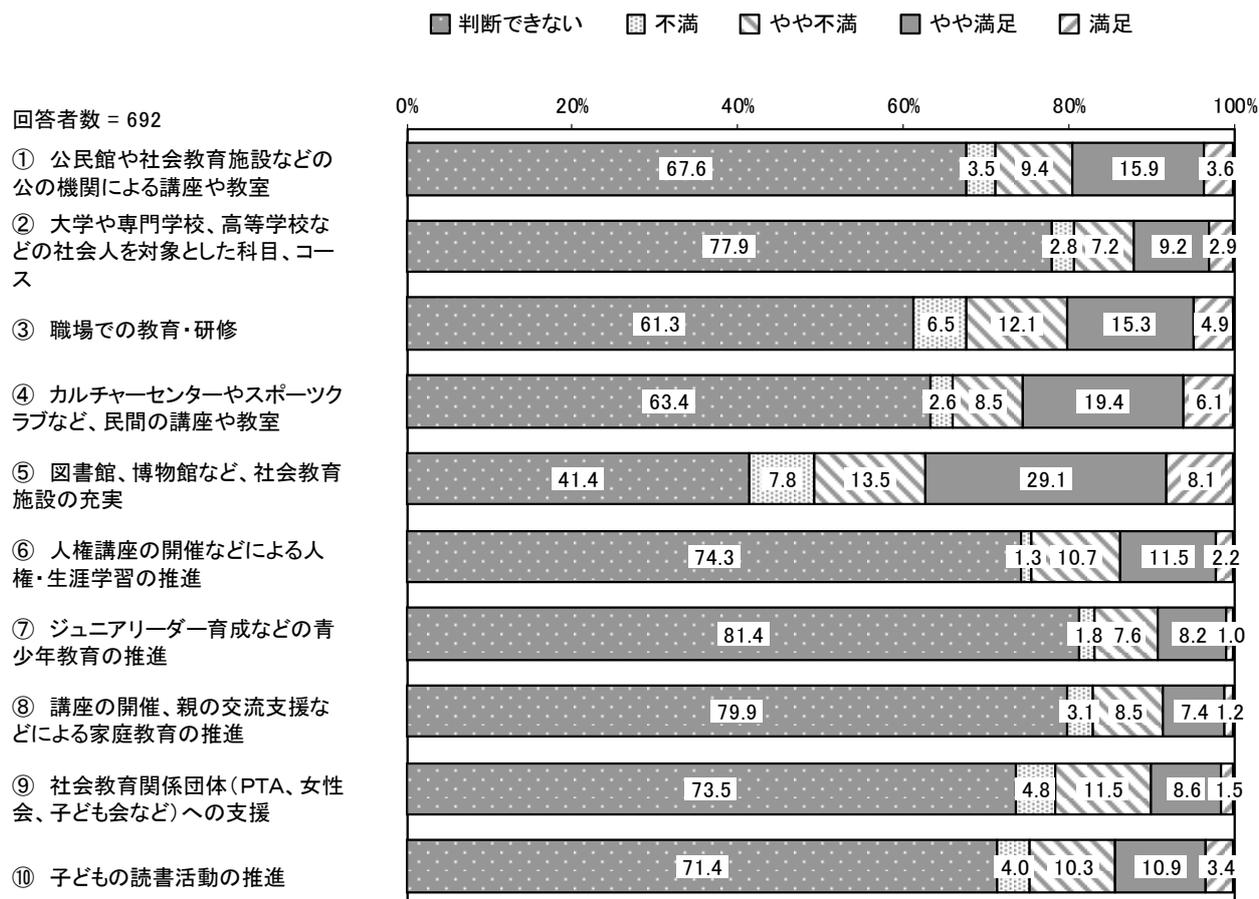
区分	回答者数(件)	必要性を感じない	コミュニケーションがとりにくい	みんなで集まって学習したい	詐欺など(個人情報の流出や)	インターネット上のトラブル	パソコンやスマートフォン等の機器を使いたくない	オンライン学習の技術の取得が面倒である	費用がかかる・高い	Wi-Fi 等のインターネット環境を整備したいと思わない	その他
10代	8	12.5	62.5	50.0	12.5	12.5	—	12.5	—	12.5	
20代	13	15.4	46.2	23.1	—	7.7	—	7.7	—	38.5	
30代	26	26.9	42.3	42.3	15.4	19.2	11.5	7.7	7.7	3.8	
40代	54	25.9	48.1	38.9	18.5	14.8	14.8	11.1	3.7	11.1	
50代	69	31.9	37.7	31.9	14.5	15.9	10.1	15.9	5.8	10.1	
60代	59	47.5	35.6	39.0	30.5	18.6	27.1	5.1	5.1	1.7	
70代以上	93	41.9	16.1	19.4	25.8	24.7	25.8	8.6	9.7	8.6	

4 生涯学習の満足度・重要度について

問 14 下記の「生涯学習」について、あなたの「満足度」と「重要度」について、それぞれあてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」については、行っていないものは、「判断できない」に○を付けてください。

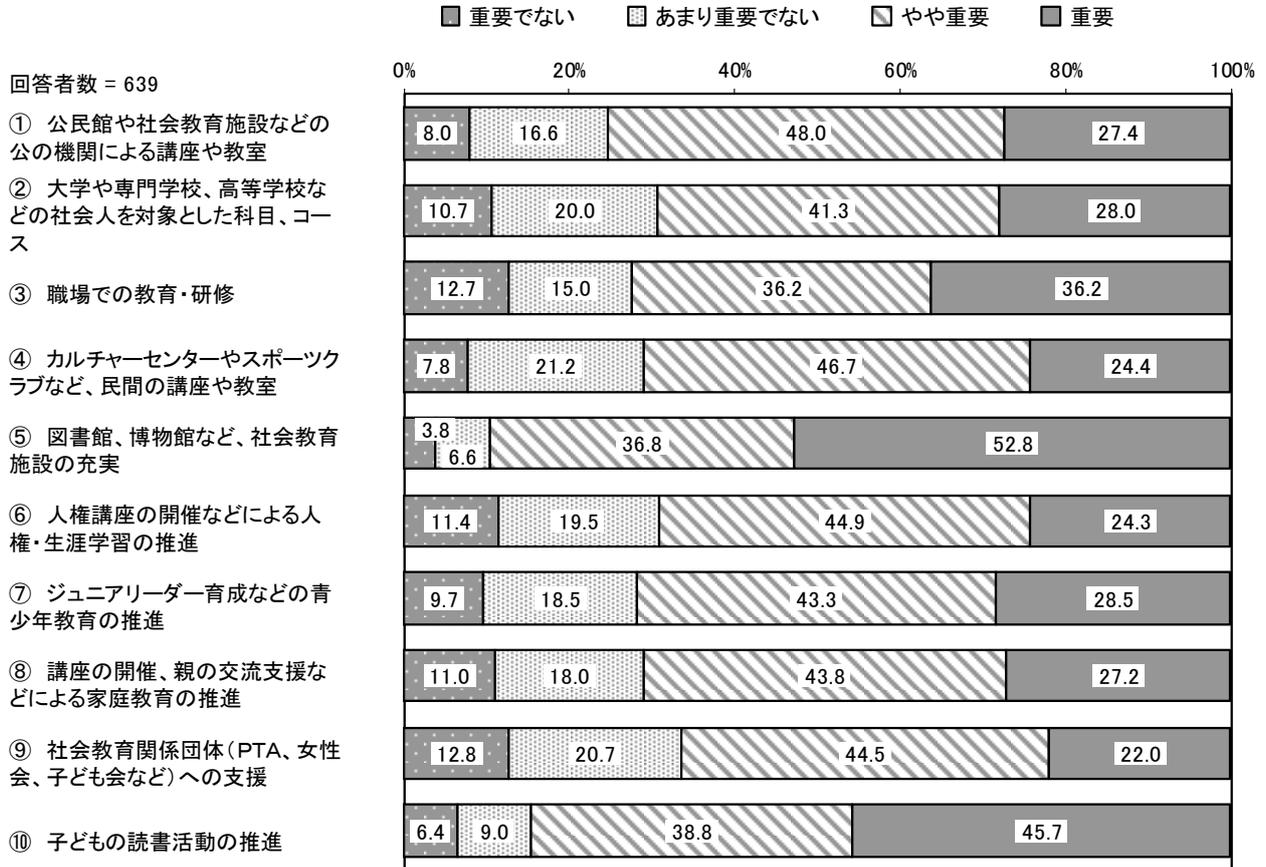
【満足度】

『⑤図書館、博物館など、社会教育施設の充実』で「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。



【重要度】

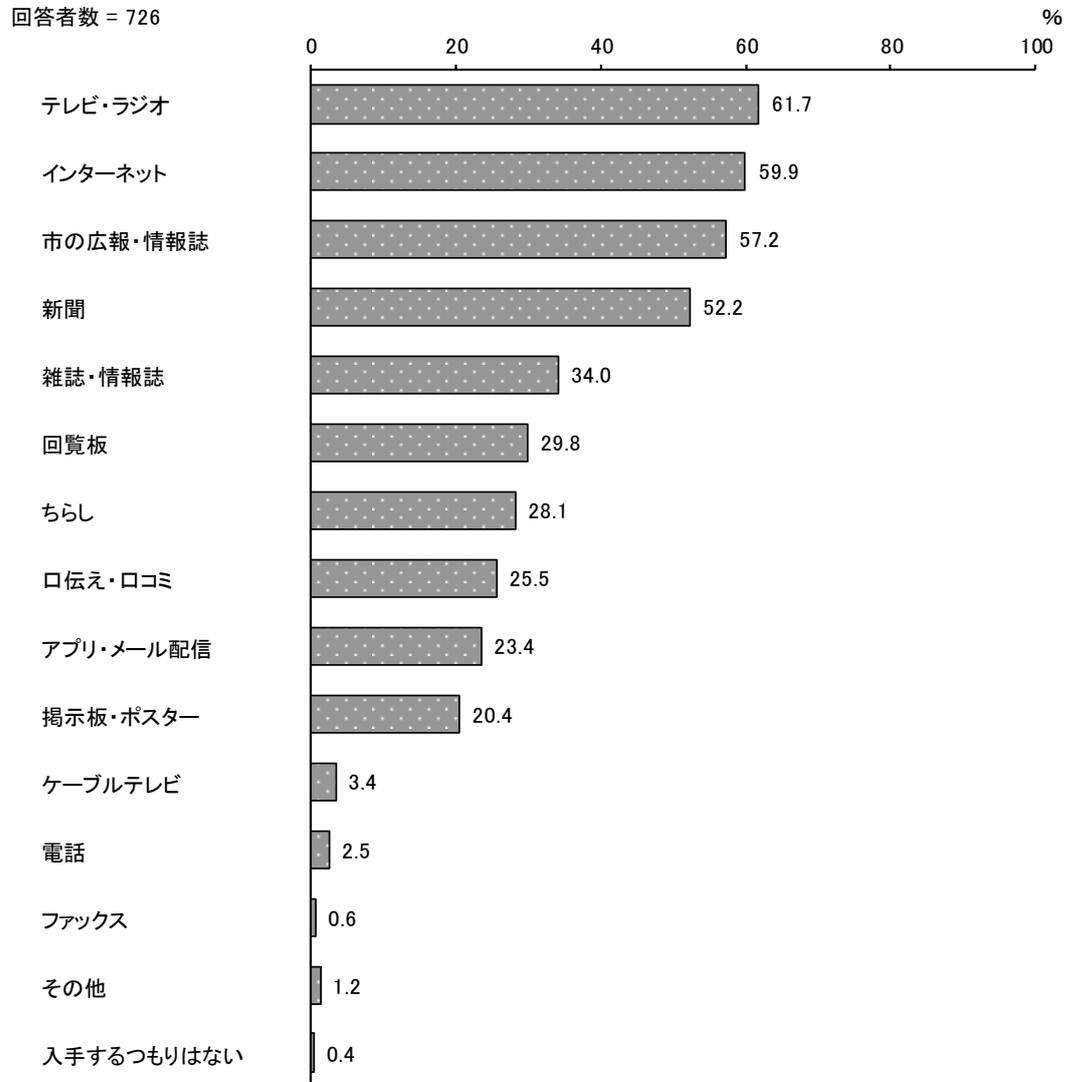
『⑤図書館、博物館など、社会教育施設の充実』で「やや重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。



5 学習情報の入手について

問 15 あなたは、普段情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

「テレビ・ラジオ」の割合が61.7%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が59.9%、「市の広報・情報誌」の割合が57.2%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「新聞」「市の広報・情報誌」「回覧板」の割合が高くなる傾向がみられます。

(%)

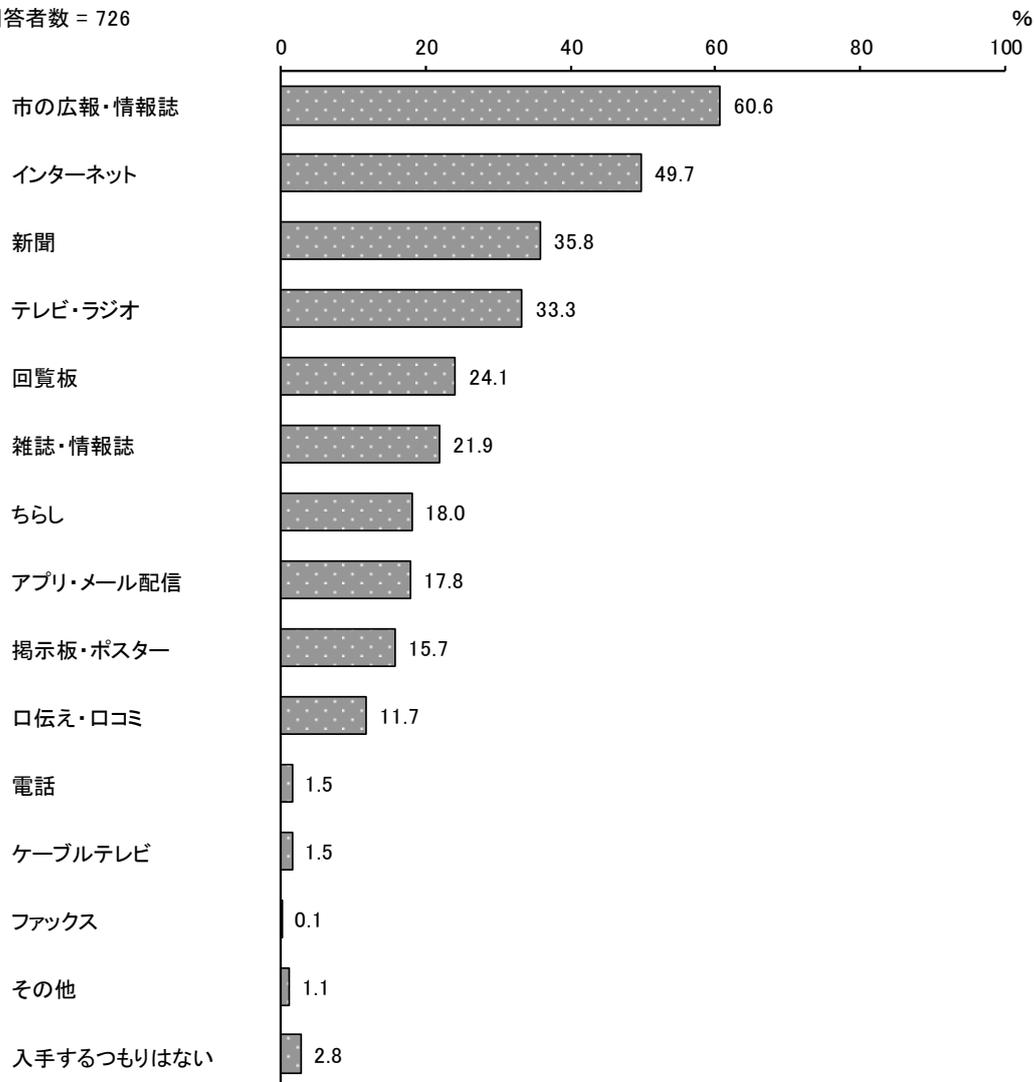
区分	回答者数 (件)	テレビ・ラジオ	インターネット	市の広報・情報誌	新聞	雑誌・情報誌	回覧板	ちらし
10代	11	63.6	54.5	9.1	27.3	—	9.1	9.1
20代	36	55.6	80.6	27.8	13.9	27.8	11.1	16.7
30代	64	40.6	79.7	39.1	14.1	21.9	7.8	28.1
40代	128	47.7	80.5	62.5	30.5	32.8	25.0	29.7
50代	146	57.5	74.0	54.1	49.3	40.4	28.8	24.0
60代	129	74.4	56.6	61.2	65.1	38.0	36.4	31.8
70代以上	201	72.1	29.4	67.7	80.1	34.3	41.3	31.8

区分	口伝え・口コミ	信アプリ・メール配	掲示板・ポスター	ケーブルテレビ	電話	ファックス	その他	ない入手するつもりは
10代	18.2	54.5	18.2	18.2	—	—	—	—
20代	38.9	33.3	13.9	—	8.3	—	2.8	—
30代	26.6	23.4	25.0	4.7	1.6	—	—	—
40代	36.7	28.9	20.3	—	0.8	0.8	1.6	1.6
50代	25.3	29.5	24.0	0.7	2.7	1.4	—	0.7
60代	17.8	26.4	20.9	3.9	—	—	1.6	—
70代以上	20.9	10.9	16.4	6.5	4.0	—	1.0	—

問 16 あなたは、特に「生涯学習」に関する情報を、どこから入手したいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「市の広報・情報誌」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が 49.7%、「新聞」の割合が 35.8%となっています。

回答者数 = 726



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「新聞」「テレビ・ラジオ」「市の広報・情報誌」「回覧板」の割合が高くなる傾向がみられます。

(%)

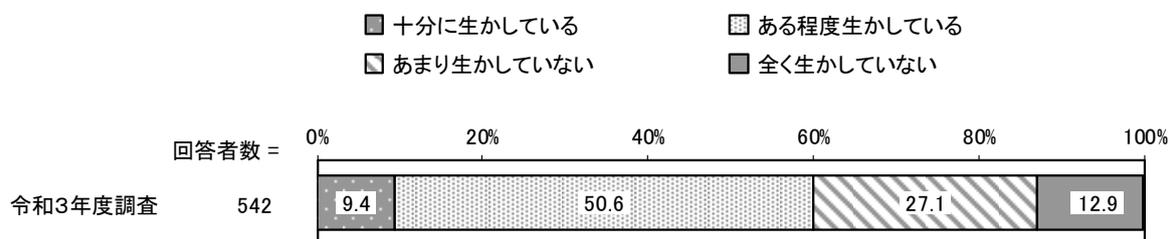
区分	回答者数 (件)	市の広報・ 情報誌	インター ネット	新聞	テレビ・ ラジオ	回 覧 板	雑 誌 ・ 情 報 誌	ち ら し
10代	11	27.3	45.5	27.3	45.5	18.2	—	9.1
20代	36	33.3	77.8	8.3	27.8	5.6	19.4	13.9
30代	65	38.5	80.0	7.7	21.5	9.2	12.3	21.5
40代	128	57.0	63.3	16.4	18.8	18.0	15.6	19.5
50代	146	65.1	62.3	32.2	32.9	25.3	24.0	16.4
60代	127	63.8	44.9	40.9	37.8	24.4	26.8	15.7
70代以上	202	72.8	21.3	61.4	44.1	36.1	27.2	19.3

区分	信 ア プ リ ・ メ ー ル 配	掲 示 板 ・ ポ ス タ ー	口 伝 え ・ ロ コ ミ	電 話	ケ ー ブ ル テ レ ビ	フ ァ ッ ク ス	そ の 他	入 手 す る つ も り は な い
10代	45.5	9.1	9.1	—	9.1	—	—	—
20代	22.2	19.4	22.2	—	—	—	5.6	—
30代	21.5	15.4	16.9	1.5	—	—	1.5	4.6
40代	23.4	14.1	13.3	0.8	—	—	0.8	1.6
50代	26.0	19.2	11.6	0.7	0.7	—	—	1.4
60代	18.9	18.1	3.9	0.8	2.4	—	1.6	2.4
70代以上	4.5	12.4	11.9	3.5	3.0	0.5	0.5	5.0

6 学習成果の活用について

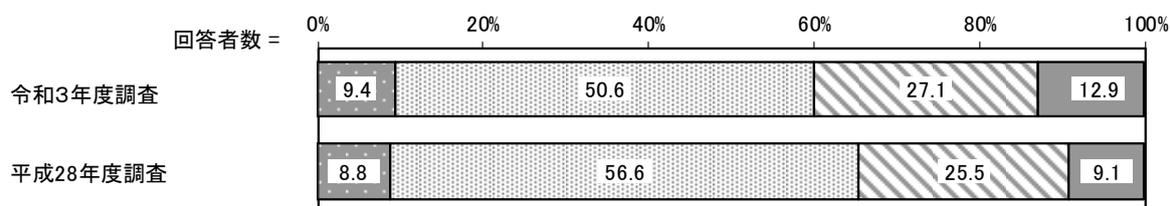
問 17 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験をどの程度生かしていますか。(〇を1つ)

「十分に生かしている」と「ある程度生かしている」を合わせた“生かしている”の割合が60.0%となっています。



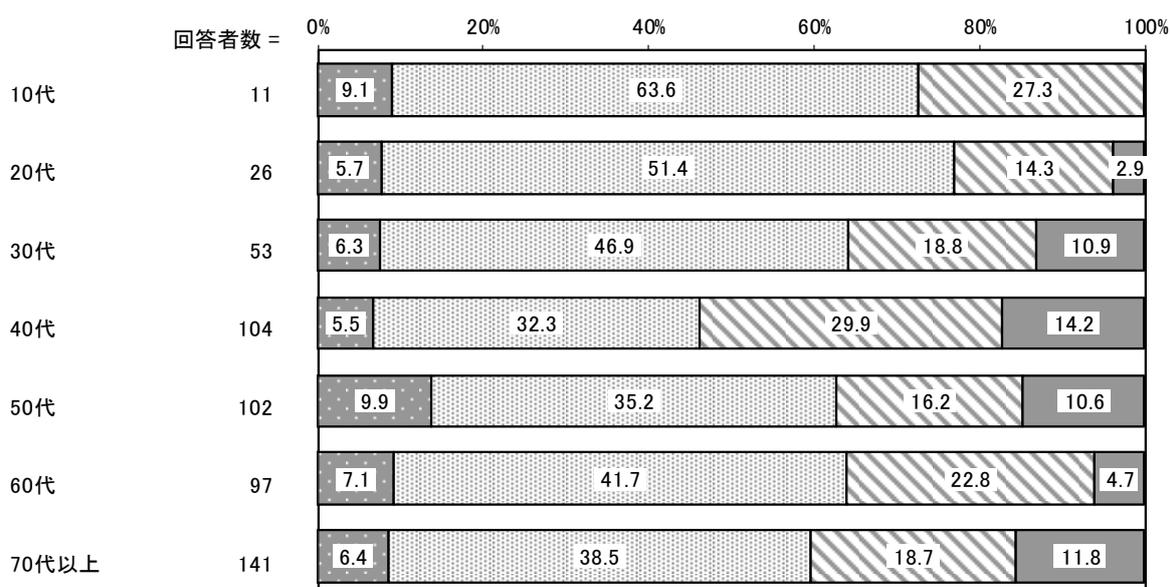
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、“生かしている”の割合が減少しています。



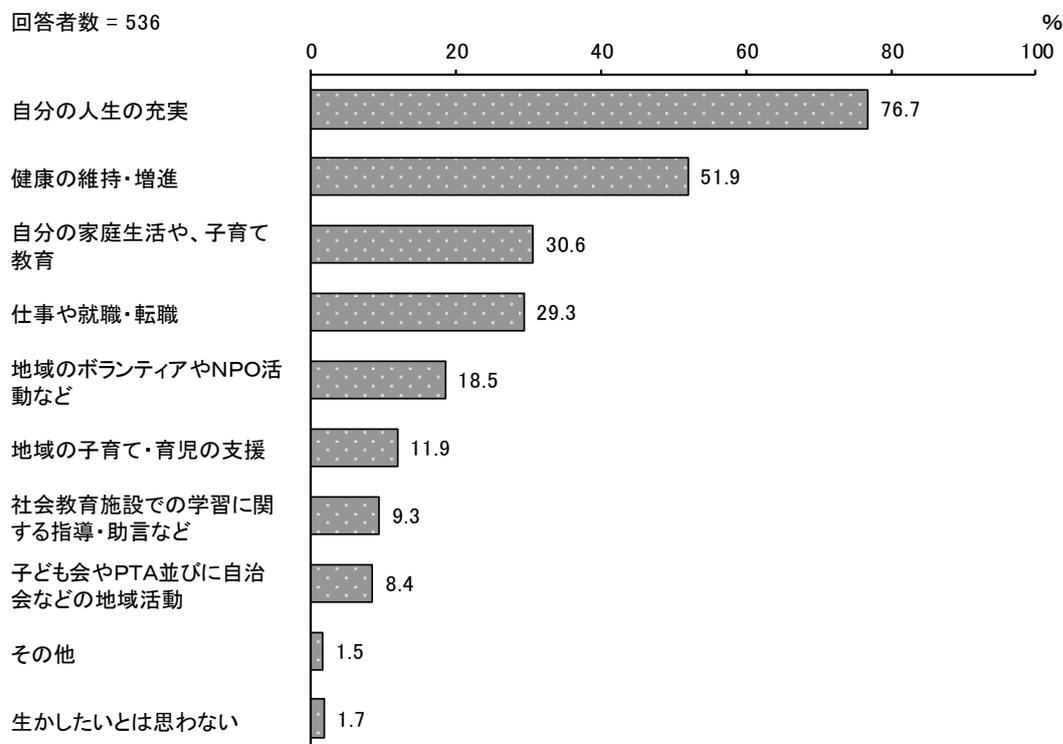
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代、20代で“生かしている”の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の人生の充実」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「健康の維持・増進」の割合が 51.9%、「自分の家庭生活や、子育て教育」の割合が 30.6%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「仕事や就職・転職」の割合が高くなっています。

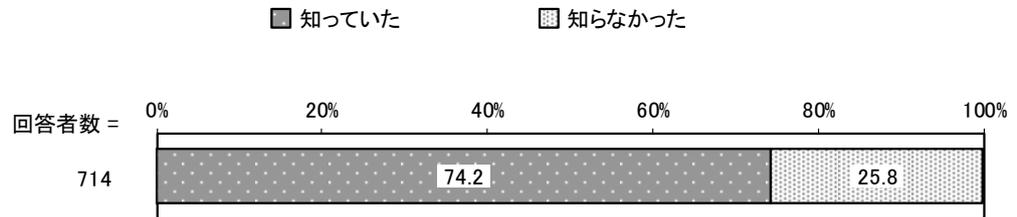
(%)

区分	回答者数 (件)	自分の人生の充実	健康の維持・増進	や、自分の子育て家庭生活	仕事や就職・転職	どア地 や域 の P O ラ ン 活 動 テ イ	児地 域の 支 援 子 育 て ・ 育	導学 ・習 に 関 言 な す 指 で の	社 会 教 育 施 設 な ら び に 自 治 会 な ど	の 地 域 に も 自 治 会 や P T A な ど	子 ど も 会 や P T A な ど	そ の 他	生 か し た い と は 思 わ な い
10代	11	63.6	45.5	18.2	27.3	—	—	18.2	—	—	—	—	
20代	26	80.8	50.0	42.3	80.8	7.7	19.2	26.9	11.5	—	—	—	
30代	53	75.5	47.2	54.7	62.3	9.4	20.8	5.7	11.3	—	—	—	
40代	103	78.6	48.5	43.7	41.7	12.6	12.6	10.7	7.8	1.9	1.9	1.9	
50代	100	77.0	42.0	33.0	38.0	28.0	15.0	14.0	8.0	1.0	1.0	1.0	
60代	96	81.3	56.3	21.9	13.5	24.0	11.5	6.3	5.2	1.0	—	—	
70代以上	140	72.9	60.0	15.0	4.3	18.6	5.7	5.0	10.0	1.4	4.3	4.3	

7 家庭教育について

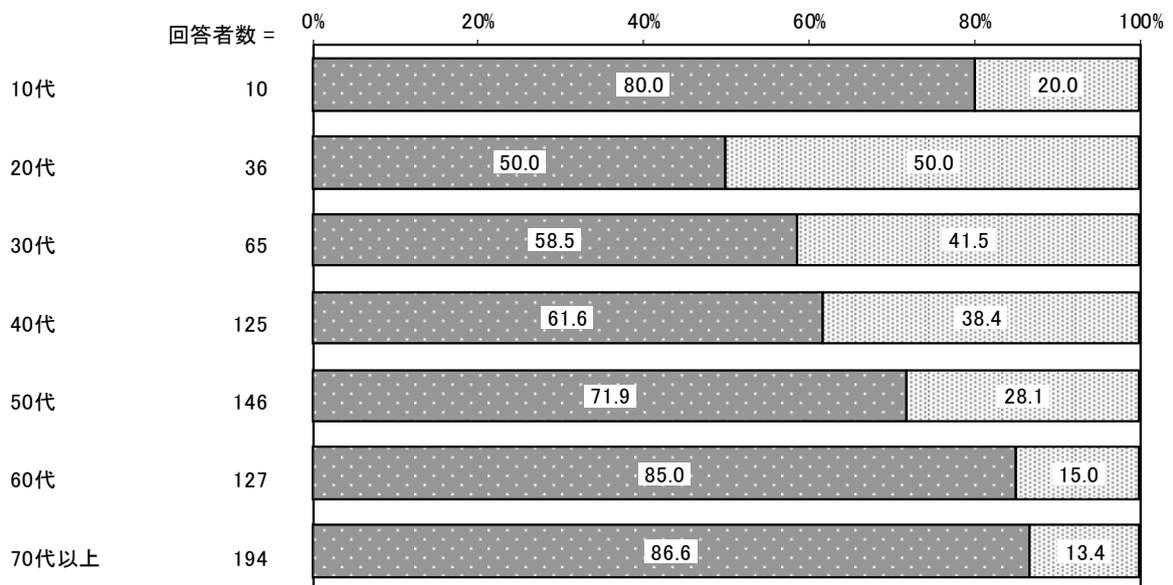
問 19 あなたは、「家庭教育」という言葉を知っていましたか。(○を1つ)

「知っていた」の割合が74.2%、「知らなかった」の割合が25.8%となっています。



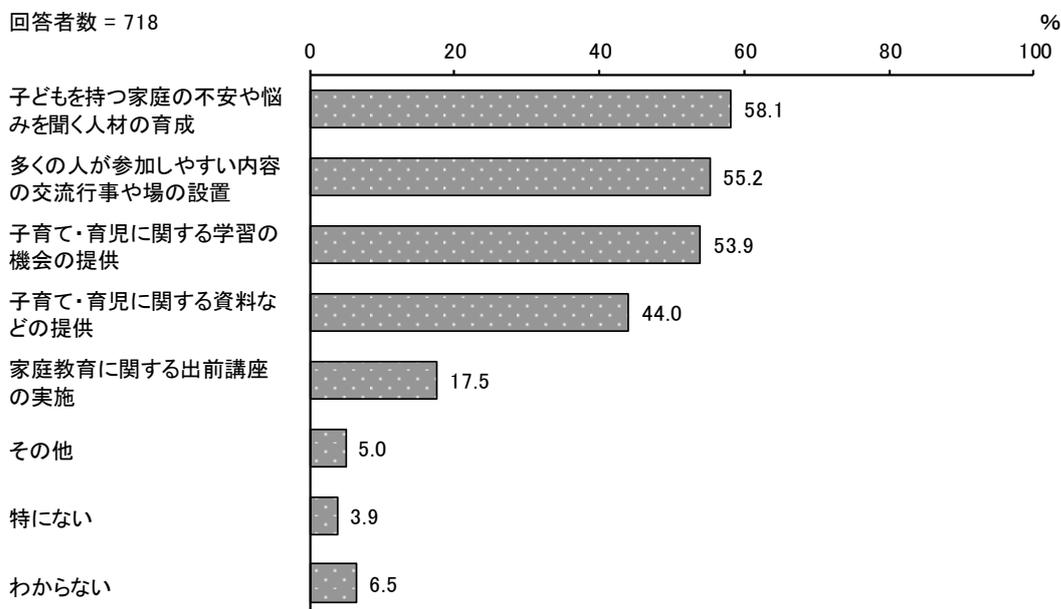
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「知っていた」の割合が低くなっています。



問 20 あなたは、家庭教育の推進について、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもを持つ家庭の不安や悩みを聞く人材の育成」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「多くの人が参加しやすい内容の交流行事や場の設置」の割合が 55.2%、「子育て・育児に関する学習の機会の提供」の割合が 53.9%となっています。



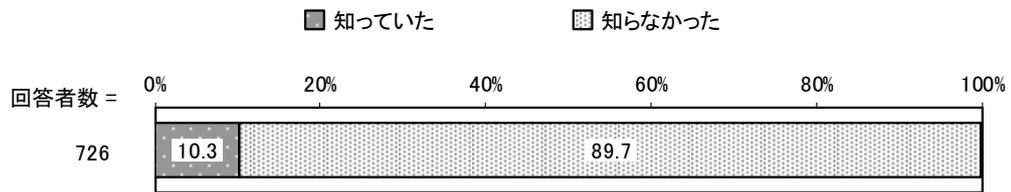
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「子育て・育児に関する資料などの提供」「子どもを持つ家庭の不安や悩みを聞く人材の育成」の割合が高くなっています。また、20代、70代以上で「多くの人が参加しやすい内容の交流行事や場の設置」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	(%)								
		子どもを持つ家庭の不安や悩みを聞く人材の育成	多くの人が参加しやすい内容の交流行事や場の設置	子育て・育児に関する学習の機会の提供	子育て・育児に関する資料などの提供	家庭教育に関する出前講座の実施	その他	特にない	わからない	
10代	10	30.0	50.0	60.0	20.0	—	—	—	—	
20代	36	72.2	63.9	66.7	58.3	25.0	8.3	—	5.6	
30代	65	56.9	50.8	55.4	41.5	23.1	6.2	1.5	15.4	
40代	128	53.9	46.1	53.9	43.8	11.7	9.4	4.7	4.7	
50代	146	62.3	57.5	54.1	49.3	19.2	4.8	4.8	4.8	
60代	129	58.1	49.6	55.8	45.7	19.4	3.1	4.7	5.4	
70代以上	193	56.5	63.7	49.2	38.9	16.6	1.6	4.1	7.3	

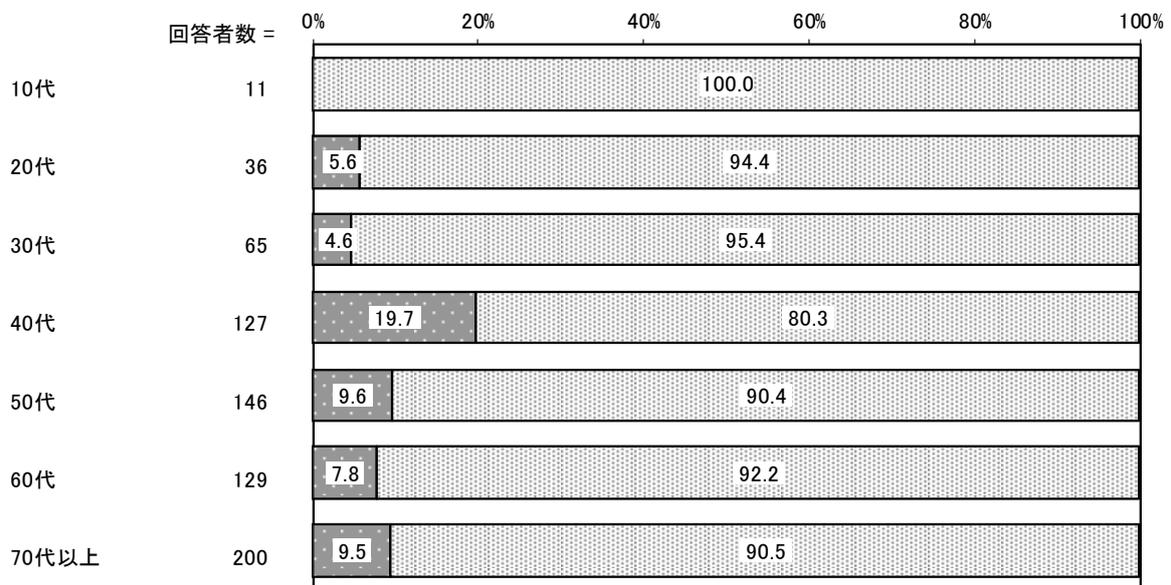
問 21 本市では、家庭教育推進の一環として、あいさつ、朝ごはん、会話の大切さなどを盛り込んだ「おおつ家庭教育5か条」を制定し、啓発活動を行っています。あなたは、「おおつ家庭教育5か条」を知っていましたか。(○を1つ)

「知っていた」の割合が10.3%、「知らなかった」の割合が89.7%となっています。



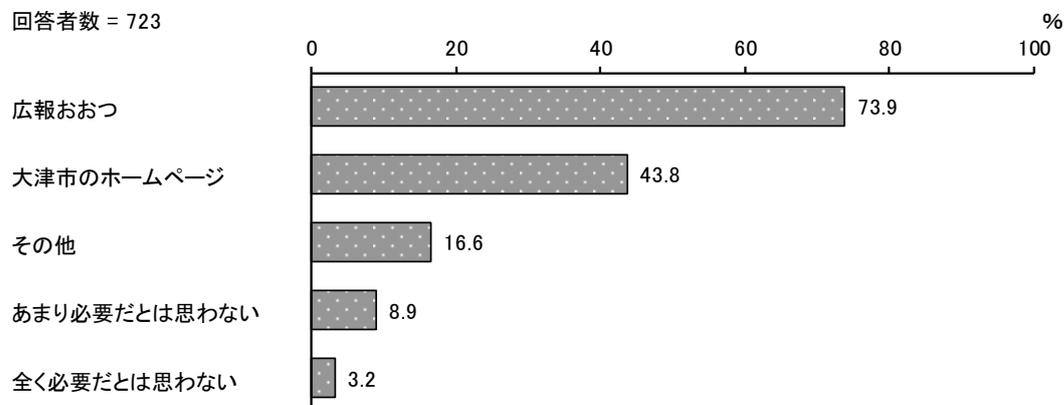
【年代別】

年代別で見ると、他に比べ、40代で「知っていた」の割合が高くなっています。



問 22 本市では、「おおつ家庭教育5か条」をどのように周知することが効果的だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「広報おおつ」の割合が73.9%と最も高く、次いで「大津市のホームページ」の割合が43.8%となっています。



【年代別】

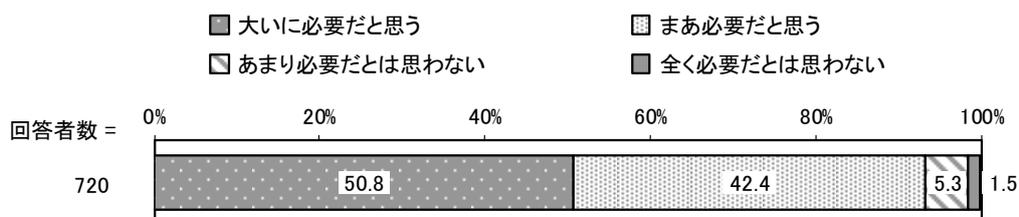
年代別でみると、年代が高くなるにつれて「広報おおつ」の割合が高くなる傾向がみられます。

区分	回答者数 (件)	割合 (%)				
		広報 おおつ	大津市 のホー ムペ ージ	そ の 他	あ ま り 必 要 だ と は 思 わ な い	全 く 必 要 だ と は 思 わ な い
10代	11	36.4	36.4	45.5	—	9.1
20代	36	58.3	38.9	33.3	16.7	—
30代	65	58.5	36.9	16.9	13.8	6.2
40代	129	63.6	41.9	25.6	10.9	7.8
50代	147	81.0	53.7	17.7	7.5	0.7
60代	130	78.5	46.9	15.4	7.7	2.3
70代以上	193	83.4	38.9	5.7	6.7	1.6

8 地域と学校の連携・協働について

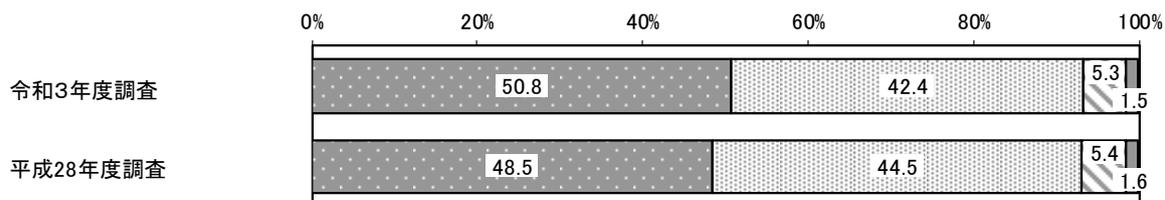
問 23 近年、学校と地域が連携・協働して学びの機会を提供することで、子どもたちの豊かな育ちを支援していこうという取組が盛んになっています。あなたは、こうした取組についてどう思われますか。(○を1つ)

「大いに必要だと思う」と「まあ必要だと思う」を合わせた“必要だと思う”の割合が93.2%となっています。



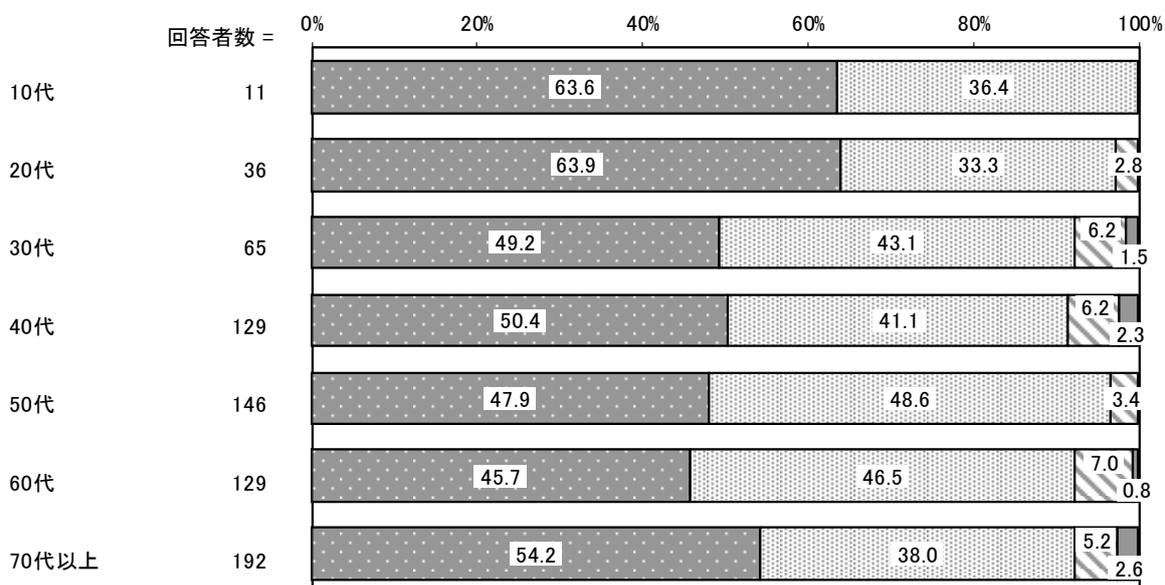
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



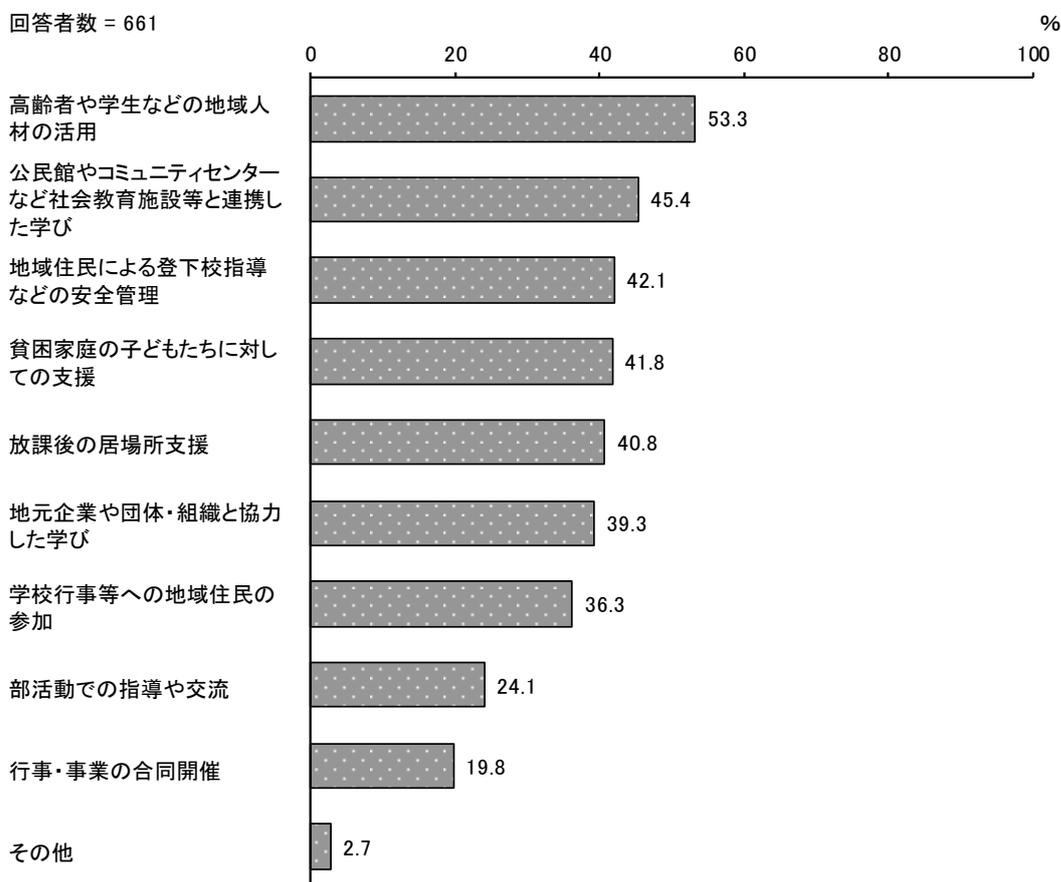
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



問 24 あなたは、地域と学校の連携・協働の取組において、何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者や学生などの地域人材の活用」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「公民館やコミュニティセンターなど社会教育施設等と連携した学び」の割合が 45.4%、「地域住民による登下校指導などの安全管理」の割合が 42.1%となっています。



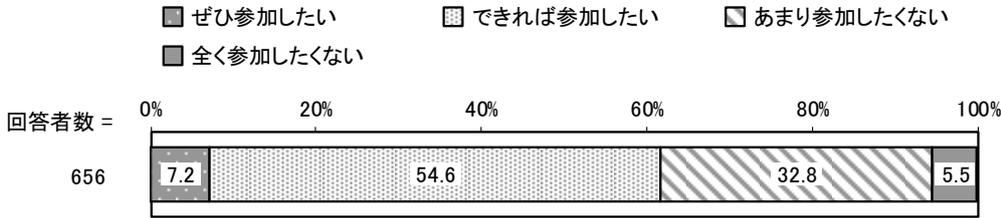
【年代別】

年代別で見ると、他に比べ、20代で「放課後の居場所支援」「貧困家庭の子どもたちに対する支援」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	高齢者や学生などの地域人材の活用 (%)	公民館やコミュニティセンターなど社会教育施設等と連携した学び (%)	地域住民による登下校指導などの安全管理 (%)	貧困家庭の子どもたちに対する支援 (%)	放課後の居場所支援 (%)	地元企業や団体・組織と協力した学び (%)	学校行事等への地域住民の参加 (%)	部活動での指導や交流 (%)	行事・事業の合同開催 (%)	その他 (%)
10代	11	18.2	18.2	54.5	54.5	27.3	27.3	27.3	45.5	9.1	—
20代	35	37.1	45.7	37.1	57.1	60.0	57.1	25.7	37.1	20.0	—
30代	58	31.0	44.8	32.8	32.8	34.5	56.9	36.2	31.0	22.4	6.9
40代	116	55.2	42.2	44.8	41.4	55.2	54.3	35.3	40.5	24.1	5.2
50代	140	59.3	49.3	42.9	41.4	43.6	43.6	35.0	21.4	20.0	1.4
60代	117	59.0	47.9	40.2	46.2	38.5	31.6	37.6	13.7	21.4	1.7
70代以上	174	55.2	44.3	43.7	37.9	29.3	23.6	40.8	16.1	14.4	1.1

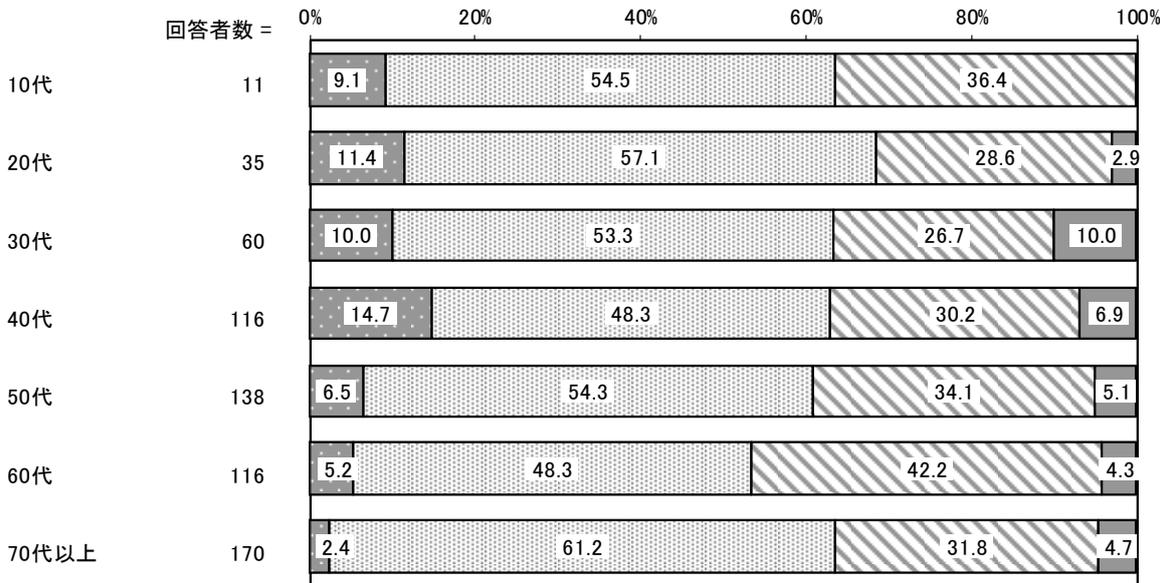
問 25 あなたは、問 24 に示したような活動に、地域住民として参加したいですか。(○を1つ)

「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた“”の割合が 61.8%となっています。



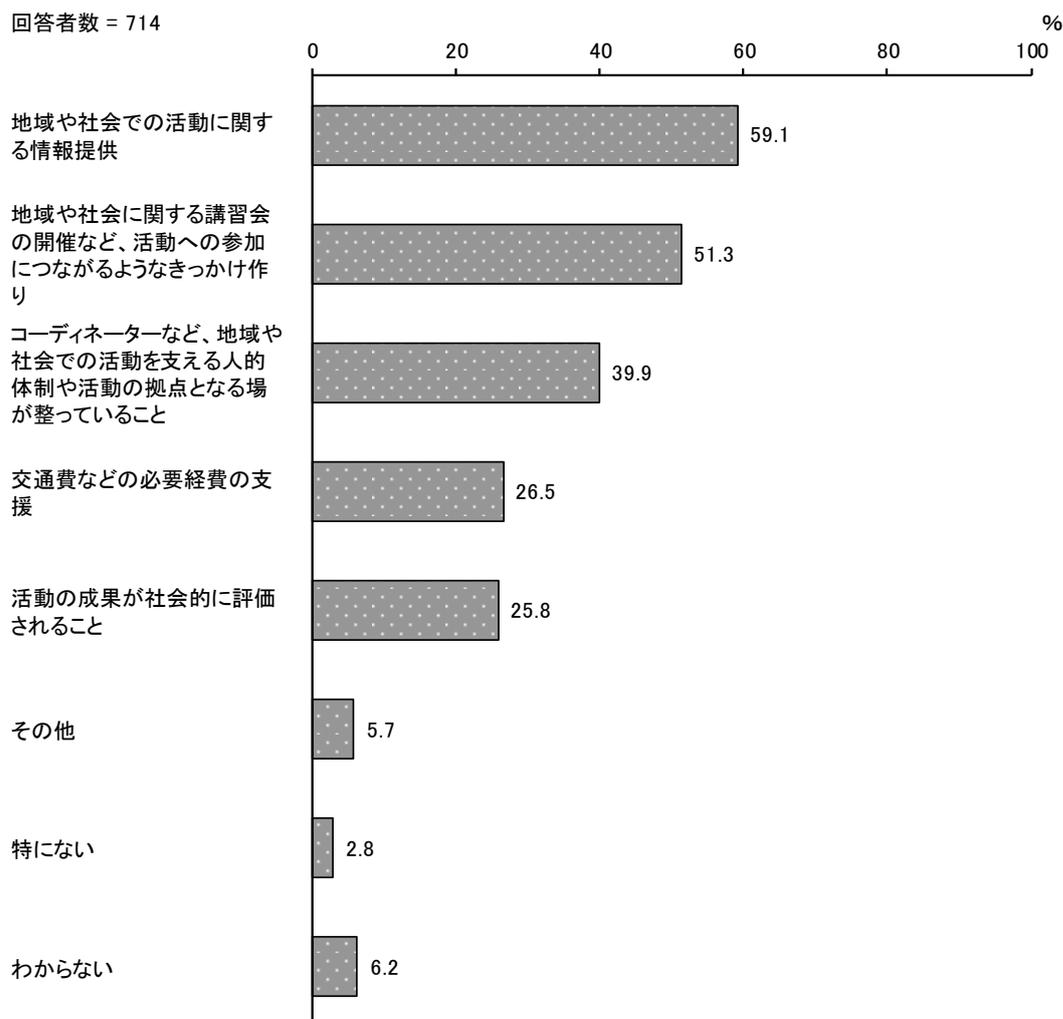
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60代で“参加したい”の割合が低くなっています。



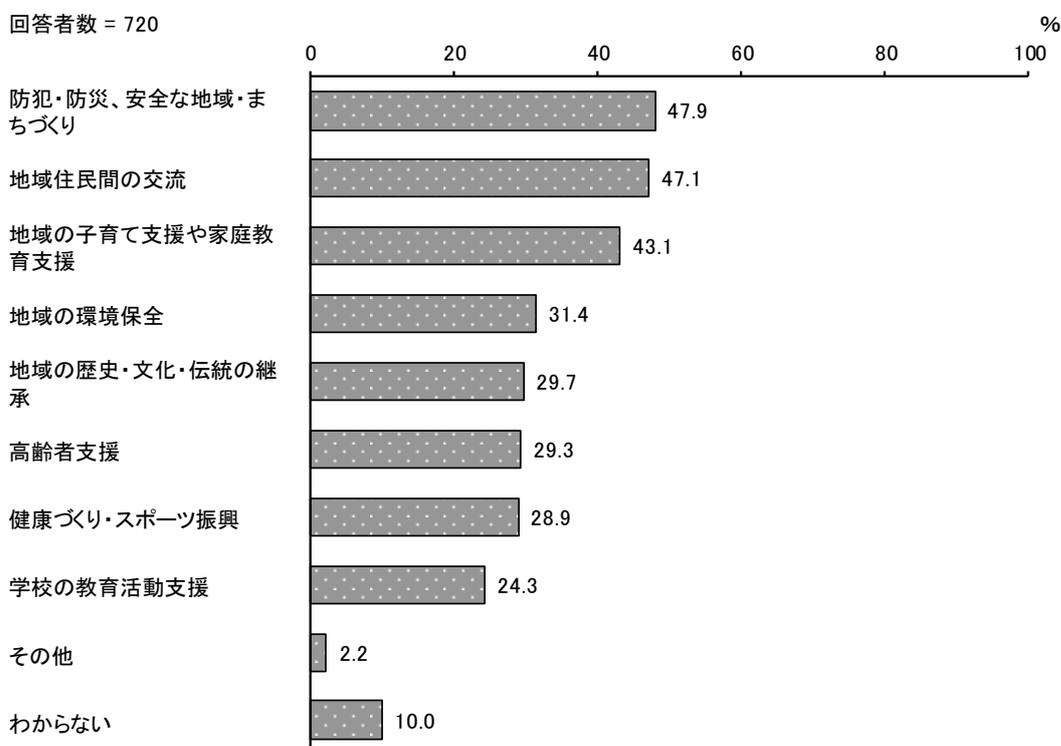
問 26 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「地域や社会での活動に関する情報提供」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が 51.3%、「コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること」の割合が 39.9%となっています。



問 27 あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「防犯・防災、安全な地域・まちづくり」の割合が47.9%と最も高く、次いで「地域住民間の交流」の割合が47.1%、「地域の子育て支援や家庭教育支援」の割合が43.1%となっています。



【年代別】

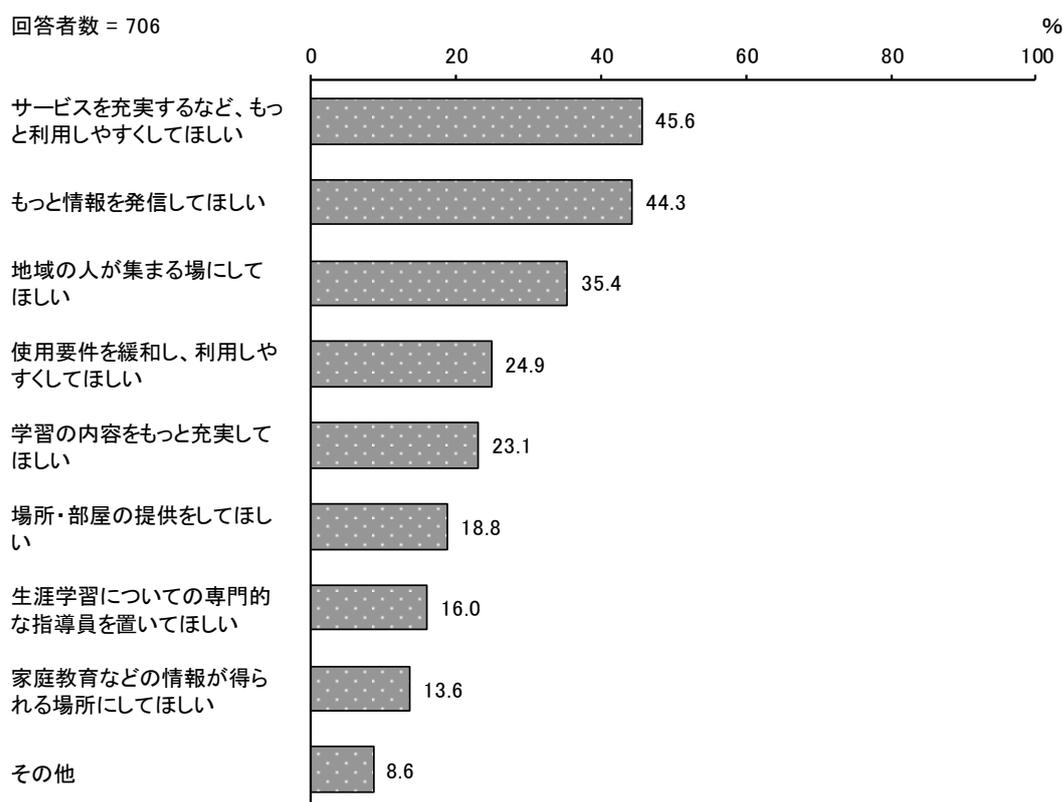
年代別でみると、他に比べ、20代で「地域の子育て支援や家庭教育支援」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	(%)									
		防犯・防災、安全な地域・まちづくり	地域住民間の交流	地域の子育て支援や家庭教育支援	地域の環境保全	地域の歴史・文化・伝統の継承	高齢者支援	健康づくり・スポーツ振興	学校の教育活動支援	その他	わからない
10代	11	36.4	36.4	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	54.5	—	9.1
20代	36	55.6	30.6	75.0	38.9	33.3	19.4	30.6	47.2	—	8.3
30代	65	47.7	35.4	52.3	29.2	16.9	16.9	27.7	29.2	4.6	16.9
40代	129	43.4	33.3	45.0	30.2	20.9	31.0	27.1	36.4	4.7	16.3
50代	146	45.9	47.9	50.0	26.7	28.8	29.5	25.3	21.9	2.1	10.3
60代	129	46.5	53.5	34.9	37.2	34.1	22.5	30.2	15.5	0.8	7.8
70代以上	192	52.6	58.9	31.8	30.2	36.5	38.5	32.3	16.1	1.0	5.7

9 公民館・コミュニティセンターについて

問 28 あなたは公民館・コミュニティセンターに、どういったことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

「サービスを充実するなど、もっと利用しやすくしてほしい」の割合が45.6%と最も高く、次いで「もっと情報を発信してほしい」の割合が44.3%、「地域の人が集まる場にしてほしい」の割合が35.4%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、50代で「サービスを充実するなど、もっと利用しやすくしてほしい」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	(%)									
		サービスをもっと利用しやすくしてほしい	もっと情報を発信してほしい	地域の人が集まる場にしてほしい	使用要件を緩和してほしい	学習の内容をもっと充実してほしい	場所・部屋の提供をしてほしい	生涯学習についての専門的な指導員を置いてほしい	家庭教育などの情報が得られる場所にしてほしい	その他	
10代	10	40.0	50.0	20.0	—	20.0	—	—	—	10.0	
20代	36	41.7	41.7	19.4	19.4	16.7	25.0	11.1	25.0	13.9	
30代	64	43.8	42.2	23.4	23.4	32.8	31.3	10.9	25.0	12.5	
40代	127	43.3	36.2	27.6	33.1	22.0	22.0	8.7	11.8	15.0	
50代	144	51.4	46.5	36.1	22.9	20.1	25.7	18.8	13.2	9.0	
60代	126	42.9	50.8	36.5	22.2	27.8	11.9	16.7	11.9	2.4	
70代以上	187	46.0	44.4	47.1	25.1	20.3	11.2	20.9	10.7	5.3	

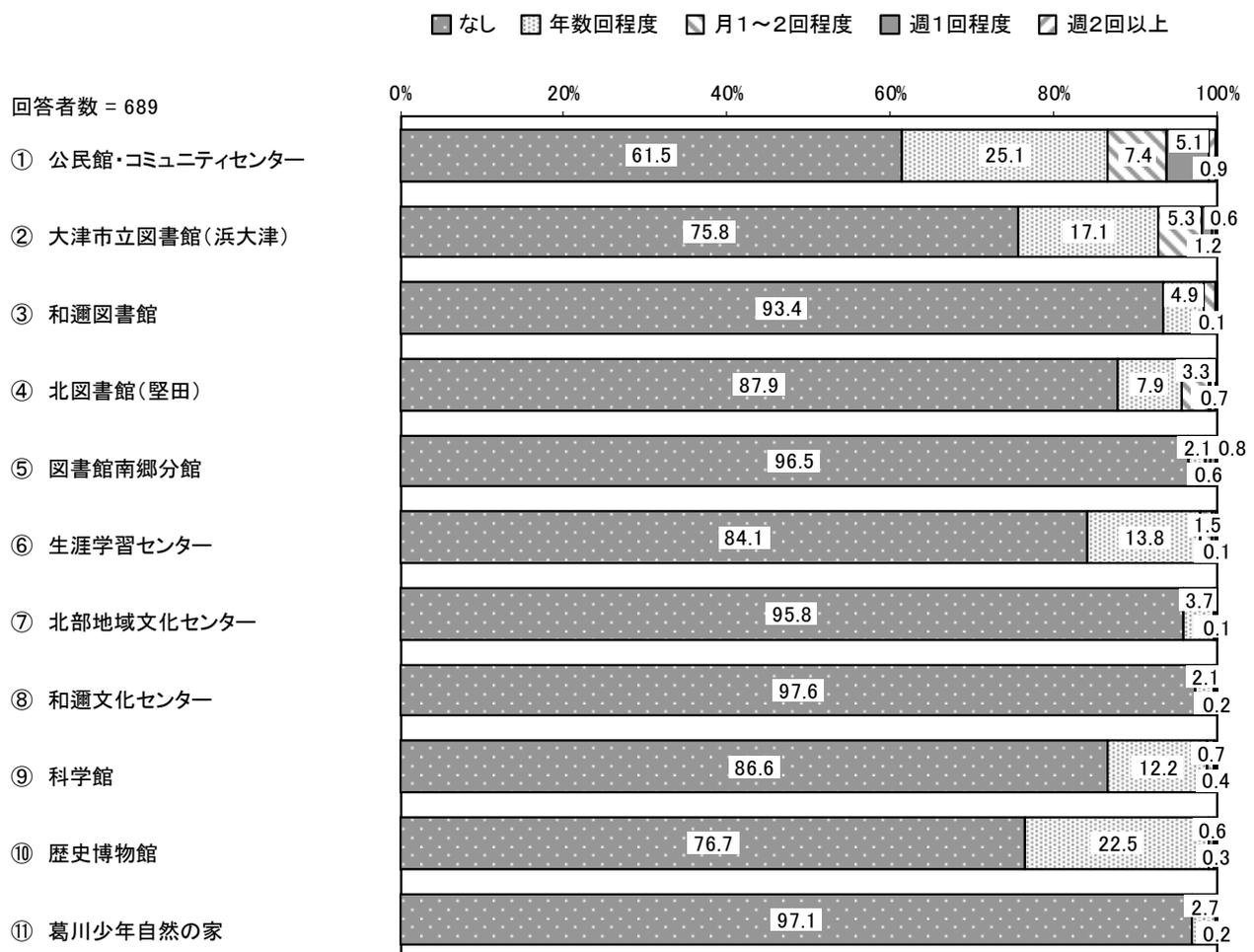
10 社会教育施設について

問 29 下記の社会教育施設等の「利用頻度」と「満足度」について、あてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」について、利用していないものは、「判断できない」に○を付けてください。

【利用頻度】

利用したと答えた人の割合が最も高かったのは、「①公民館・コミュニティセンター」で、次いで「②大津市立図書館（浜大津）」「⑩歴史博物館」「⑥生涯学習センター」の順となっています。

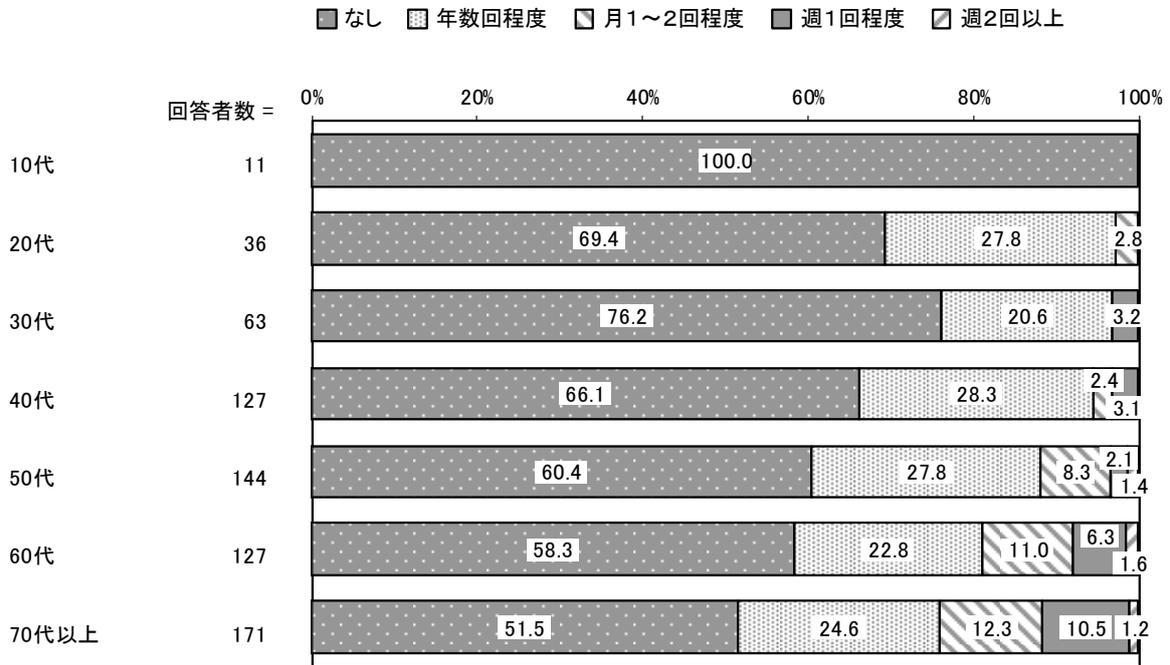
利用頻度は、「なし」を除くと、全ての施設で「年数回程度」の割合が最も高くなっています。また、「①公民館・コミュニティセンター」や各図書館では、他の施設に比べ、「月1～2回程度」の割合が高くなっています。



① 公民館・コミュニティセンター

【年代別】

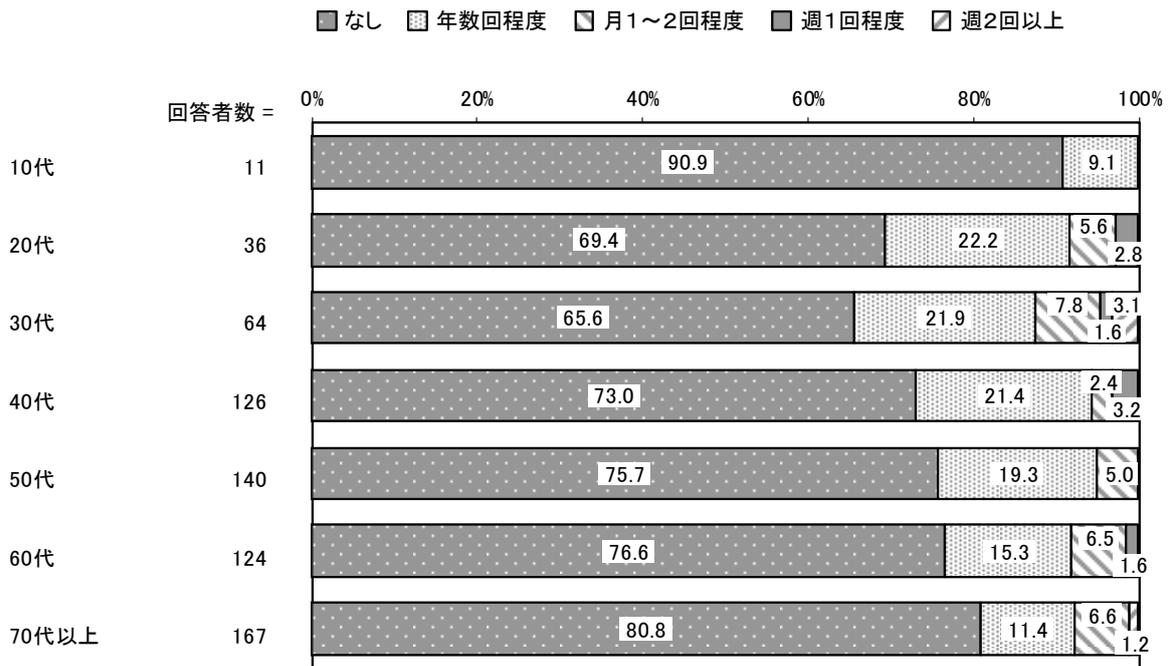
年代別で見ると、他に比べ、70代以上で「週1回程度」の割合が高くなっています。



② 大津市立図書館（浜大津）

【年代別】

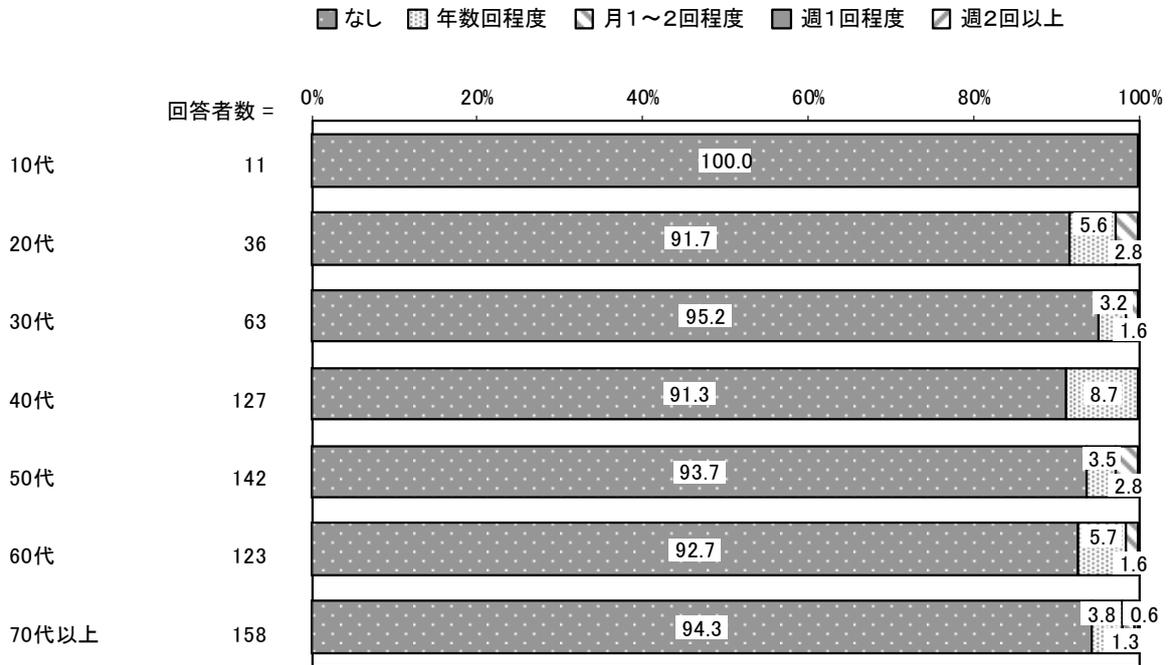
年代別で見ると、他に比べ、20代から50代で「年数回程度」の割合が高くなっています。



③ 和邇図書館

【年代別】

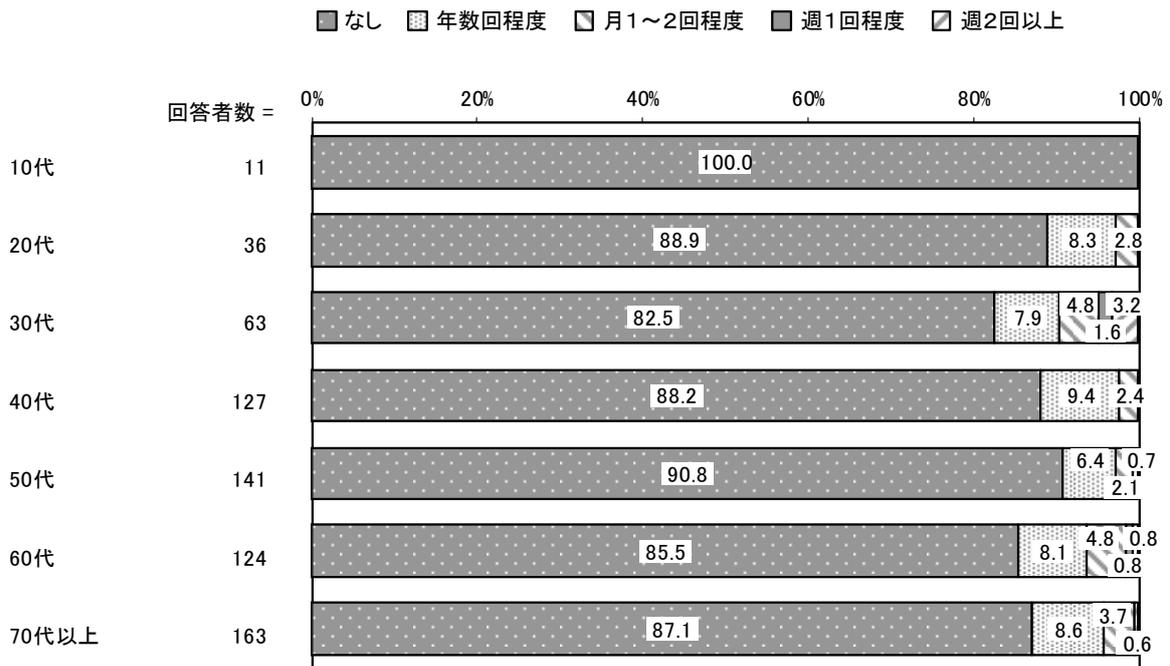
年代別でみると、他に比べ、40代で「年数回程度」の割合が高くなっています。



④ 北図書館（堅田）

【年代別】

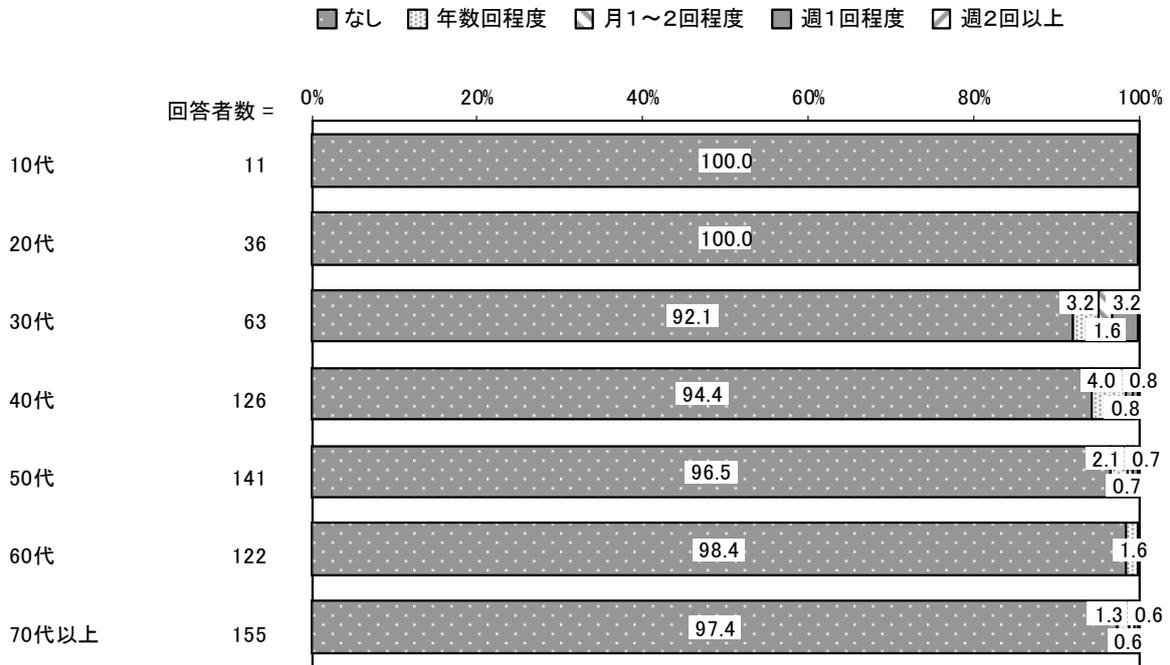
年代別でみると、大きな差異はみられません。



⑤ 図書館南郷分館

【年代別】

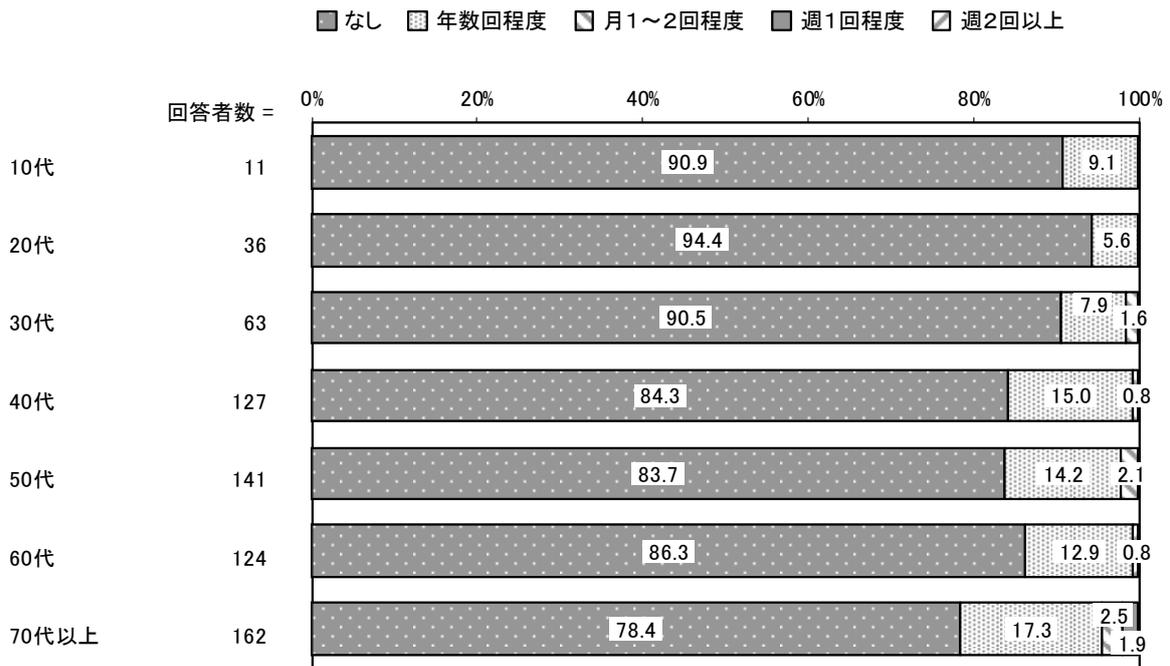
年代別でみると、大きな差異はみられません。



⑥ 生涯学習センター

【年代別】

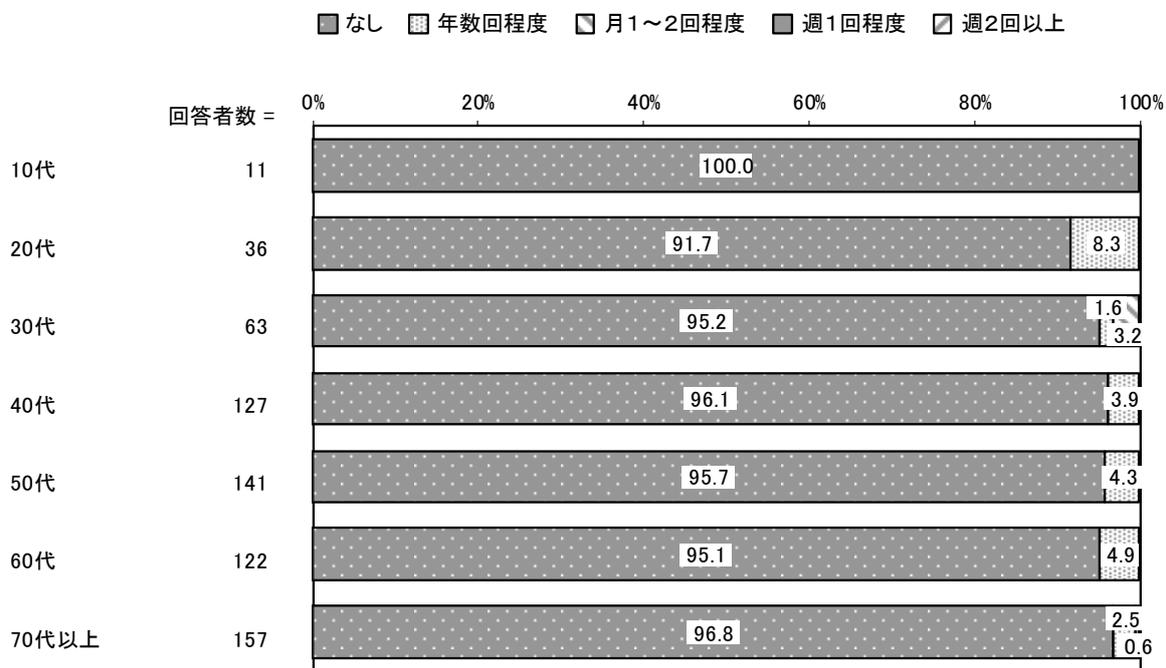
年代別でみると、他に比べ、40代以上で「年数回程度」の割合が高くなっています。



⑦ 北部地域文化センター

【年代別】

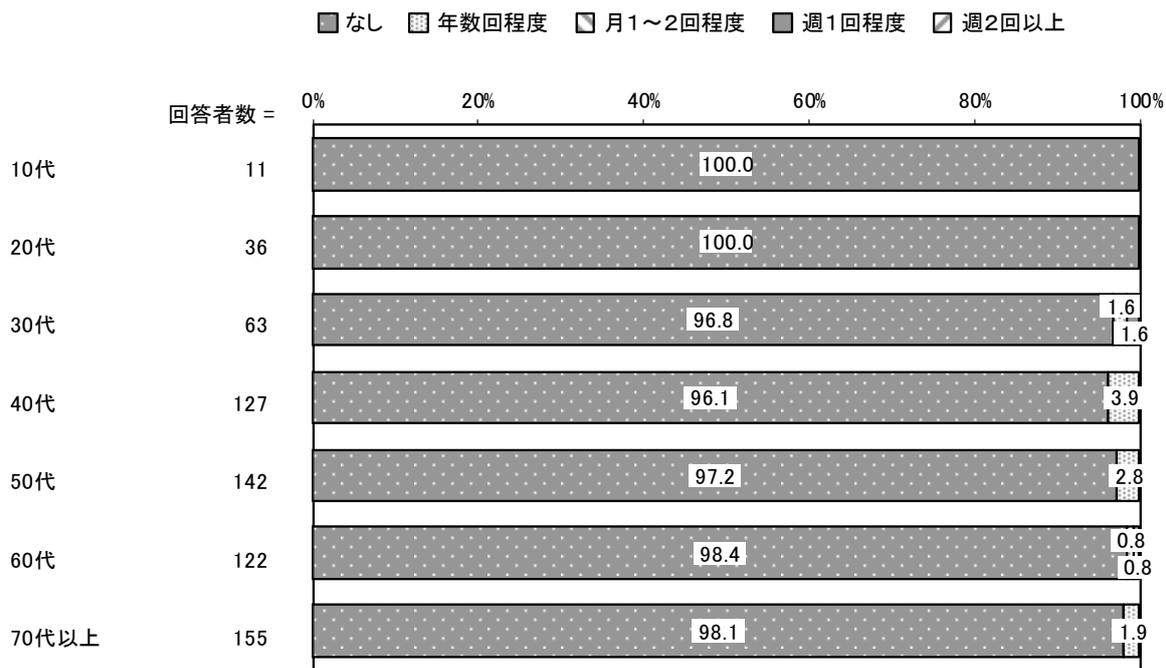
年代別でみると、他に比べ、20代で「年数回程度」の割合が高くなっています。



⑧ 和邇文化センター

【年代別】

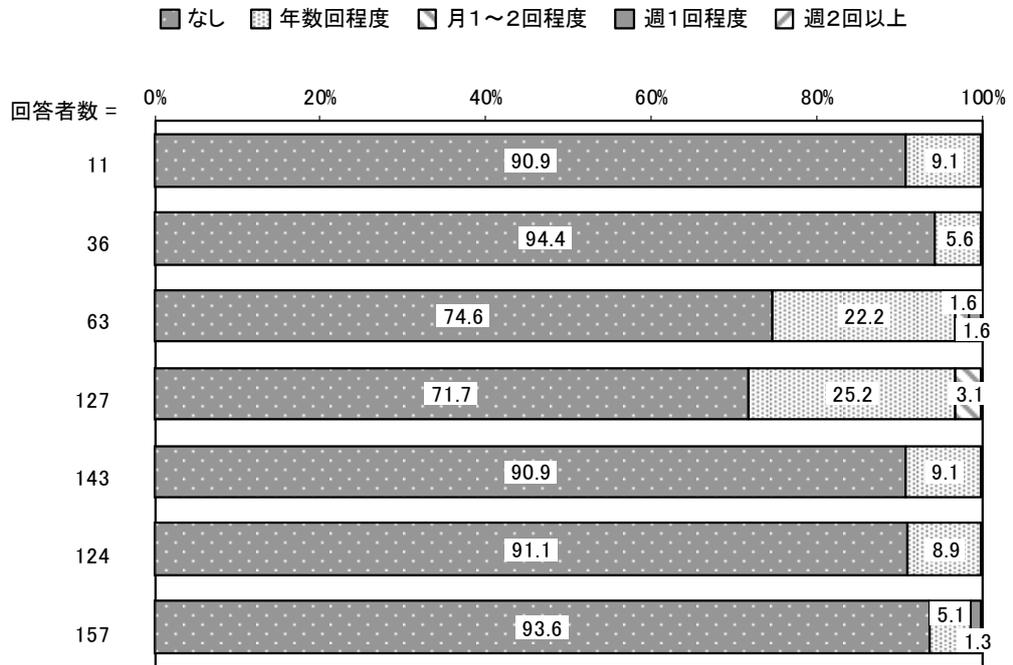
年代別でみると、大きな差異はみられません。



⑨ 科学館

【年代別】

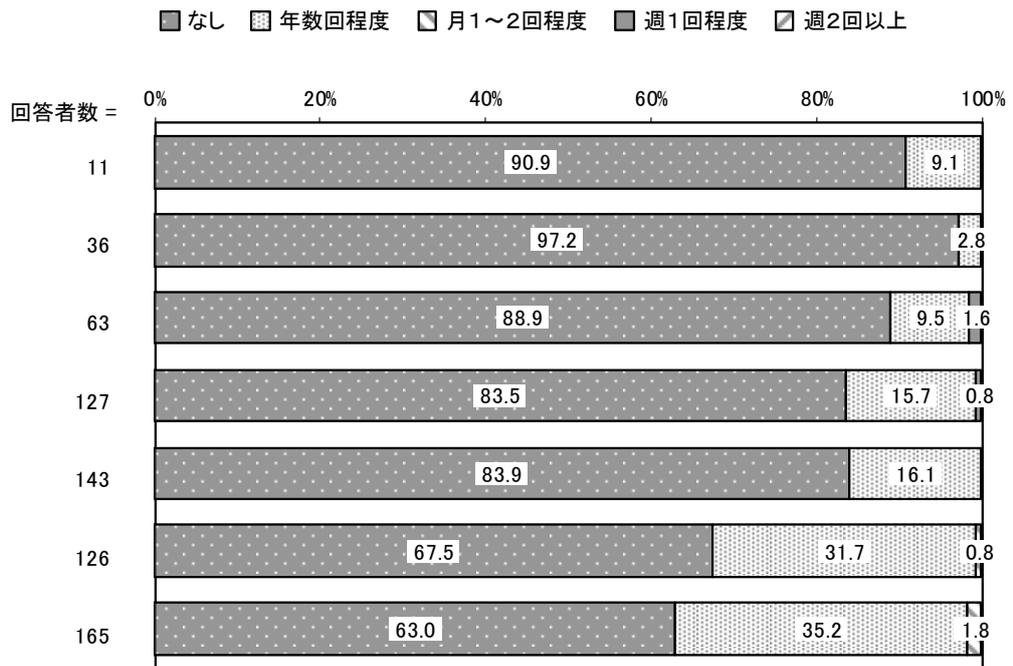
年代別で見ると、他に比べ、30代、40代で「年数回程度」の割合が高くなっています。



⑩ 歴史博物館

【年代別】

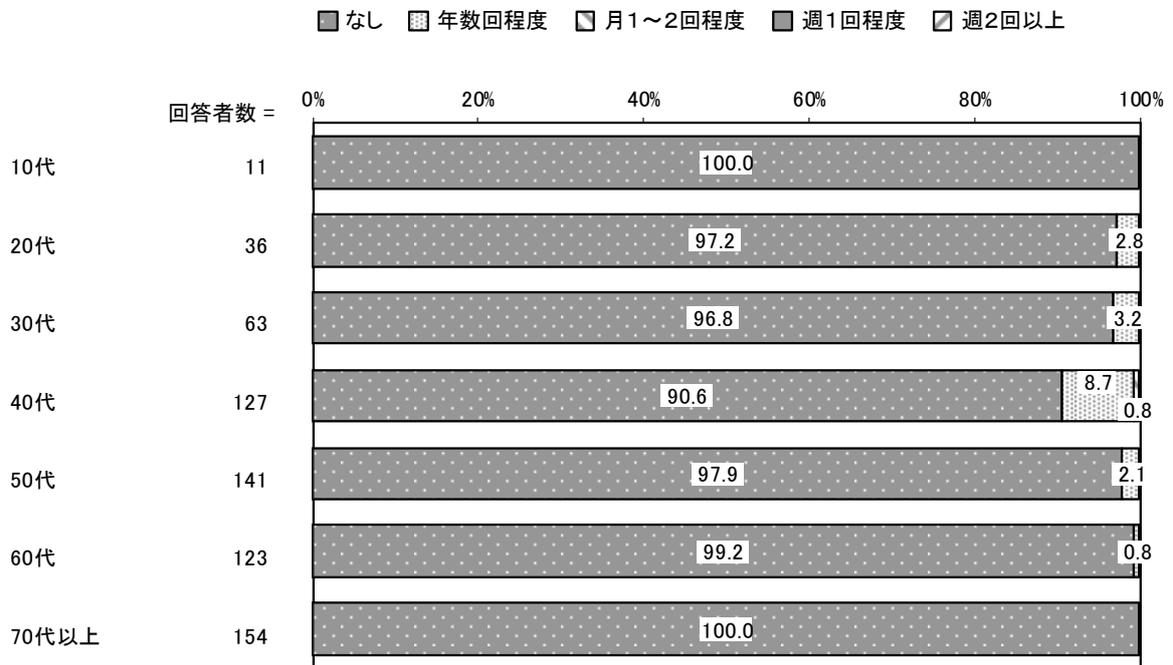
年代別で見ると、他に比べ、60代以上で「年数回程度」の割合が高くなっています。



⑪ 葛川少年自然の家

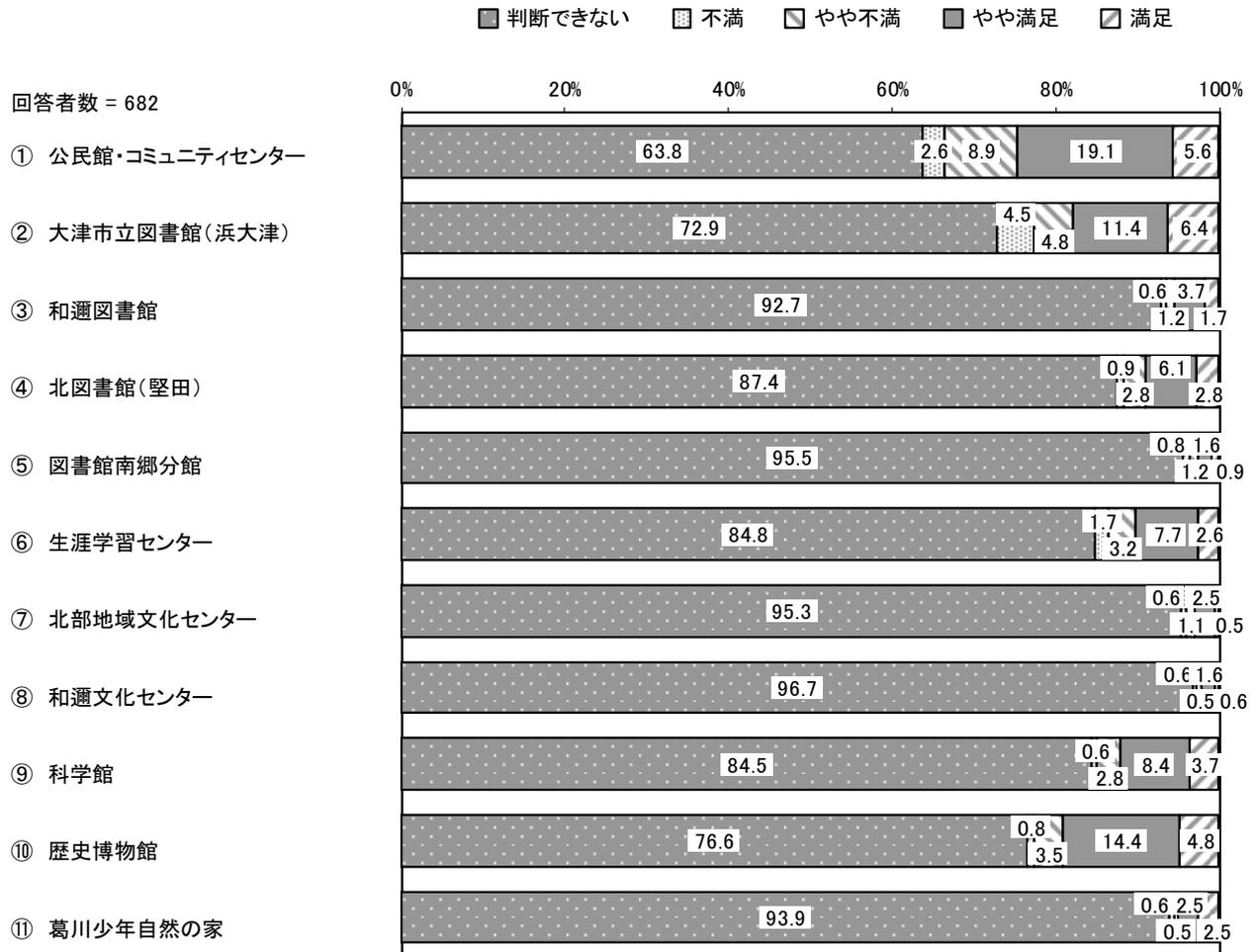
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40代で「年数回程度」の割合が高くなっています。



【満足度】

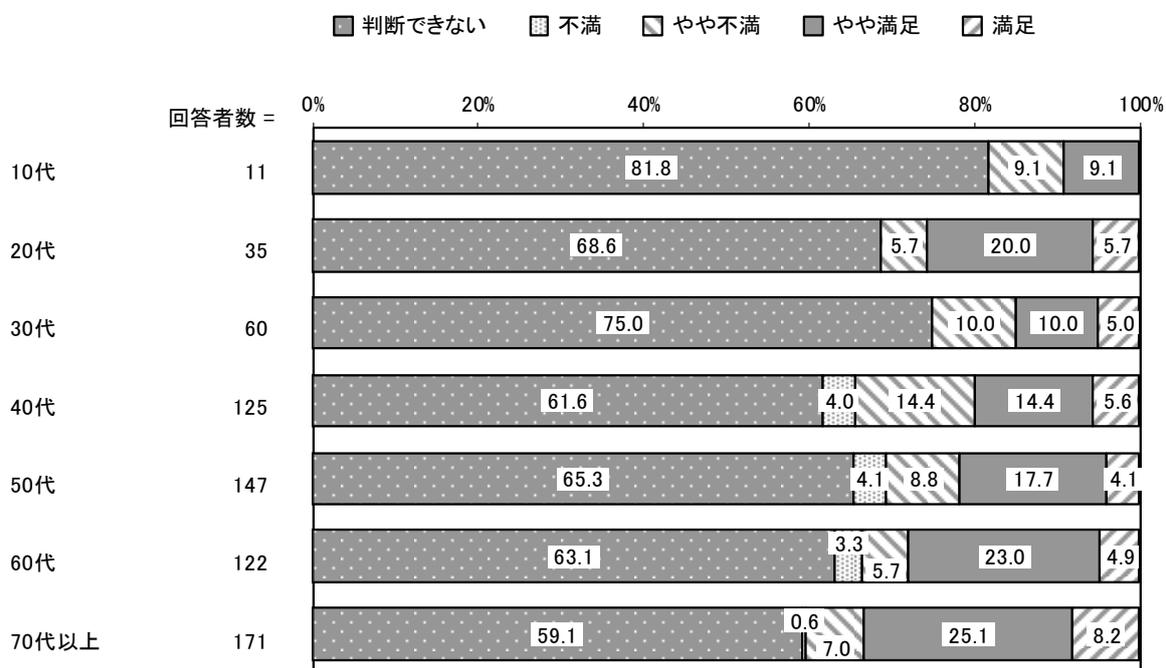
『①公民館・コミュニティセンター』で「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。



① 公民館・コミュニティセンター

【年代別】

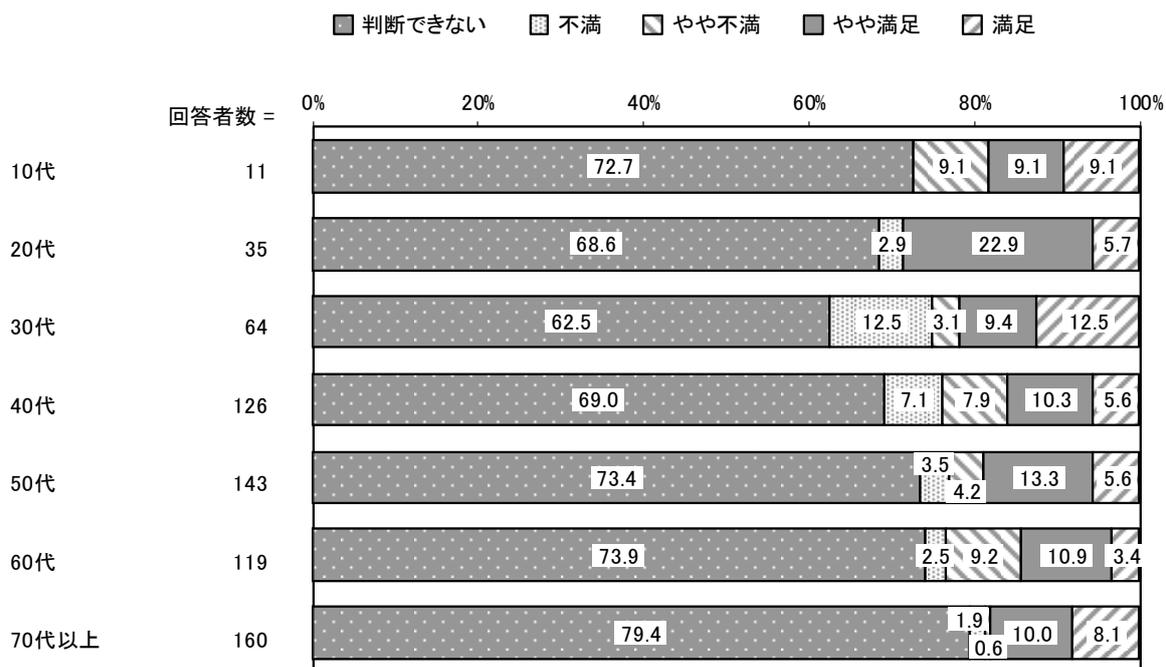
年代別で見ると、年代が高くなるにつれて“満足”の割合が高くなる傾向がみられます。



② 大津市立図書館（浜大津）

【年代別】

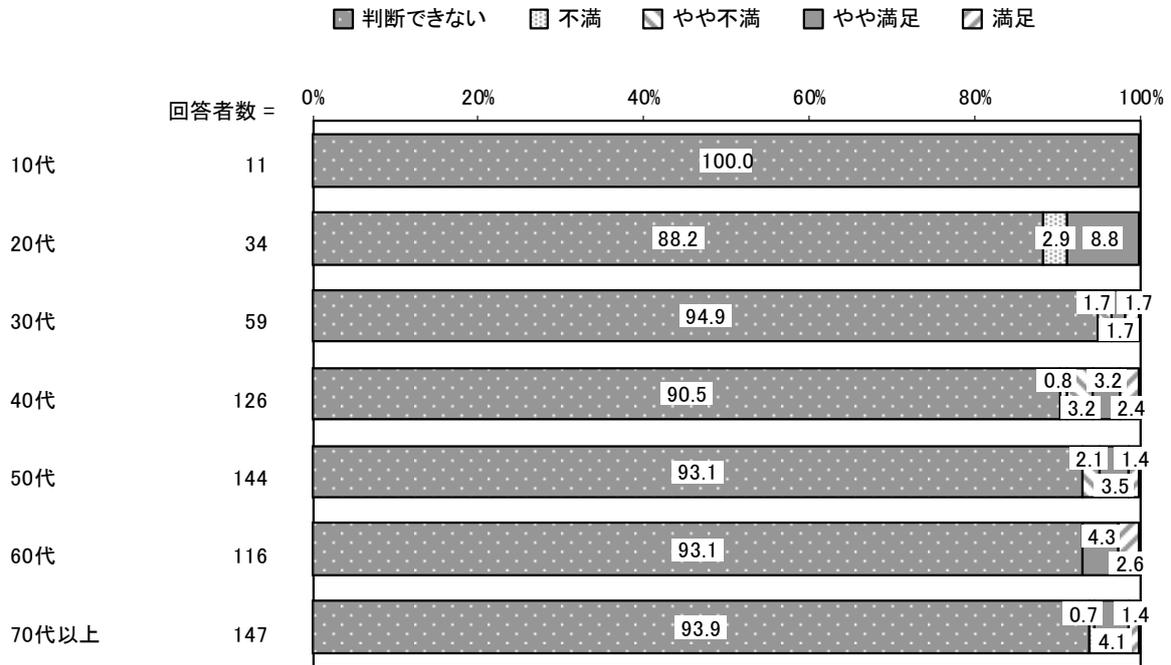
年代別で見ると、他に比べ、20代で“満足”の割合が高くなっています。



③ 和邇図書館

【年代別】

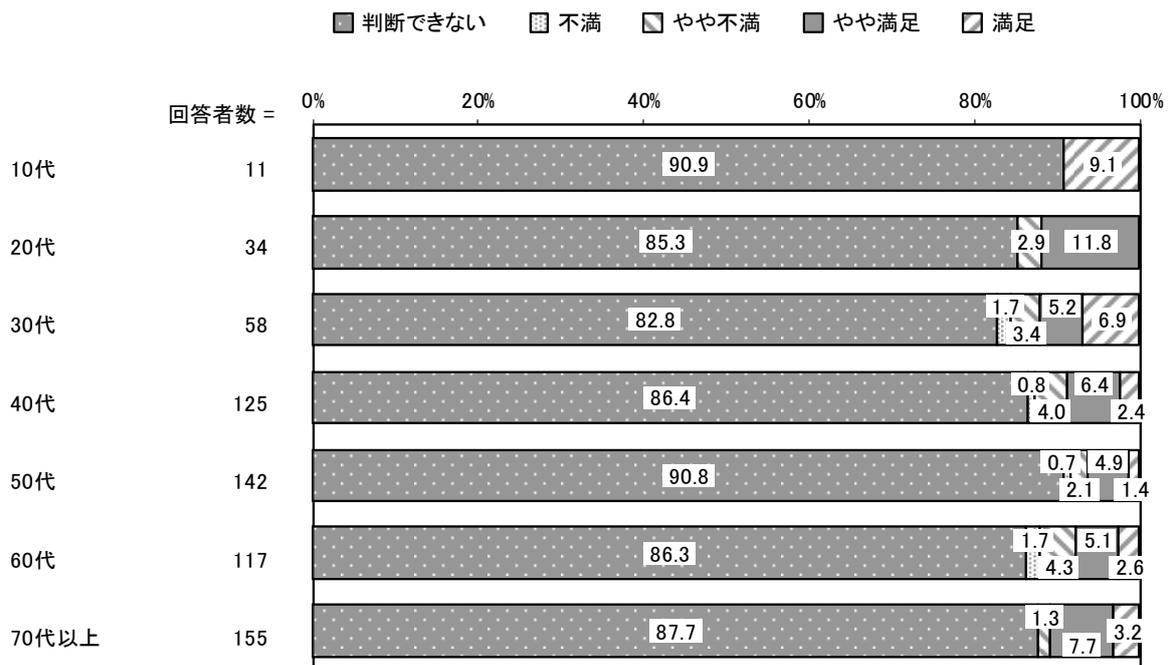
年代別でみると、他に比べ、20代で“満足”の割合が高くなっています。



④ 北図書館（堅田）

【年代別】

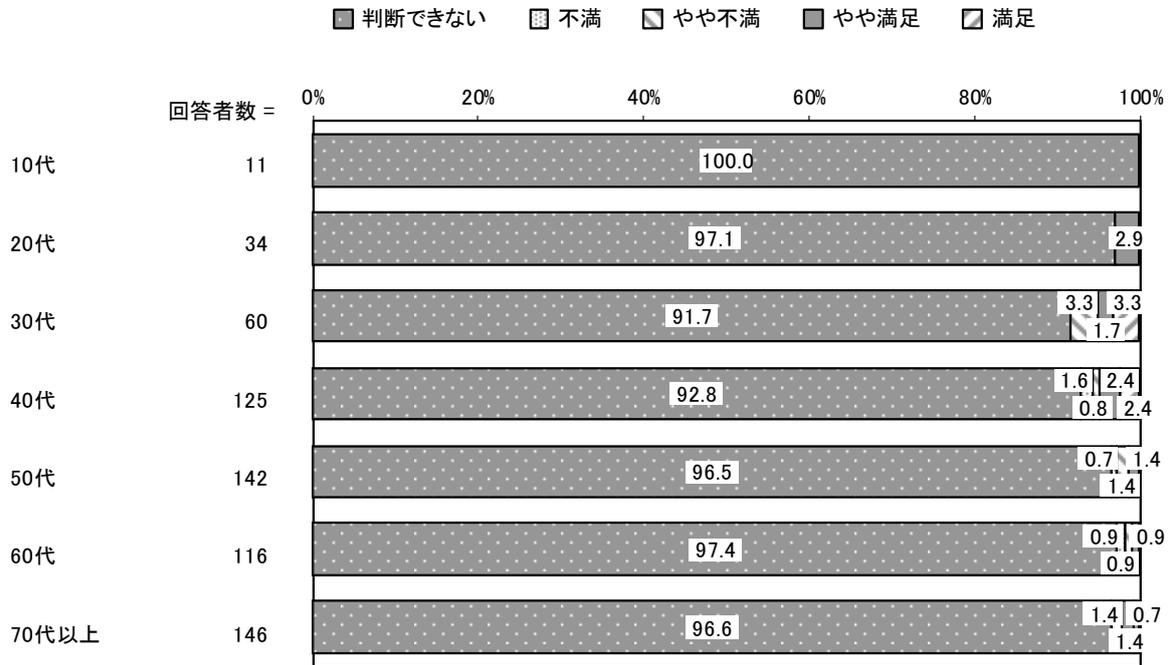
年代別でみると、他に比べ、20代、30代、70代以上で“満足”の割合が高くなっています。



⑤ 図書館南郷分館

【年代別】

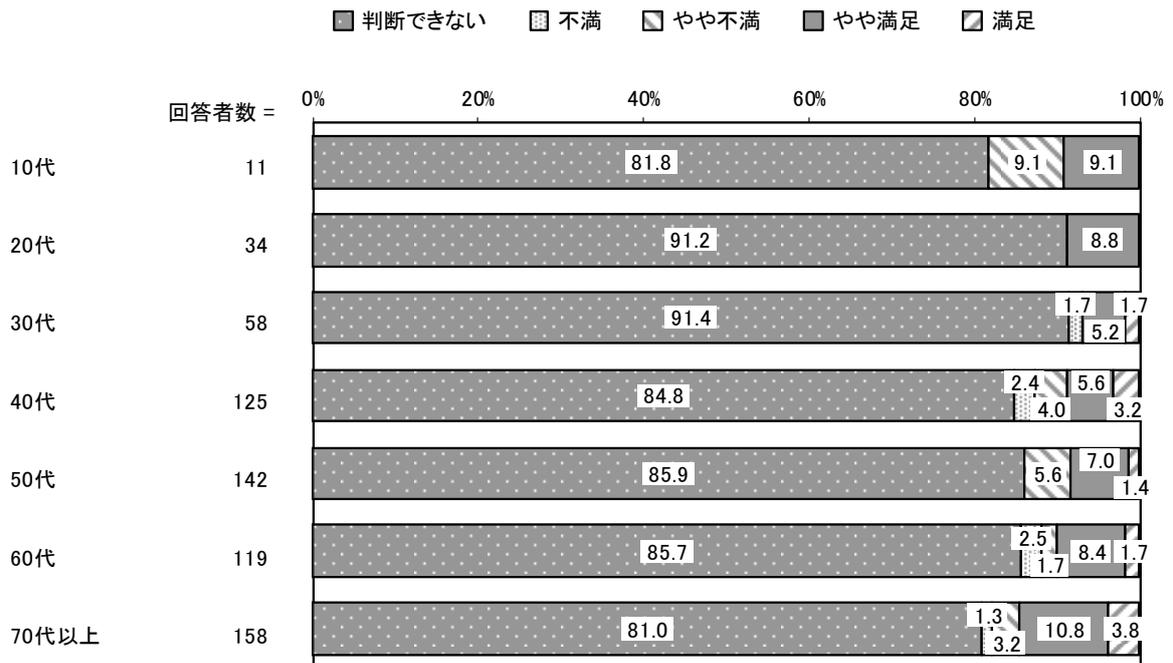
年代別でみると、大きな差異はみられません。



⑥ 生涯学習センター

【年代別】

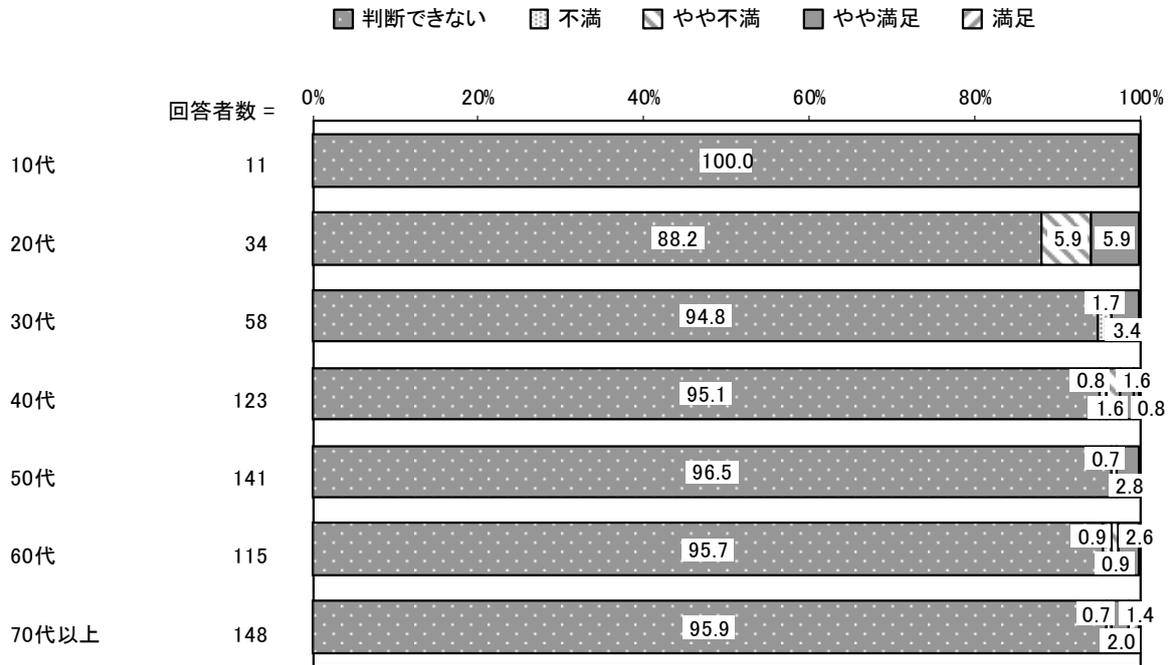
年代別でみると、他に比べ、70代以上で“満足”の割合が高くなっています。



⑦ 北部地域文化センター

【年代別】

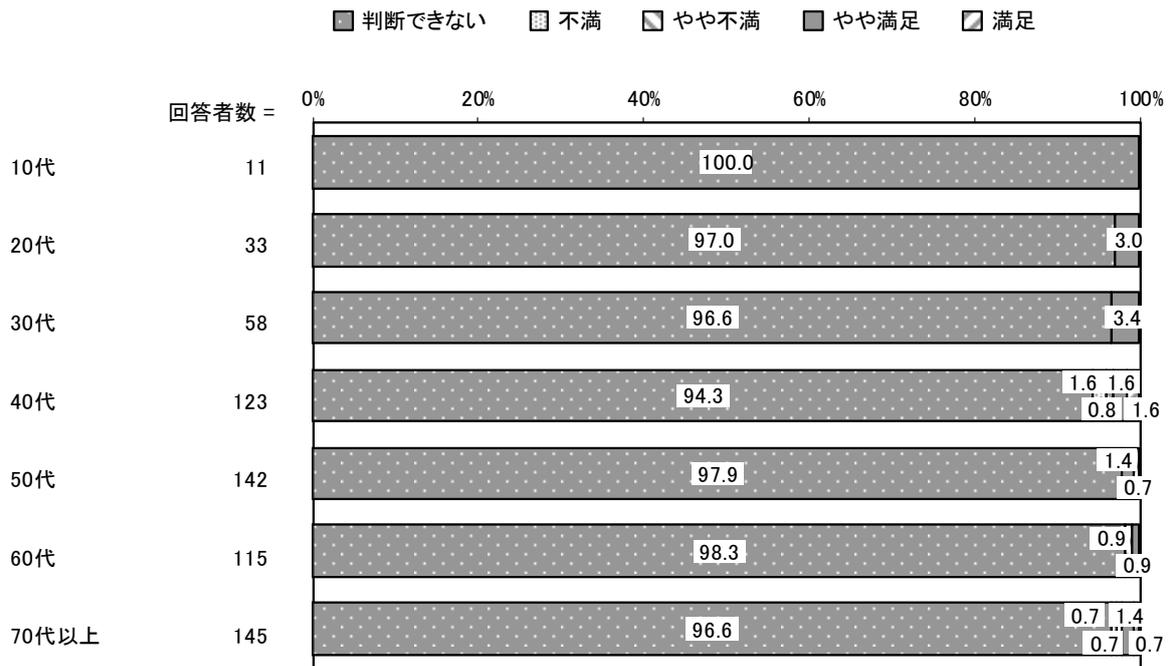
年代別でみると、他に比べ、20代で“不満”の割合が高くなっています。



⑧ 和邇文化センター

【年代別】

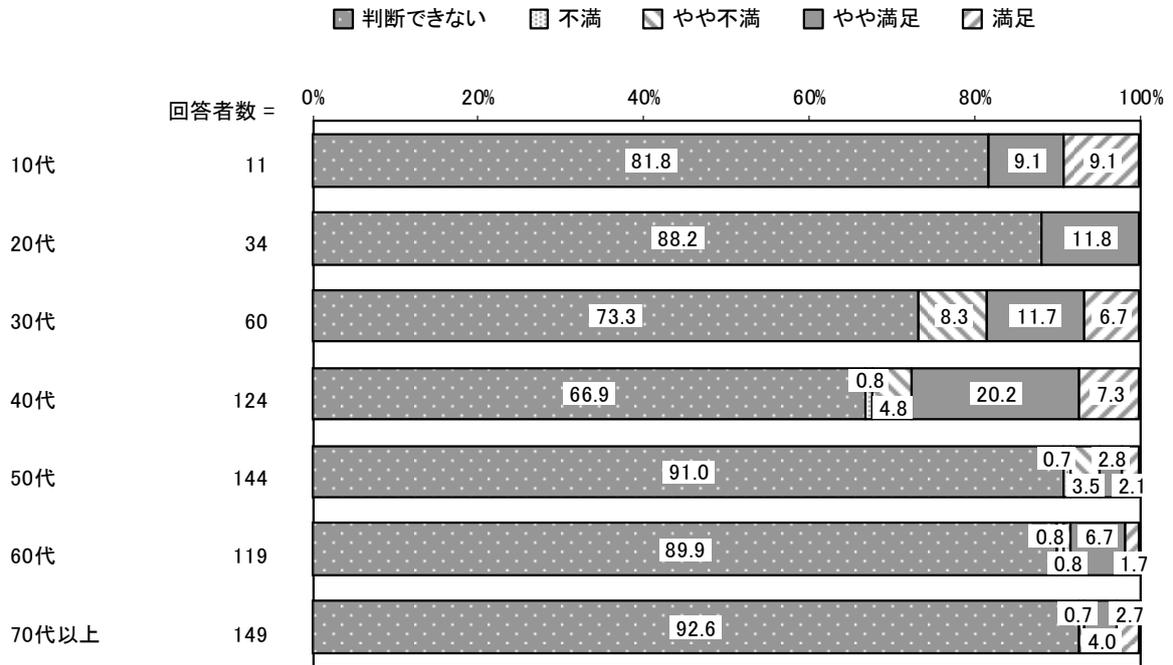
年代別でみると、大きな差異はみられません。



⑨ 科学館

【年代別】

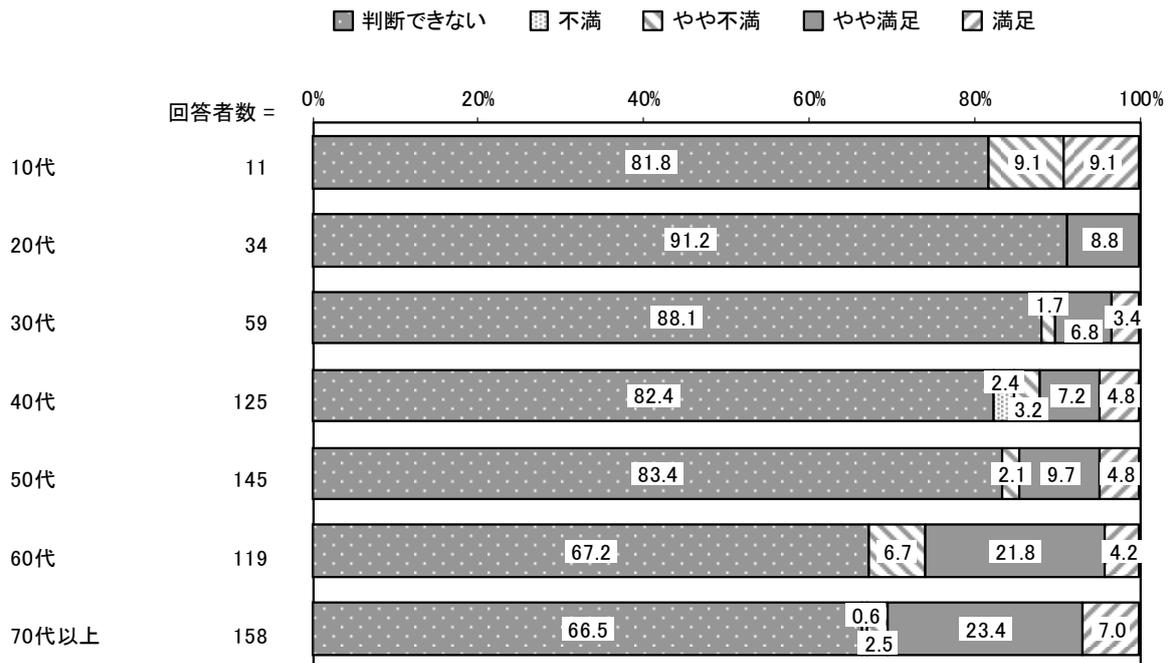
年代別で見ると、他に比べ、40代で“満足”の割合が高くなっています。



⑩ 歴史博物館

【年代別】

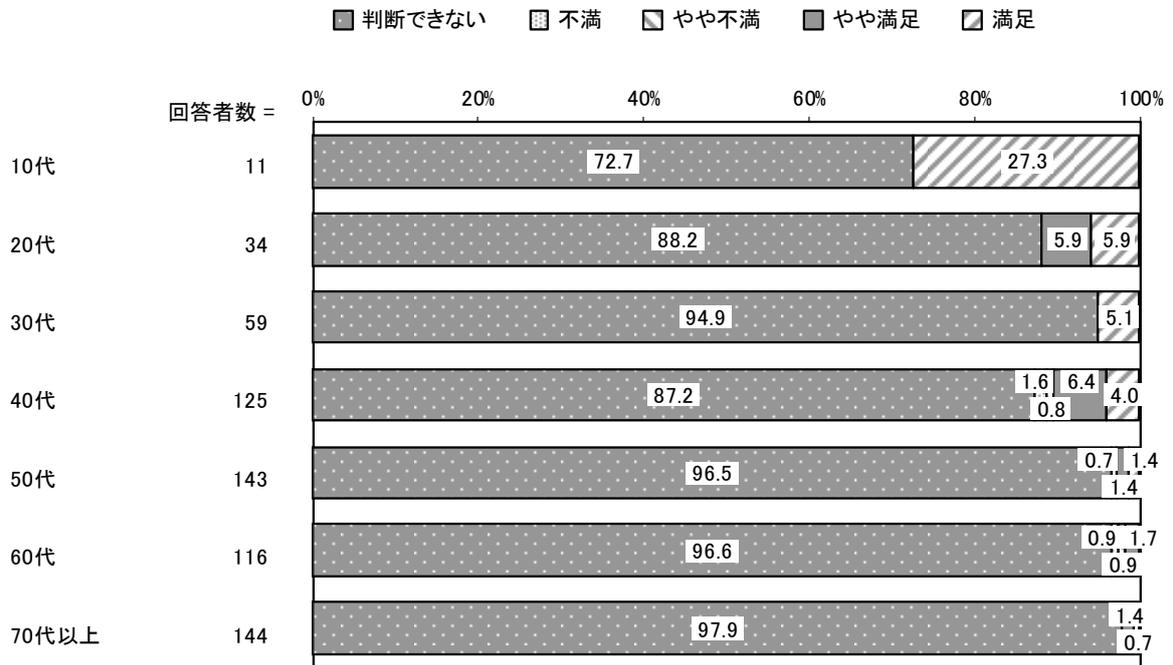
年代別で見ると、年代が高くなるにつれて“満足”の割合が高くなる傾向がみられます。



⑪ 葛川少年自然の家

【年代別】

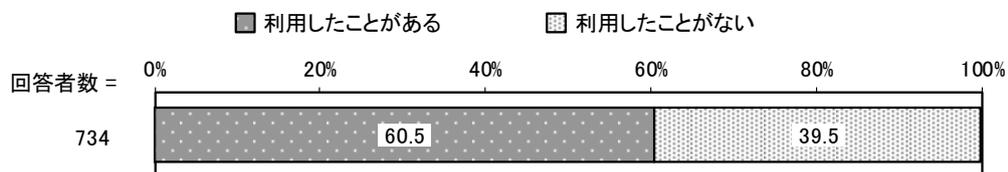
年代別でみると、他に比べ、10代で“満足”の割合が高くなっています。



11 大津市が設置している図書館の利用について

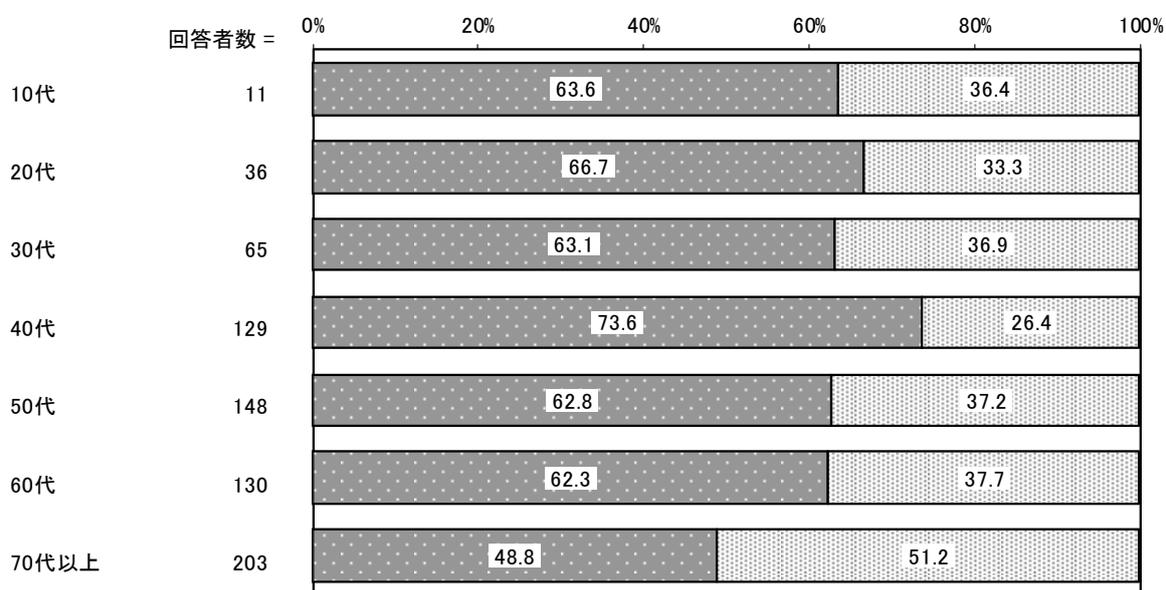
問 30 あなたは、大津市が設置している図書館を利用したことがありますか。(○を1つ)

「利用したことがある」の割合が60.5%、「利用したことがない」の割合が39.5%となっています。



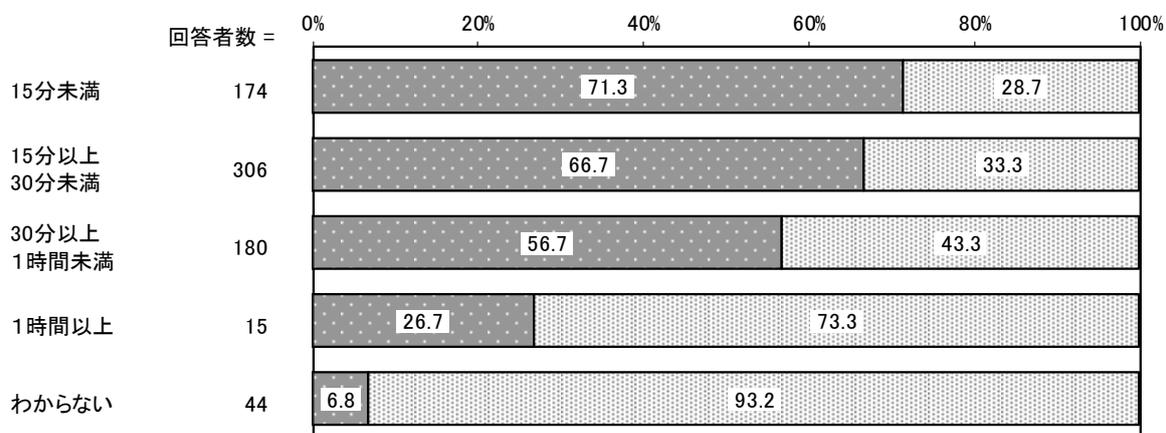
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40代で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



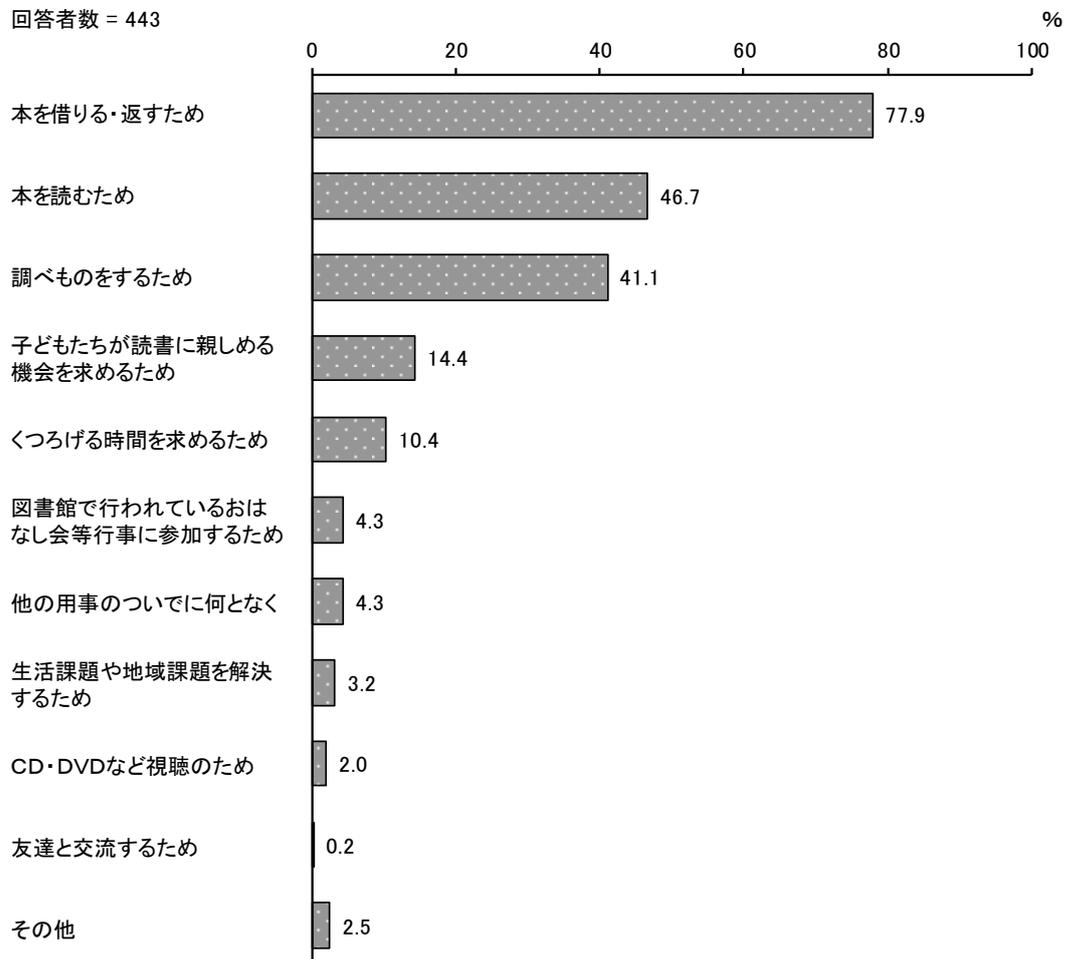
【図書館までの所要時間別】

図書館までの所要時間別でみると、所要時間が短い人ほど「利用したことがある」の割合が高くなっています。



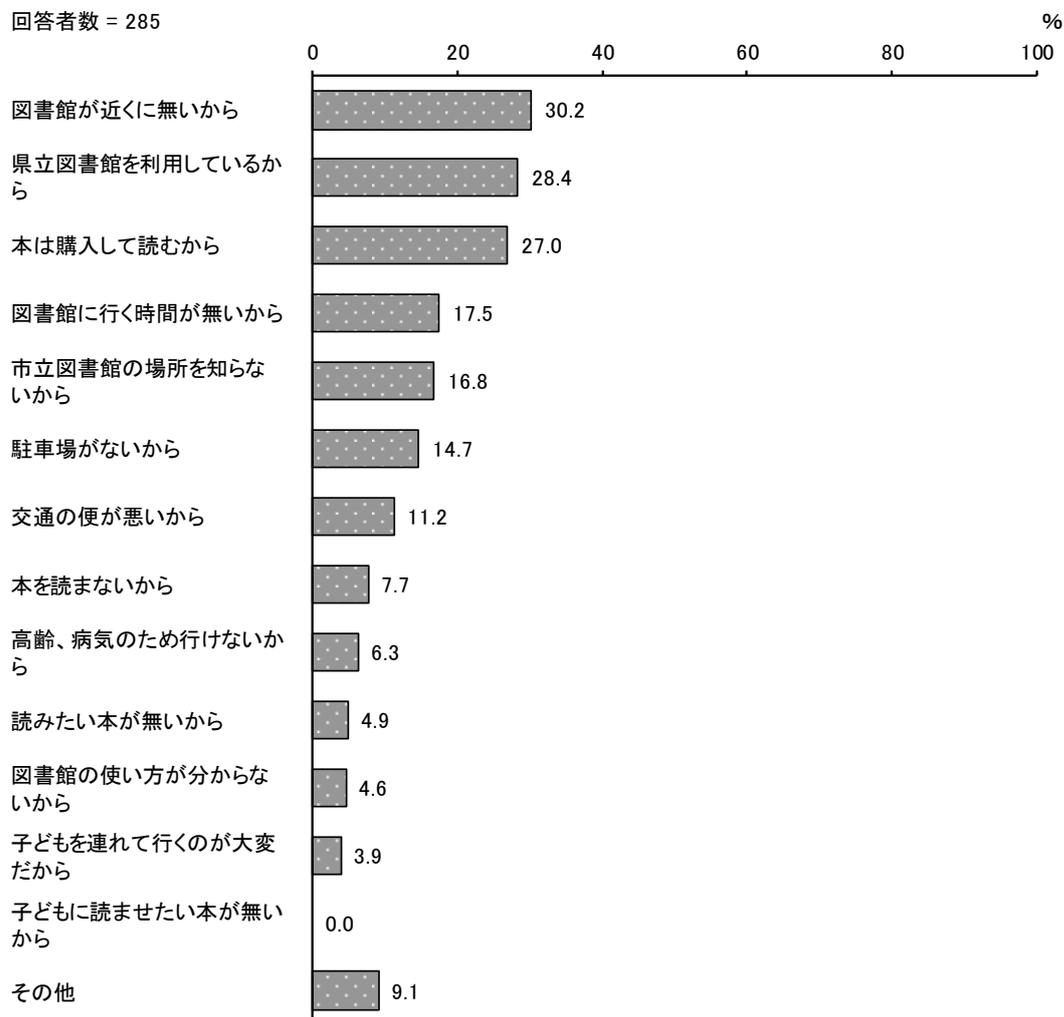
問 31 あなたが図書館を利用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「本を借りる・返すため」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「本を読むため」の割合が 46.7%、「調べものをするため」の割合が 41.1%となっています。



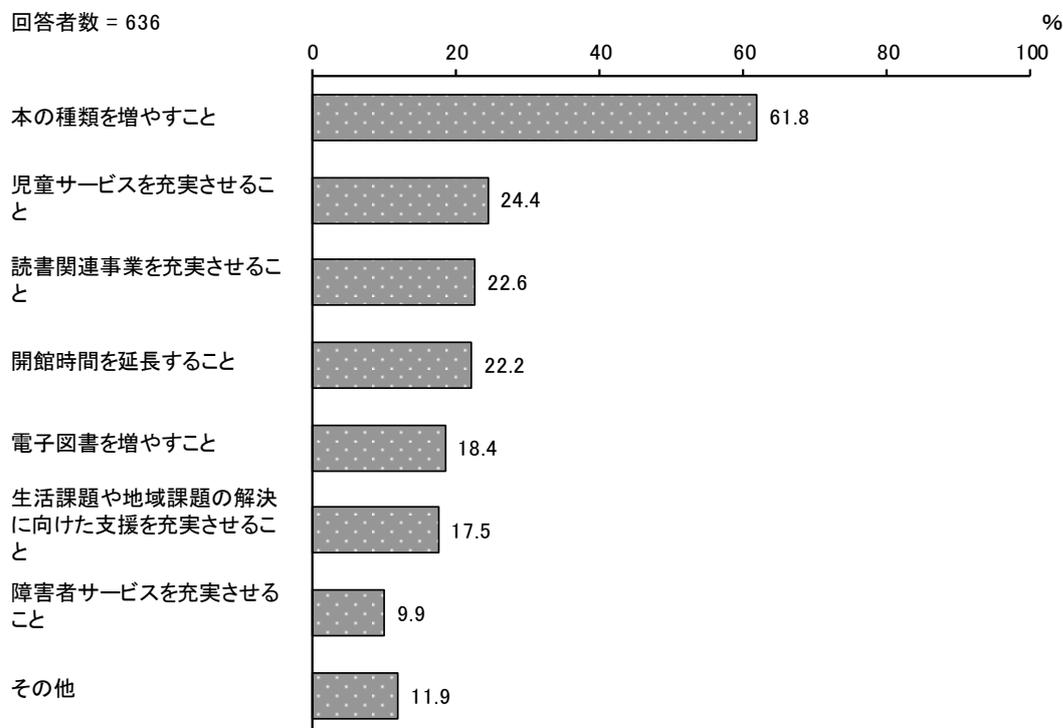
問 32 あなたが利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「図書館が近くに無いから」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「県立図書館を利用しているから」の割合が 28.4%、「本は購入して読むから」の割合が 27.0%となっています。



問 33 ①「図書館に望むこと」の機能面（〇は3つまで）

「本の種類を増やすこと」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「児童サービスを充実させること」の割合が 24.4%、「読書関連事業を充実させること」の割合が 22.6%となっています。



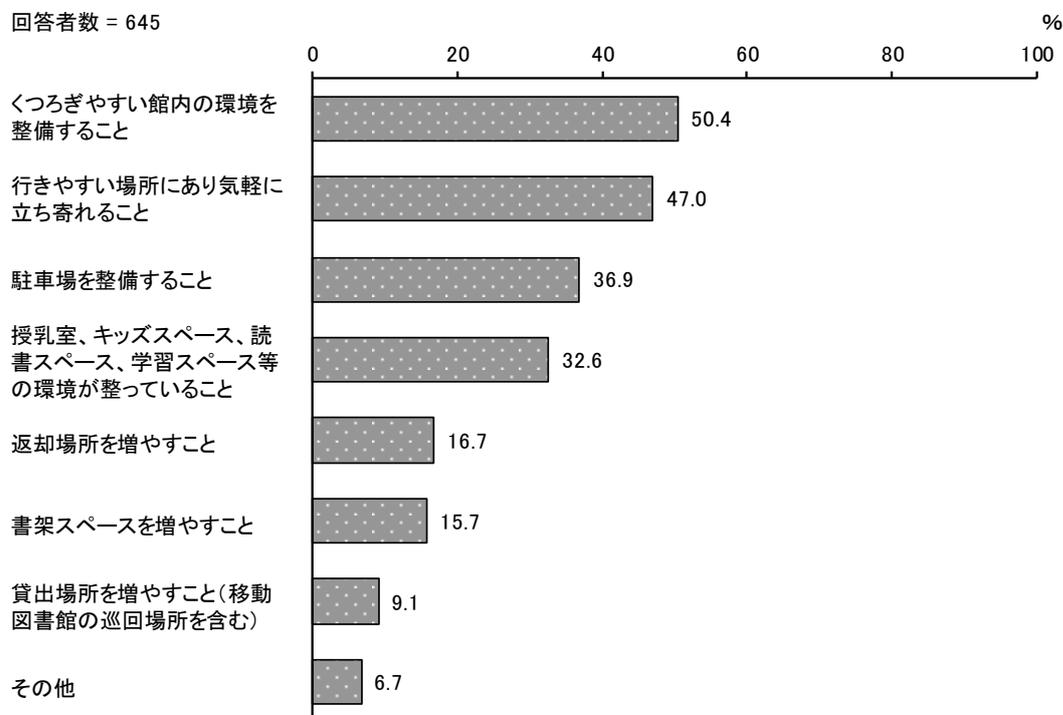
【図書館の利用経験別】

図書館の利用経験別でみると、利用したことがないに比べ、利用したことがあるで「本の種類を増やすこと」の割合が高くなっています。また、利用したことがないで「児童サービスを充実させること」「電子図書を増やすこと」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	(%)								
		本の種類を増やすこと	児童サービスを充実させること	読書関連事業を充実させること	開館時間を延長すること	電子図書を増やすこと	生活課題や地域課題の解決に向けた支援を充実させること	障害者サービスを充実させること	その他	
利用したことがある	405	71.9	22.0	23.7	22.0	15.6	13.8	10.1	11.6	
利用したことがない	230	44.3	28.7	20.9	22.6	23.5	23.9	9.6	12.2	

問 33 ②「図書館に望むこと」の施設環境面（〇は3つまで）

「くつろぎやすい館内の環境を整備すること」の割合が50.4%と最も高く、次いで「行きやすい場所にあり気軽に立ち寄れること」の割合が47.0%、「駐車場を整備すること」の割合が36.9%となっています。



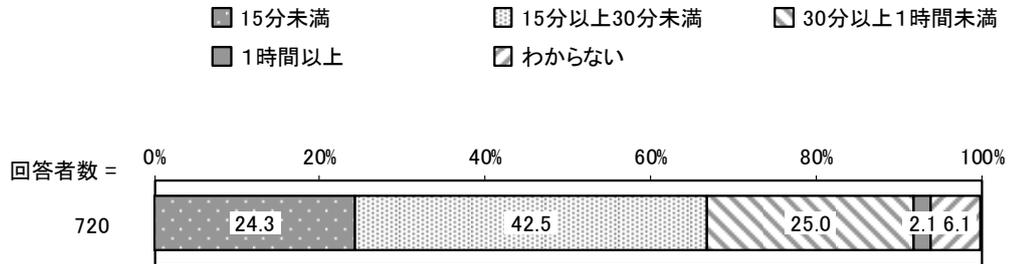
【図書館の利用経験別】

図書館の利用経験別でみると、利用したことがないに比べ、利用したことがあるで「授乳室、キッズスペース、読書スペース、学習スペース等の環境が整っていること」「書架スペースを増やすこと」「くつろぎやすい館内の環境を整備すること」の割合が高くなっています。また、利用したことがないで「行きやすい場所にあり気軽に立ち寄れること」の割合が高くなっています。

区分	回答者数(件)	(%)								
		くつろぎやすい館内の環境を整備すること	行きやすい場所にあり気軽に立ち寄れること	駐車場を整備すること	授乳室、キッズスペース、読書スペース、学習スペース等の環境が整っていること	返却場所を増やすこと	書架スペースを増やすこと	貸出場所を増やすこと(移動図書館の巡回場所を含む)	その他	
利用したことがある	405	53.1	43.7	36.8	35.3	17.0	19.3	9.4	4.9	
利用したことがない	239	46.0	52.7	37.2	28.0	16.3	9.6	8.8	9.2	

問 34 あなたの家から近隣の図書館までの所要時間はどのくらいですか。(交通手段は問いません。)(○を1つ)

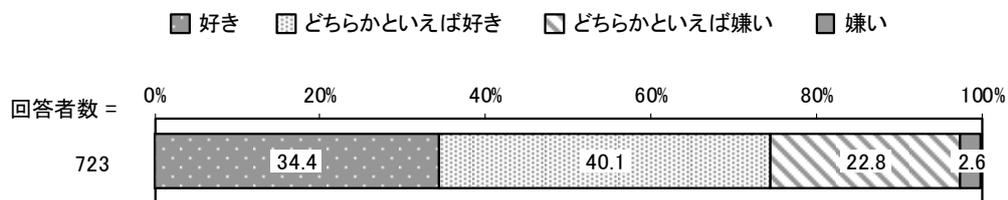
「15分以上30分未満」の割合が42.5%と最も高く、次いで「30分以上1時間未満」の割合が25.0%、「15分未満」の割合が24.3%となっています。



12 子どもの読書活動の推進について

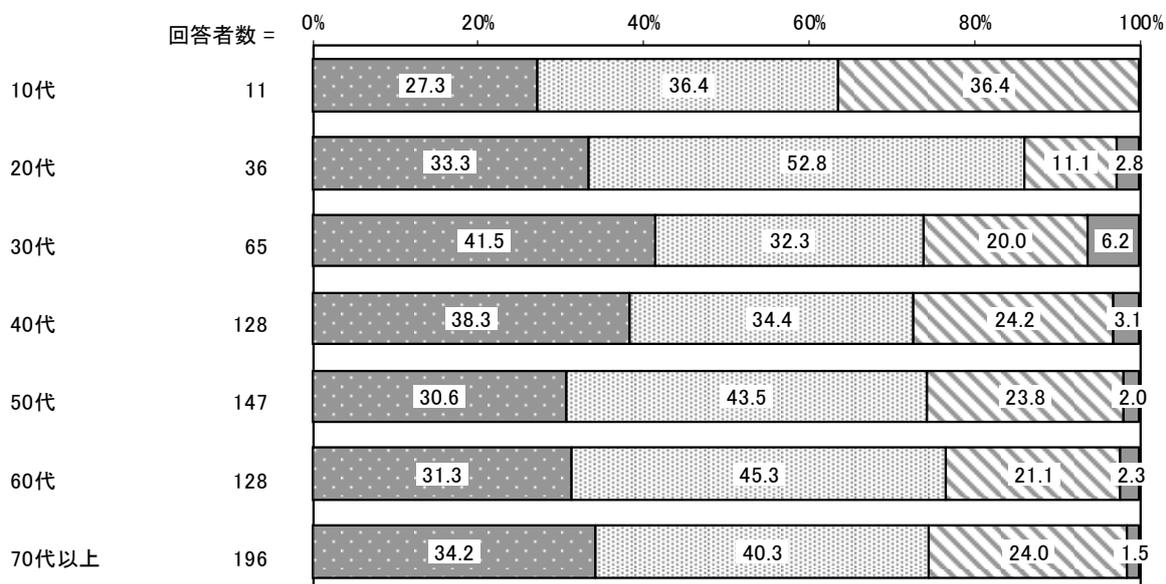
問 35 あなたは本（漫画、雑誌は除く）を読むことが好きですか。（○を1つ）

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が74.5%となっています。



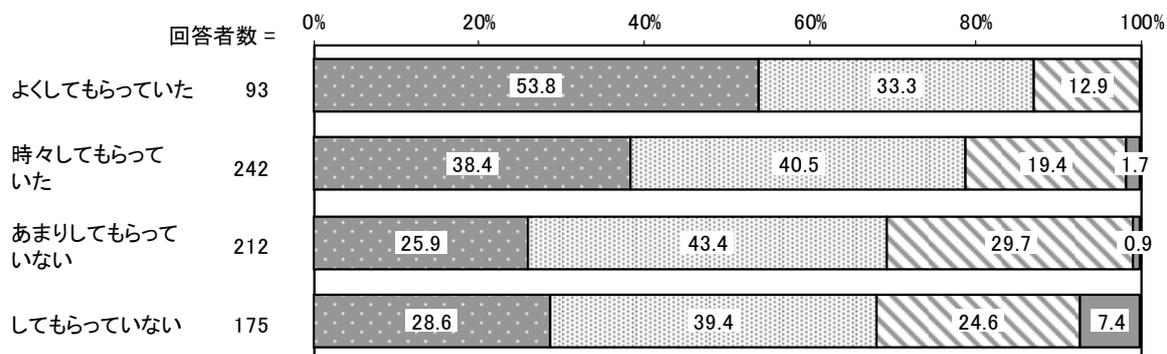
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で“好き”の割合が高くなっています。



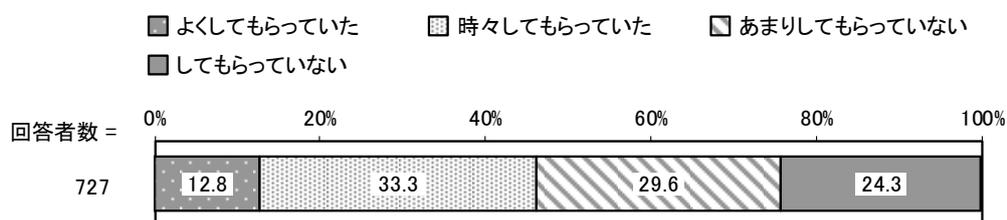
【読み聞かせの経験の有無別】

読み聞かせの経験の有無別でみると、してもらっていた人ほど“好き”の割合が高くなる傾向がみられます。



問 36 あなたは子どもの頃、読み聞かせをしてもらったことはありますか。(○を1つ)

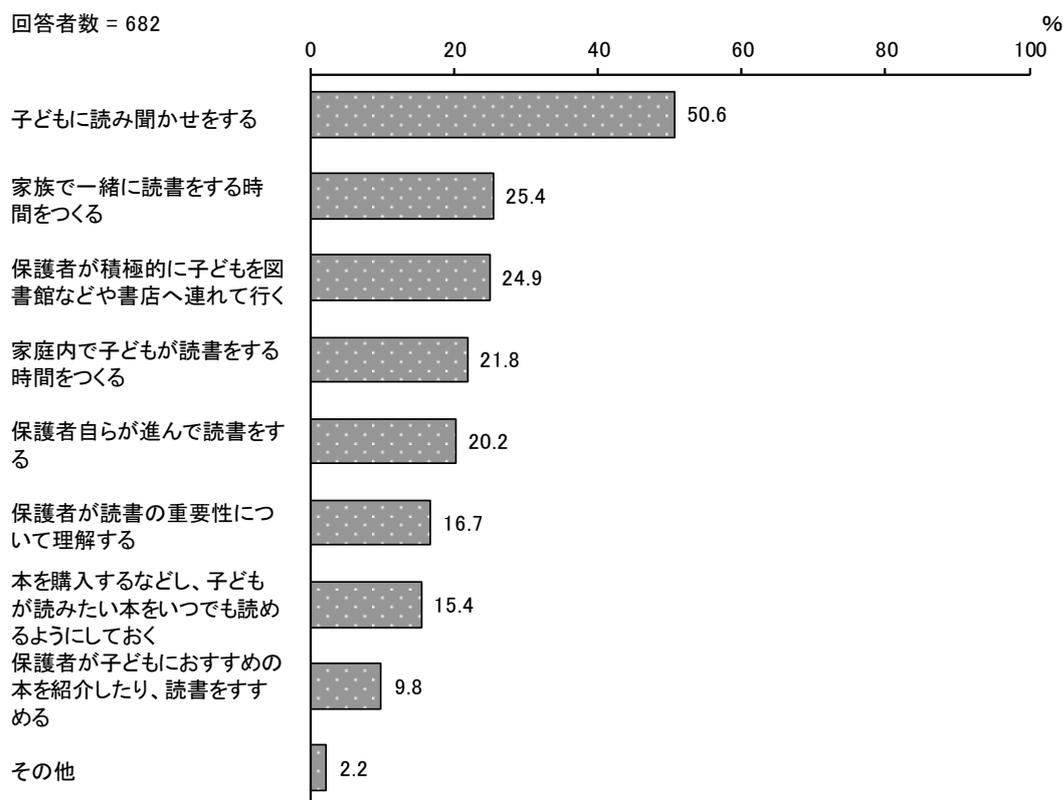
「よくしてもらっていた」と「時々してもらっていた」を合わせた“してもらった”の割合が46.1%となっています。



問 37 あなたは、子どもの読書活動を推進するために、家庭、地域、学校でどのような取組が必要だと考えますか。それぞれで必要だと思うものに○を2つまで付けてください。

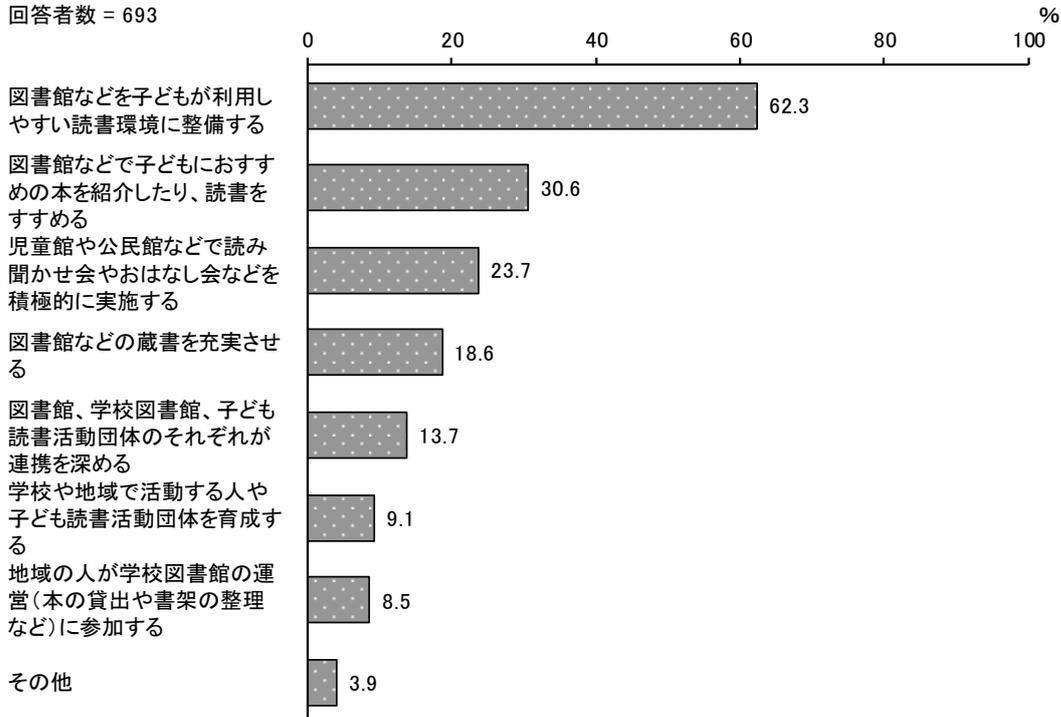
(1) 「家庭」での取組

「子どもに読み聞かせをする」の割合が50.6%と最も高く、次いで「家族で一緒に読書をする時間をつくる」の割合が25.4%、「保護者が積極的に子どもを図書館などや書店へ連れて行く」の割合が24.9%となっています。



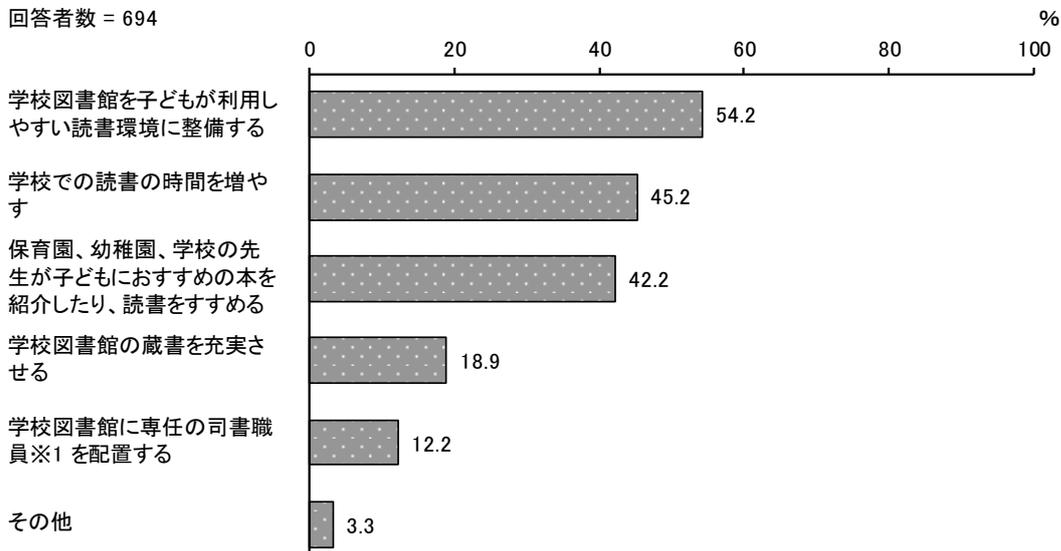
(2) 「地域」での取組

「図書館などを子どもが利用しやすい読書環境に整備する」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「図書館などで子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる」の割合が 30.6%、「児童館や公民館などで読み聞かせ会やおはなし会などを積極的に実施する」の割合が 23.7%となっています。



(3) 「学校」での取組

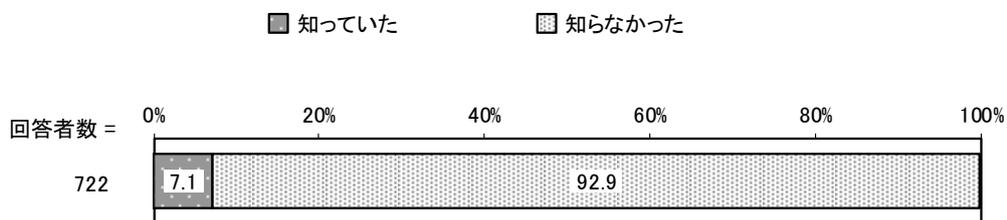
「学校図書館を子どもが利用しやすい読書環境に整備する」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「学校での読書の時間を増やす」の割合が 45.2%、「保育園、幼稚園、学校の先生が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる」の割合が 42.2%となっています。



13 「おおつ学」について

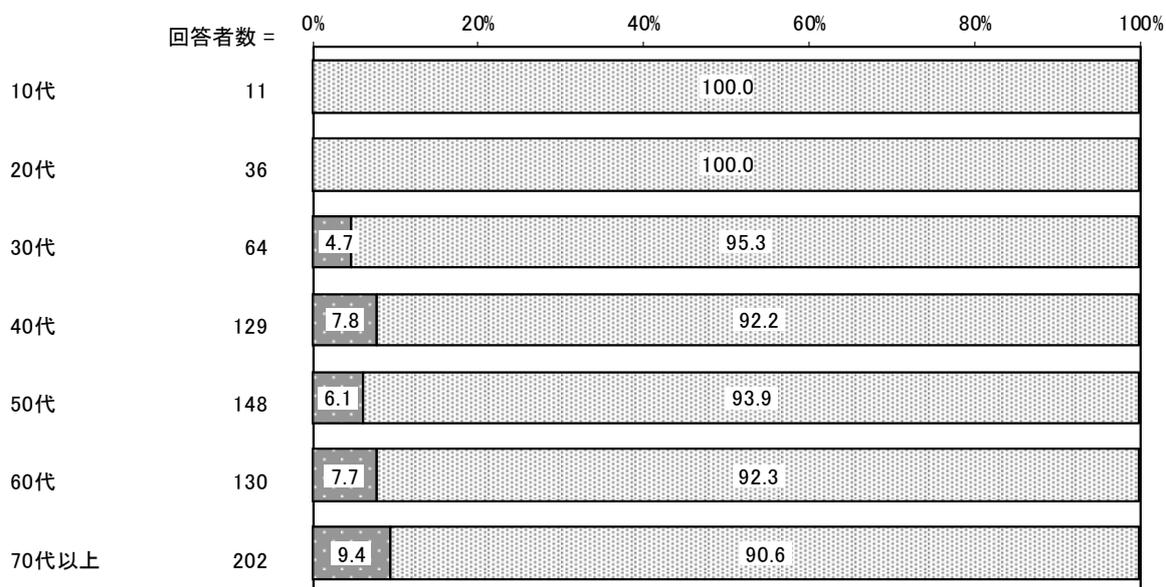
問 38 あなたは、「おおつ学」のことをご存じでしたか。(〇を1つ)

「知っていた」の割合が7.1%、「知らなかった」の割合が92.9%となっています。



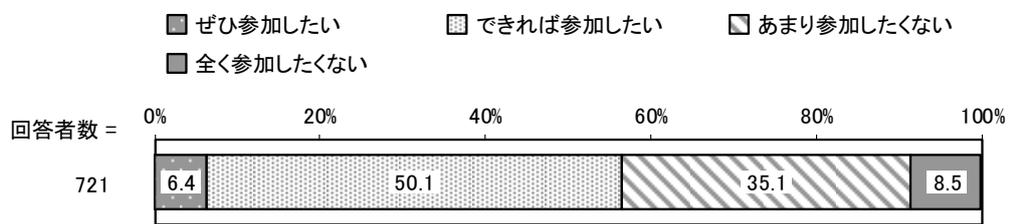
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「知っていた」の割合が高くなる傾向がみられます。



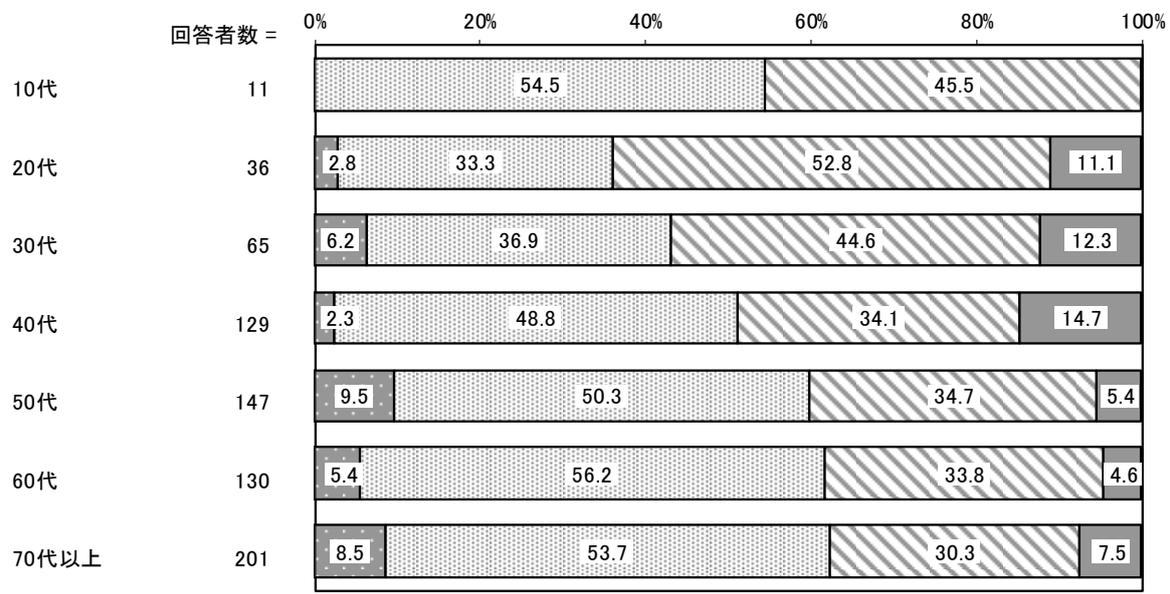
問 39 あなたは、大津についての歴史や文化、環境等を学ぶ機会があれば、参加してみたいと思いますか。(○を1つ)

「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた“参加したい”の割合が56.5%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“参加したい”の割合が高くなる傾向がみられます。

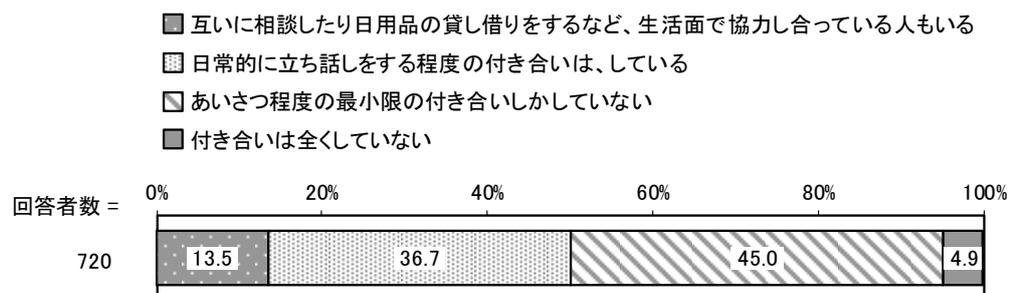


14 日常のお付き合いについて

問 40 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。それぞれについて○を1つ付けてください。

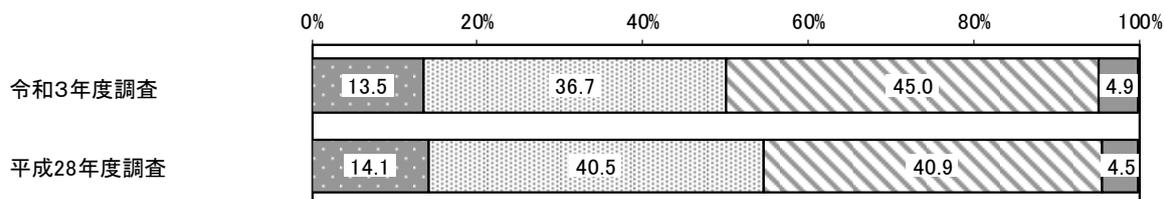
(1) 付き合いの程度

「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「日常的に立ち話しをする程度の付き合いは、している」の割合が36.7%、「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる」の割合が13.5%となっています。



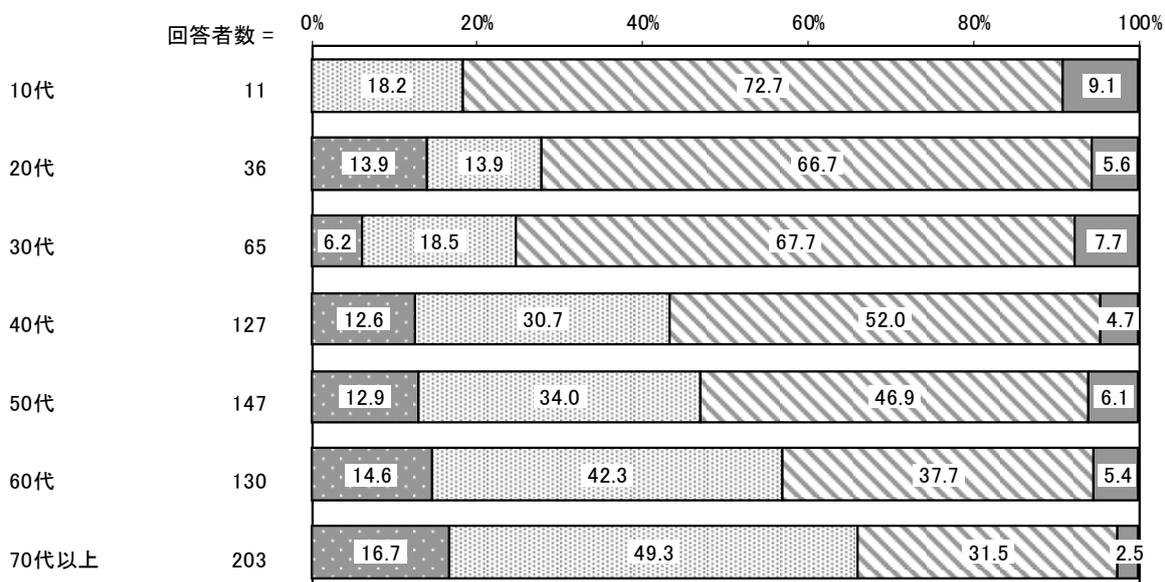
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



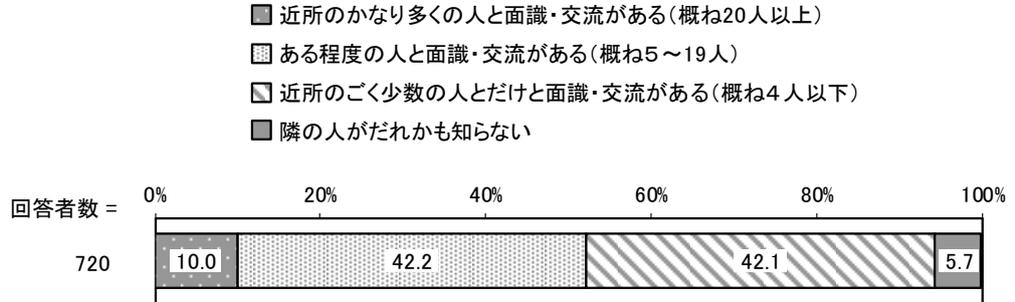
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「日常的に立ち話しをする程度の付き合いは、している」の割合が高くなる傾向がみられます。



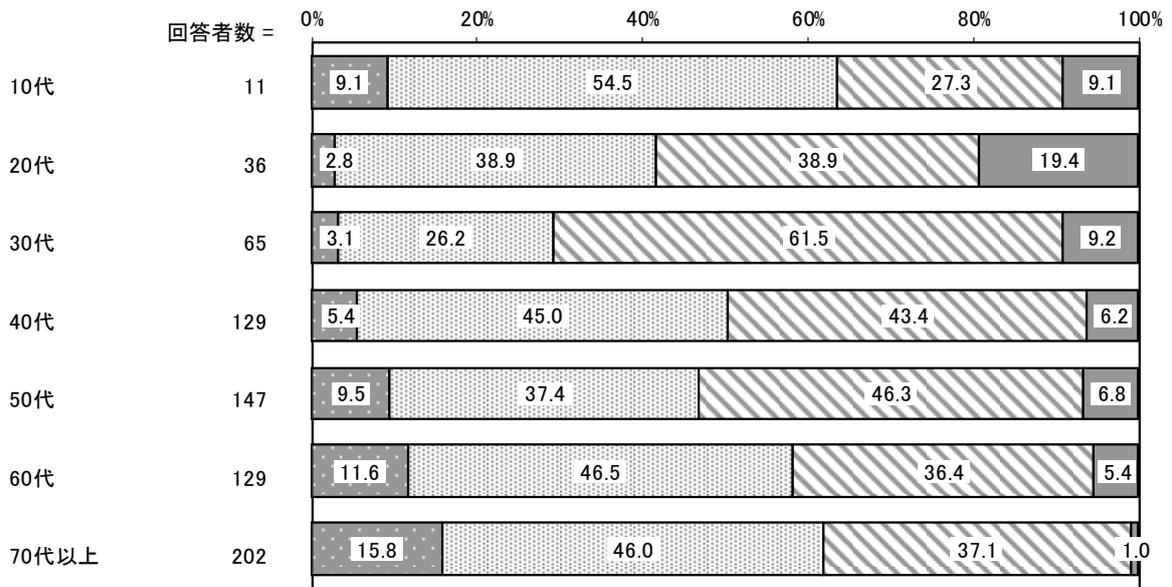
(2) 付き合っている人の数

「ある程度の人と面識・交流がある（概ね5～19人）」の割合が42.2%と最も高く、次いで「近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）」の割合が42.1%、「近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）」の割合が10.0%となっています。



【年代別】

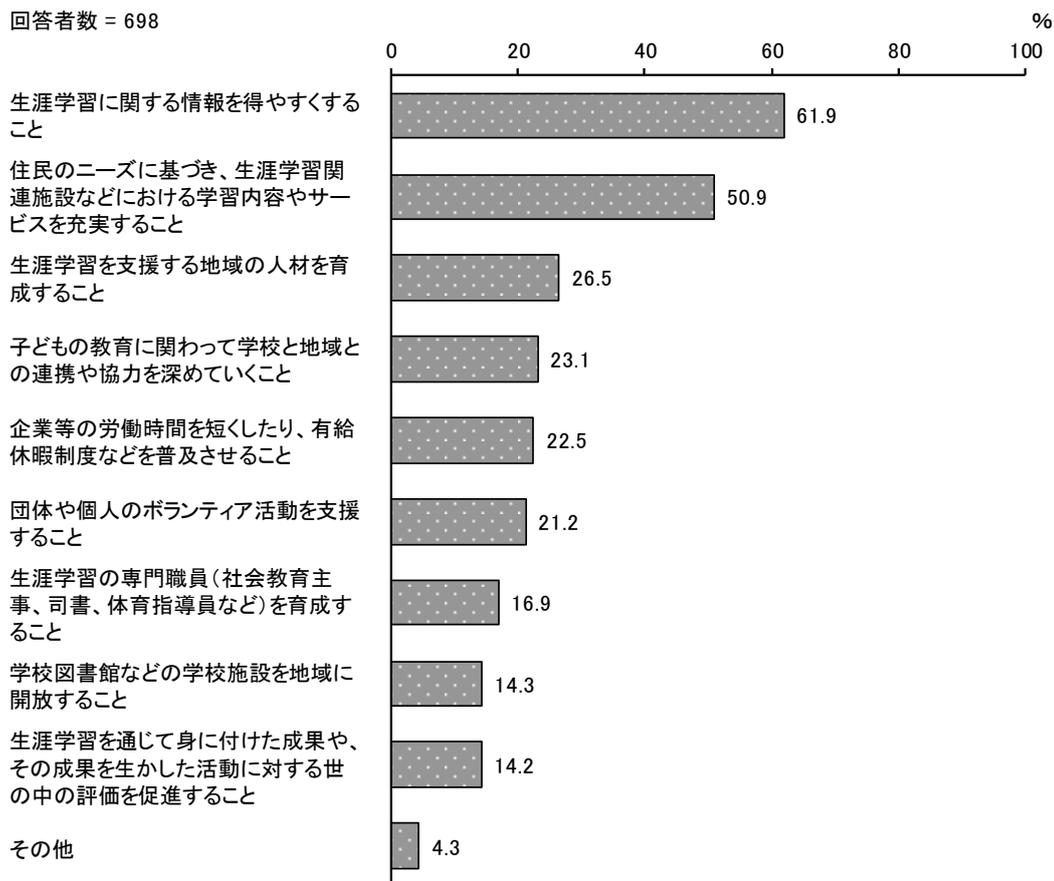
年代別でみると、他に比べ、30代で「近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）」の割合が高くなっています。



15 生涯学習の振興方策について

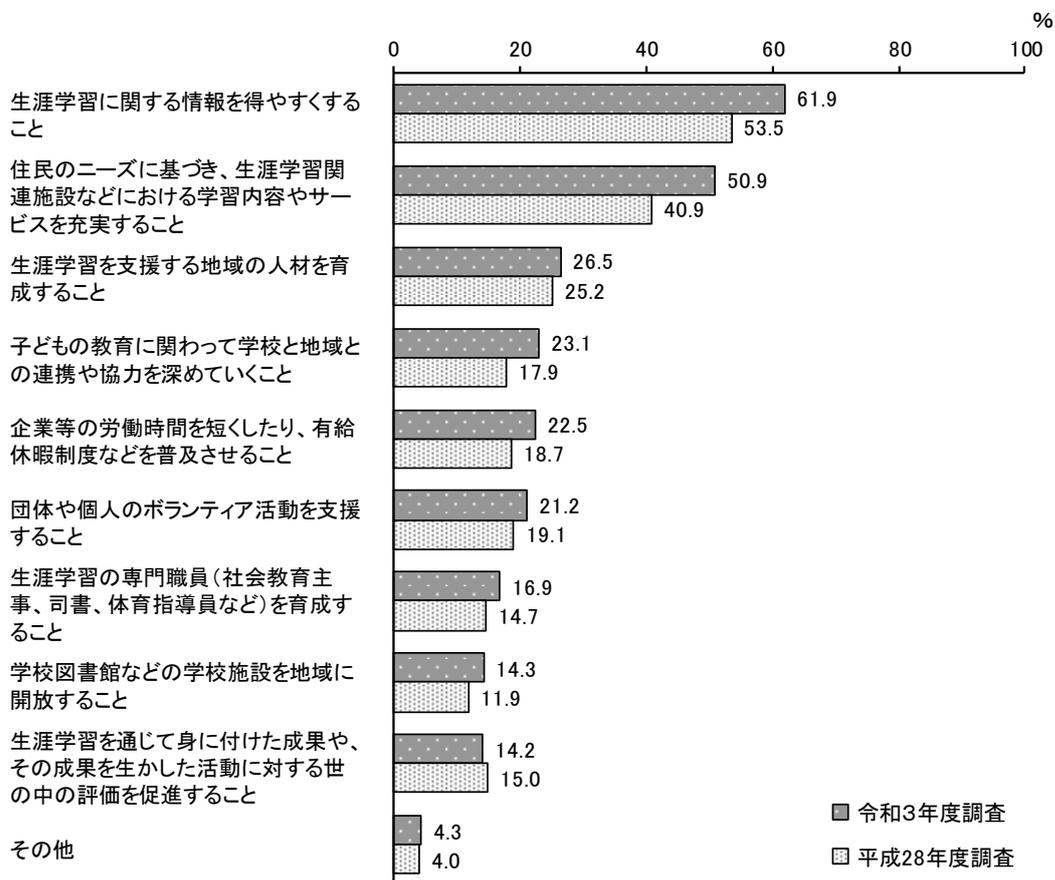
問 41 今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、大津市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「生涯学習に関する情報を得やすくすること」の割合が61.9%と最も高く、次いで「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること」の割合が50.9%、「生涯学習を支援する地域の人材を育成すること」の割合が26.5%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること」「生涯学習に関する情報を得やすくすること」「子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること」の割合が高くなっています。また、50代以上で「生涯学習に関する情報を得やすくすること」の割合が高くなっています。

(%)

区分	回答者数(件)	生涯学習に関する情報を得やすくすること	実る学習内容やサービスを充	住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおき	人材を育成すること地域の	深めと地域の連携や協力を学	子どもとの教育に関わつて学	普及させると有給休暇制度などを短くし
10代	10	50.0	40.0	—	50.0	10.0		
20代	36	58.3	50.0	22.2	25.0	55.6		
30代	65	52.3	47.7	18.5	41.5	35.4		
40代	127	56.7	49.6	21.3	22.8	33.1		
50代	144	67.4	54.2	25.7	20.8	22.2		
60代	125	64.0	53.6	24.8	15.2	16.0		
70代以上	190	64.2	48.9	36.3	21.6	9.5		

区分	団体や個人のボランティア	生涯学習の専門職員(社会員など)を育成すること	学校図書館などの学校施設を地域に開放すること	生涯学習を通じて成果を生かした成果や、その成果を評価を促進すること	その他
10代	40.0	—	40.0	40.0	10.0
20代	11.1	19.4	16.7	19.4	2.8
30代	16.9	20.0	18.5	12.3	13.8
40代	14.2	13.4	16.5	11.0	7.1
50代	22.2	17.4	12.5	18.8	2.1
60代	28.8	17.6	14.4	11.2	1.6
70代以上	22.1	17.4	10.5	12.6	2.6

Ⅲ 自由意見

「生涯学習」に関して、あなたのご意見、ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

1 学習機会の充実 (34 件)			
No.	意見	性別	年代
1	学校、行政の中で生活をして行く事の大切さを社会で良く勉強をする事。時代が変わっていると思いますが、中学校を出てから自分に必要な知識を色々な方法で修得して来たと思っている。	男性	70代以上
2	読書が好きなのでよく図書館を利用します。できるだけ新刊や話題になっている本を増やしてほしい。高齢化が進んでいる中で、体力づくりや教養を高める場や気軽に参加できるような講座案内を増やしてほしい。(広報おおつや他のちらし、メール配信などで) 障害をもっている人も気軽に参加できるような図書館や自己啓発できる場の推進をのぞみます。	男性	70代以上
3	年代に応じた生涯学習があると思う。子ども、働き盛り、高齢者が気軽に相談できる場所、人材があればと思う。	女性	70代以上
4	現代社会は生涯学習の場は沢山広められ、幸せな社会だと思いますが、しかし個人差があって、関心のある人、あきらめて自分を「キメツケ」てだめな自分とあきらめている人、進んで色々な社会活動へと行動を広め、老いても自分事は自分で出来る人生になるよう、更なる活動支援を望みます。	女性	70代以上
5	昨春大阪より転居しまして、大阪ではコーラスをしていましたので、転居先でもと希望を持っていましたが、近くには、そのような場が無く、又、コロナで他地域では中止されているようです。年齢的にも高齢で以前のように、身軽に出掛けにくくなりました。読書が好きなので、手持の本を再読したり各美術展で求めた出展作品の本を見て楽しんでいます。	女性	70代以上
6	講座の種類が増えるとうれしいが今でも練習部屋がとりにくいのが難です。	女性	70代以上
7	私ごとですが昭和 57 年より令和元年 11 月まで短歌結社で短歌を詠み、編集委員として本(季刊誌)を発行し、また大津短歌連盟へも参加して学んで来ましたが、結社は高齢化で閉会。若い人の入会はいずれの結社もまったくありません。今の若い人は結社とか連盟とかわずらわしいことには参加せず、フリーでインターネットなどで一部の人がする程度とお聞きする。学校では俳句や短歌は指導してないのでしょうか。日本の伝統文化である短歌や俳句などが衰えていくのは悲しいことです(愛媛県など正岡子規の影響もあります。俳句は小・中・高校で盛んなようです)私は高校の国語の先生がユニークな先生で短歌の素地を作ってくれ、それが大津へ来て活躍の場を得たように思います。教育とは眠っている才能を目ざめさすきっかけ作りをすることでそれが大人や先生の役目のような気が致します。植物や動物の好きな先生山登りやスポーツの好きな先生そんな先生や大人に小さい時出会えたらキラキラした子供達の目の輝き、ユニークな子供達が育つと確信致します。山登りは南郷学区で支所が募集した岩間山へたまたま参加した事がきっかけで(初めてのアウトドア)帰りには同好会を結成(南郷で)15年余り滋賀を中心とした山々を登って来ましたが、これも高齢化で閉会。今は時にその友達と低山に登るのみで庭で山野草を育てています。考えて見ると短歌も山登りも人生を豊かなものへと築いてくれました。生涯学習の学びの場所づくりも大切ではないでしょうか。	女性	70代以上

※できる限り原文のまま記載していますが、個人情報や固有名詞等は削除しています。また、一部、誤字等を修正した部分があります。

No.	意見	性別	年代
8	※龍谷大や立命館大の教室で、その道のプロのお話を聞きたい。たとえば私は元、旅行会社の社員で有り、鉄道マニア（今風に言えば撮り鉄）でもあるのですが、元外務省の海外公館経験者の方やプロのカメラマンの方、青年海外協力隊経験者の方などの話をお聞きしたい。（私自身も29歳の時、3ヵ月で世界一周して来たのでその時の話だったら1時間位話せますが…（笑）まあ、旅行会社時代も添乗等で世界中・日本中行かせて頂きましたが…	男性	60代
9	有名な人の講義を聞きたい。	男性	60代
10	・生涯を通じて、人間が生きる上で、豊かな人生を歩むための日常生活や知恵を授けてほしい。そのための講習会などを催してほしい。	男性	60代
11	早朝、夜間などに利用できなければ暇な人間にのみ利があるだけの生涯学習からは抜け出せないと思う。公共に出来ることは限られているということ。	女性	60代
12	若いころは地域の活動にも積極的に参加していました。年齢があがるにつれて、人とかかわりの部分は減り、より限定的になっていったと思います。自らの年齢で、学問をしても、あの世にまでもっていけるわけでもないと考えた時期もありましたが、コロナの世の中になり、いろいろな活動が中止になったことで、自分自身のためにも学びたいという気持ちはかえって強くなりました。もともと学ぶにあたっては京都まで出かけていました。コンテンツが豊富で交通の便もいいからです、大津が挽回するにはアイデア（魅力的な）も必要かなと考えます。	女性	60代
13	もっといろいろな講座を開設してほしい。	女性	60代
14	様々な分野の専門家を呼んで、講演、講習会などを開いてほしい。健康増進のためのスポーツ等の教室を増やしてほしい。	女性	60代
15	「生涯学習」というものが定年退職後の楽しみとなるように、選択の幅を増やしていくことが必要だと思います。たとえば、釣りに関するものとか、登山に関するものなど具体的にどのような活動ができるのかを映像などを使って情報提供していくことが重要だと思います。また子どもに重点を置くのか、高齢者に重点を置くのかについて明確にすべきだと思います。	男性	50代
16	もっと学習項目を増やし、様々な学習機会を増やしてほしい。	男性	50代
17	市が提供する「生涯学習」は高齢者向けというイメージが強い。定年後の元気で長生きの世代にこれからも健康に生きていただくために今の現状は仕方ないと思います。しかしそれを支えるのは現役の労働者世代と若者達であり、特に若者世代が生活を維持するためだけに人生をすごしている状況では未来が危ういと感じます。子育て世代や子ども・若者世代の生涯学習（生涯に生きる学習）にも予算をつかっていただけるとよいと思います。若い世代が何を欲しているかは若い世代に聞くのが1番良い。古びた世代には想像もつかない新しい楽しいアイデアをたくさんもっています。若い世代にチャンスをもっと与えてあげてください。	女性	50代
18	土・日曜日、夜の部などにも行ける生涯学習をお願いしたい。仕事をしていると平日昼間にはいけません。	女性	50代
19	大津市の北部に住んでいる者として参加できる機会が増えることを願います。	女性	50代
20	障がい者なので、障がいのある人でも参加できればありがたい 同じ悩みを持つ人とお会いし、話す機会がほしい	女性	50代
21	語学（英語や韓国語など）を学べる機会を増やしてほしい（定期的にいろいろな地域で）	男性	40代
22	・手話や傾聴の講座に参加したい。・寺子屋（夏休み）をやって欲しい。（平野学区ではあったが晴嵐にはあるのか知らない）・図書館のトイレを新しくして欲しい・以前は図書館に高齢者が多かったが最近ではスーパーのフードコートに多い。地域でつどえる居心地の良いスペースを提供すべき。・イゴ、将棋をやりたい（以前は明日都でやっていた）他の場所でもできるようにして欲しい。	女性	40代

No.	意見	性別	年代
23	学んでみたい分野のものが、ない事が多いので、どういう学習がしたいかなど定期的にアンケートをとったりしてもらえると、もっと希望の講座に参加したい人が増えるのかなあとと思います。近くに住んでいる方で講師になってくれそうな人を積極的に探すのも（ご老人や仕事をリタイヤした人など）、良いのではと思います。公民館で張り紙をして募るなど…。もうされている事かもしれませんが…	女性	40代
24	コロナで人が集まったり移動が制限される中、ユーチューブでの学びが有効だと思う。大学生の息子はユーチューブで趣味の楽器演奏を学んでいます。	女性	40代
25	基礎医学や感染症についてはもっと一般の人にも学んでほしい→学ぶことで老後への心配も軽くなるし、感染症拡大抑制につながる。金融・税・法律について子供でもわかるような講座が必要だと思う→日本での学校教育に含まれていないためマネーリテラシーの低い人が多い→格差が広がりやすくなる →子供の職業選択の一助となる	女性	40代
26	（生涯）学習をしようとした時に、まずインターネットで探したり本屋や図書館に行ったりして、市の施設で何が行われているかを見に行こうとは思いませんでした。フルタイムで働いているので施設が閉まっているということも大きな理由の1つだと思います。もっと安く、いろんな時間に自分の興味のあることを学べる場所があるのであれば（市の施設や取り組み等）ぜひ利用したいと思います。自治会に入っていないので広報を目にすることもほとんどありません。広報がよく行くスーパー等で手に取れたら便利だなと思います。	女性	40代
27	大津市の広報などで見るプログラムは平日の昼間ばかりで仕事をしている人、子育てをしている人はそもそも対象にしていなと感じます。	女性	40代
28	1歳の子供がいます。子どもと一緒に学べることがあるといいなと思います。また平日に仕事をしているので休日に参加できること（子連れで）があると興味を持てると思います。	女性	30代
29	昔少々かじった程度のバレーボールが近頃もう一度したいと思っている。バレーサークルやママさんバレーのチームを探したが通える範囲であまり初心者向けのはなさそうで残念だ。たとえば小学校等の体育館で体験会みたいなのをするとかあればいいのと思った。あるいはせつかくVリーグのチームが県内にあるので、県立体育館で幅広い年代の人が参加・体験できる、選手のプレーを直でみたり教えてもらえたりできるイベントをしてほしい。すでにやっているのならもっと広報に力をいれてほしい。	女性	30代
30	生涯学習について考えたことがないので、いい機会をいただきました。私は30代で学校生活はだいぶ昔に終わってますが、年齢関係なく学ぶということ、生涯学習があるんだなと思いました。運動不足を解消したいと思っています。私個人的なことですが、平日の夜や土日など運動サークルを増やしてもらえると嬉しいです。	女性	30代
31	市の生涯学習などは平日の昼間にあることが多く、会社員は参加しにくいと思う。平日の夜や、土日にあれば参加してみたい。	女性	20代
32	もう少し若者向けのコンテンツを充実させる必要があるのではないかと思います（内容・手段等々）。	女性	20代
33	ネットリテラシーの強化	男性	10代
34	健康を保つ為の体操など支所で行なってほしい、最低週一回。	不明	不明

2 情報の提供 (17 件)			
No.	意見	性別	年代
1	高齢者とかかわる仕事をしているが、知識がないことで、損をしている寿命をちぢめている人が多い。市として難しいかもしれないが、広告できる力があるにもかかわらず（おおつ広報）、成果はあがっていないようにおもわれるので HP の SEO 対策や注目を集める技術をプロに委託するのも一つの手段ではないかと思われる。	男性	70 代以上
2	大津市の生涯学習への取り組みがこれほど熱心なことに驚くとともにとても感謝しています。というのは独居老人にとっては大津市のこういう取り組みや努力を知る機会がほとんどなかったということです。大津市に転居してきてまもなく三年になりますが、大津市の広報がどこに行けばみれるのか最近までわかりませんでした。道路端の掲示板にも貼られていません。最近になって市の広報が市役所の出張所に行けばいただけることを知りました。今後、市が行う生涯学習がどれほどあるのか、また大津市や滋賀県にある NPO 法人の詳細などもできるだけ多くの人たちに伝わるような方法をぜひお考えいただければ幸いです。	男性	70 代以上
3	スマホ等などや SNS など今は情報を受け取ろうとすれば、受け取れる時代になっていると思う。私は、学びたい気持ちや意欲のある人にテレビ等や公的機関などのありきたりの情報だけでは真の学びとはならないように思う。いろいろな情報の場を、提供するために公があると思うので、提供に最大限の努力をお願いし、学びによって自分で考え判断して行動できる人の一助になるよう正確で正しいエビデンスある情報のための学習の場を提供して欲しい。くだらないテレビや新聞のお知らせでは無理だと思うので よろしくをお願いします。	男性	70 代以上
4	情報提供と、関心の在る問題で気楽に参加できる場所、環境を望みます。この様な、問いかけは、市政に参加できて、今後も続けて下さい。	男性	70 代以上
5	自分がやる気にならないと身には付かないので目的を作る、その為には学習した事が活動できる様な機会があればいい。 情報がある事が大事だと思う。興味のある人が問い合わせができる様にすること。	男性	60 代
6	リタイアした人が地域で学ぶ、生かせる（経験）情報を公民館に行けば入手できるシステムが欲しい。人材を活用できる取り組みが必要。	男性	60 代
7	私の住んでいる膳所学区はとても歴史の深い所です。膳所の歴史について気軽に学んだり、体験したりできる機会を作ってほしいと思います。 人生 100 年時代、いろいろな事を学びたい人はいっぱいおられると思います。情報をどんどん発信して頂きたいです。	女性	60 代
8	行政からの情報がない。	男性	50 代
9	人は興味のあることには自分で情報を集めるものだと思います。私は会社があるので学習会的なものには参加できませんが、テレビや新聞やインターネットなどで情報を集めて実行しています。たとえば会社の健康診断で中性脂肪や LDL コレステロールがひっかかったりしたことがあります。テレビの健康番組やインターネットで早歩きや H I I T トレーニングが有効であることを知り問題無くなりました。他にも音楽や哲学や宗教や歌舞伎や落語など自分で自然に近づいていくものだと思います。しかし子供やお年寄りなどには他者がアドバイスしていくことが効果的だと思います。	男性	50 代

No.	意見	性別	年代
10	大津市に住んで生涯学習施設を車で通った時に見ましたが、だれが何のために利用できる施設なのかわからなかったです。大津市のチラシなどが家に届きますが、施設やイベントなど情報はあるものの基本的な事(だれが、どんな事で利用できるのか)が記載されていないので意味がないと思いました。出産の際にコロナ禍ということで育児教室など両親そろっての参加ができませんでした。(赤ちゃんの入浴、育児などの説明会)時期がずれて今、中止していた教室が再開されたのであれば参加できていないご家庭に案内を出すべきだと思います。コロナ禍で色々参加できずわからないまま育児スタートしています。その人たちへの対応は必要でないでしょうか? イベント自体に参加できなかったのが子育てやコミュニティの相談場所などそもそもの知識がありません。完全に置き去りの状態です。このズレはどんどん広がっていくと思います。コロナ禍で出産を経験された大津市のご家庭にいま一度相談場所やコミュニティの案内などどこに何があるかチラシなど配布していただきたいです。(大津市のHPはいつもわかりにくいです) よろしく願いいたします。	女性	50代
11	自治会を抜けたので、広報も読まなくなったので情報が少ない。自治会を抜ける人も多いため、抜けた家庭にも広報が配られたら良いと思う。若い年代の人は最初から自治会に入らないし、支所にわざわざ広報ももらいに行かない 自治会の役が回ってくる事もいやな人も多い	女性	50代
12	大津市が広すぎて何をどこでやっているのか良くわからない。また平日昼間の活動が多く、会社員ではなかなか参加が難しい。	女性	50代
13	日々仕事と育児に追われ、生涯学習に関して情報が入ってこない。学校からのプリント類に入れて頂ければ目にする機会も増えると思う。親子で参加できるものであれば積極的に使っていきたい。	女性	40代
14	今は、子育て等で自分の時間を取れず、自分自身の学習のことを考えていなかった。子が育ち、自分に時間ができたらいろいろと活動してみたい。その時に、情報が得られ、選択肢が多いと嬉しい。	女性	40代
15	学習することは、時間と、体力を消費する。一日の時間は限られているため、学校や職場での無駄な時間、体力の浪費を無くしないと、学習まで手が回らない。さらに、時間と体力に余裕があっても、モチベーションがなければ、学習するようにはならない。モチベーションを上げるための情報発信が必要であると思う。	男性	30代
16	まずは情報を発信してもらうことが第一歩なのかな?と考えます。興味があれば、自発的に調べると思いますので。	男性	30代
17	中学校の部活動にトレーナーとして指導したいと思っているのですが、受け入れてもらいやすい制度をつくってほしい。もっと色々な方法で情報発信は行っていったほうが良いと思います。SNSでヒットしやすいハッシュタグをつけて広めてほしい!!	不明	20代

3 つながりづくり (9件)			
No.	意見	性別	年代
1	一昨年完成のマンションに、昨年引越してきた為地域の交流がありません。公民館での長寿ふれあいサロンも現在、行われていません。早く再開してほしいです。地域交流の場がほしいです	女性	70代以上
2	高齢になり運転免許を返納したため、バスの回数がなく、里まで歩いて行っていますがだんだん学区外へ行くことが困難になり困っています。幸いに自宅で裏千家の茶を教えていますので最低週1回は若い人達が来られるのでそれが生きがいです。これがなかったら心身共に弱っていくと思います。老人になって思えることは、人間はする事があり意欲を持たなくなったらだめだと思います。若さも保たれません。	女性	70代以上

No.	意見	性別	年代
3	仕事をリタイヤしたものと子離れたものの生涯学習というのは大変重要だと思えます。学習する意欲とともに人とのコミュニケーションをとれる場として最適だと思えます。人間関係が希薄になっている現在、つい孤独になりがちな後期をこのような活動で生きがいを感じながら、認知機能の衰えを少しでもセーブできると思えます。できるだけ介護に頼らなくてすむ様、皆がもっと積極的に外へ出るべきだと思えます。併せて公共の制度として、この様な場をもっと推進していただきたいです。	女性	70代以上
4	各方面から活発な情報発信がなされていると思う。しかしながら参加したいイベントに応募してもたびたび断られている。関係者で定員に達するイベントなのか…とも受け取れる対応に絶句した。子供たち子育て世代には各種様々な開催を望む。ただ一部の地域・学区には、昔ながらの『町内』意識が残っており交流を妨げているようにも思う。高齢化の現実の中、地域一帯で伝統行事など取り扱う重要性和住民の意識改革が必要と感じる。	女性	70代以上
5	公民館活動・自治会活動 etc、元気にされてる方々はいつも殆んど変わらない顔ぶれです。性格的に引込思案で参加されないような方々を、なんとか地域に包み込んでその方々の特性・知識・経験などを生かせる場所作りがとても大切だと思えます。	女性	70代以上
6	私達の子育て時代と今の生活や環境は変化がありますが、基本となる家庭教育は、変化していない、変化しない事が多いと思っています。しかし、子供を育てる親が孤立したり、親が家庭教育が充分でない中、親になってしまい、子育てがうまくできない方などもあると思います。そのような方には、幼稚園～高校までの教師が担う事もあるかと思いますが、学校だけでなく、地域や、専門職など、上手く、連携が図れ、地域・社会で支えられたらと感じます。それは、高齢者問題も同様だと思えます。そんな地域の力を高められる学習が根づくとういと感じます。	女性	60代
7	地域でのボランティア活動や自治体に関わり、学習することが増えたが、その様な活動に参加・協力する人が大きく減少している。ホームページで市民全体に情報が行き渡る様にするのも重要ですが、自治体に加入している方だけが知り得る情報発信の方法により、加入者が増えるのではないかと思います。近隣の人同士、関わり合うことで何か起きた時助け合えると思います。「学習」とかたくるしく考えずとも普段から人と接することで、心が豊かになり、人として成長できると思えます。	女性	50代
8	世代間の交流ができるとうありがたいです。子どもたちの祖父母も仕事が忙しく、日本行事を楽しむ機会がほとんどなく親なりの日本行事になってしまっています。高齢の皆様を知恵を子どもたちが知る機会があれば、とても尊敬や興味を感じられると思えます。高齢化社会を支える世代との交流の場をぜひ作って頂きたいです。(子どもたちは、もう中学生になりました…。)	女性	40代
9	住んでいる地域ではないですが、やはりどこの地域でも交流(ご年配の方など)は大切だと思えます。しかしご年配の方からの私たちはやってやっているんだとおもわれる一部のご意見をうかがったりすると残念に思うし、参加するにも一歩踏み出せない理由につながっていると思えます。それが少しでもなくなれば個人にも子供たちにも地域の方それぞれが楽しくコミュニケーションがとれたり交流によって大津市というところがもっと知ることとなると思えます。それが心身の生涯学習につながると思えます。どうかこのアンケートが上下年齢関係することない考えで柔和な生涯学習についての考えにつながりますように。	女性	40代

4 学習成果の活用 (3件)			
No.	意見	性別	年代
1	人間死ぬまで勉強。活動の成果が社会的に評価されることが大事だと思います。	男性	70代以上
2	生涯学習センターの認知度や使用頻度が低いように思う。せっかくの施設なのでもっと活用してほしい。これからの高齢社会で活かせる力が余ってきているように思う。またボランティアを気軽にできるような環境を整えば生涯学習や地域社会の交流もすすみ、住みやすい社会・風通しのよい社会になると思う。	男性	70代以上
3	知識や経験の豊富な、高齢者を活用し、お互いが教え、学べる環境を作っていくのが大事と思う。プロの講演者を依頼するのではなく、テストケースでもいいので経験豊かな高齢者を講師にするなどの方法も面白いのではと思う。	男性	60代

5 家庭教育 (1件)			
No.	意見	性別	年代
1	生涯学習の原点は家庭教育だと思っているので、自分の知識や経験だけでなく、多くの方とかかわり、学んでいくことは自分にとっても家族にとっても大切なことだと自分の子育てを通して実感しています。今問題になっている子供の引きこもり、ニート(50, 80)きっかけは幼少期からの子育てのずれに問題があると私は考えています。各家庭のやり方やしつけがあるとは思いますが、子供たちは皆無限の可能性と能力を持っています。(障害の有無にかかわらず)早い段階での身近な人(母親)の気づきやかかわり方が大きく響いてくるので、勉強ができるできないより基本的な生活習慣を目指して、自分も家族も他人もともにイキイキと暮らせる活動や学習会を具体的に提案していきたいです。	女性	40代

6 社会教育施設 (12件)			
No.	意見	性別	年代
1	前市政のもとで社会教育施設である公民館が廃止(大津公民館を除く)され、順次、地域のまちづくり協議会が運営するコミュニティセンターへ移行してきている。講座開設費も1公民館3万円と大きく減らされ、生涯学習専門員の必要もなくなってきた。これでは、もはや社会教育施設とは言えない。社会教育法に位置づけられた公民館として、人員や予算、制度も少なくとも前の状況に戻すべきである。	男性	70代以上
2	中老人センターに行っています。	女性	70代以上
3	公民館やコミュニティセンターへは用事がなければいけないので、そこで掲示されているだけでは情報が入らない。何か始めてみたい気持ちはあるので、気軽にできるようなものがあると嬉しい。図書館は浜大津が最寄りだが、車で行くのが一番利便性がよい。駐車場90分は短すぎる。まったくゆっくり選べないので行かない。コミュニティセンターに貸出コーナーがあったら子供でも利用しやすいと思う。子供が昆虫が好きなので栗東市の自然観察の森へ行ったら喜んでいて。このような施設があると嬉しい。	男性	60代
4	・支所でコピーが出来るようにしてほしい。もちろん有料で。支所ではコピーサービスは不可。・職員の態度が尊大で横柄だった。もう少し、市職員の教育をきちんとして、市民の学習意欲をそがないようにしてほしい。	女性	60代

No.	意見	性別	年代
5	大津市は公民館活動に理解があり、色々な活動が出来ていると思います。気軽に住民が集えているのはとても良い事だと思います。これからも続けていって欲しいと思います。	女性	60代
6	私は趣味が歴史で地元栃木から来て20年目になります。大津市は古代から歴史が深く大変興味を持っています。広報全体を通して発信力が弱いと思います。博物館以外にも資料館等整備してほしいです。	男性	50代
7	サークル活動で複数の公民館を利用させて頂いています。公民館によって、利用者団体のとりくみ方が大きく違ったり、年会費もかなり差があります。(1サークル年間1,000円の所があれば、サークルの人数×500円というところもあります。) 楽しい活動を仲間と一緒にできるだけ長く元気に続けていくためにも公民館の役割はとて大きく、負担が少なく気持ちよく使用させて頂けるとありがたく思います。現在大津市が各サークルに課している、年間3つの条件クリアはもう少し緩和して頂けないでしょうか…。なかなか難しいです。これからも利用者に優しい、誰もが集える公民館であってほしいと願います。アンケートの質問多すぎです。	女性	50代
8	和邇学区居住で、大津中心部の様に施設や講座もなく何かをはじめるのにも地域性が強く、参加するのも考えてしまう。もっと施設(古すぎます、建物が公民館など)、講座を充実して欲しいです。大津には、プール施設も充実しているのに、こちらには全くなく、何をするにしても、大津中心部へ行かなければなりません。こちらに住んで数十年経ちますが、何の変化もなく、湖西で交通の便も悪いので、西部でも充実した施設をお願いしたいです。	女性	50代
9	スポーツ環境については住宅密集地域とそうでない地域で大きな違いがあるグランドのあるなしが大きく影響するため不平等。施設予約も現地事務所へ行けと言われても現職中では対応できないし、大津市外の団体が利用している施設もあるので行政としての考え方がわからない。住民税を多く払っている分何らかのメリットがないと不平等、他人の満足のために税金を払っているわけではないので、施設予約等は優先権を得てもいいと思う	男性	40代
10	学習内容の提供よりも、公民館など「場所」の提供に重点をおいていただきたい。	女性	40代
11	「やってみたい！」と思った時に、そもそも普段から行かない公民館に行くわけもなく、予約しようと思っても、昼間の働いている時間しか連絡がつかず、ひまな人のみの利用になっている施設が多数あるように思います。簡単にネットだけで予約でき、誰でも利用しやすくする事で、利用頻度は上がると思います。また、施設を使って先生になりたい人材を使って、学習する場を設けたり、人が集まりやすい環境を整備する事で、地域交流は自然とされていくように思います。	女性	40代
12	県立図書館や、琵琶湖博物館をよく利用していました。駐車場や広場スペースなど、科学館も、県立図書館の様にゆったりしていただければいいのと思う。安価なら、有料でもいいので、充実した施設にして欲しい。特に、駐車場が少ない。	女性	40代

7 図書館 (16 件)			
No.	意見	性別	年代
1	瀬田北学区の近くには市立図書館がないので開設してほしい。ちなみに県立図書館はバス利用で遠くて不便。JR 南草津駅前には草津市立図書館があり、ここは駅近で便利で快適である。大津市も JR 駅近の瀬田学区内に開設してほしいと思う。或いは各地の公民館に併設することも考えてほしい。	男性	70代以上
2	図書館の2輪車置き場を屋根をつけてもらいたい。あと自販機をふやしていただきたい。椅子も増やしてもらえればうれしいです。	男性	70代以上
3	以前から唐崎支所で小学生の夏のイベントに参加したく、申し込みをしようと思いましたが、申し込み受付日当日朝9時～受付だったと思うのですが、申し込み開始と同時に連絡をしたにもかかわらず、もう定員になっており、申し込みできなかったことがあります、大変不満に思ったことがあります。受付時間、開始時間に間違いありませんでした。まったく意味がわからず、同じように申し込みできなかった友達と納得いかない不満を漏らしたことがあります。あと唐崎は図書館が遠いのでさざなみ号の巡回を利用するのですが、小学生達の利用できる時間にいません。意味ないと思います。また、毎度行けるわけないので、返却ポストを唐崎支所に設置し、もう少し気軽に返却できれば気軽に利用できるかと思えます。さざなみ号の時間を変更し、小学生が利用できるようにしてください。	女性	70代以上
4	私の学区にも移動図書館が来てほしいと思います。(ホームページで確認したところ来ていないようなので) 高齢になると車の運転が厳しくなり、歩ける距離ではありません。	女性	60代
5	大津市立図書館は「マンガを購入しない」という方針を決められているようですが、その根拠がよく分かりません。内容を吟味すれば役立つものは多くあるし、生涯学習の役に立つものもあります。特に歴史的なものは、重要だと思います。	女性	50代
6	浜大津の図書館は車で行くと思えば不便だと思いましたが、今回のアンケートで南部にもあることがわかりました。ぜひ利用させていただきたいと思います。	女性	50代
7	瀬田周辺に図書館が必要。	男性	40代
8	本が好きで、図書館をよく利用していますが、予約の順番がなかなか回ってこない、駐車場の便が悪い(となりのタイムパーキングを利用することが多くなっている)などと不便と感じています。明日都の中など、もっと利用しやすい場所に移転したり、予約図書を受け取りを市民センターでできるなど利便性を高めて欲しいと思います。また、有料でかまわないので、中高生が利用できる自習スペースがあると良いと思います。よろしくお願い致します。	女性	40代
9	新しい本もどんどん入れてほしい。CDやDVDも充実してほしいです。	女性	40代
10	学校に行きづらい小・中・高生が、学習する機会を得やすいようにセーフティーネットとしての役割も積極的に担ってほしい。学校の勉強を自習してもいいし、本の著者の世界観に出逢って希望や目標を描けるようになってもいい。図書館の雰囲気に関心を持って自分の居場所を感じられるだけでも充分いい。大人や高齢者のため以上に、幼稚園までの小さい子ども以上に価値観を再構築してゆく、精神的に非常に危機的状況に陥る思春期の子どもたちを大いに歓迎してそっと見守ってほしい。お願いします!!	女性	40代
11	大津市立図書館を利用しています。幼い子供2人と重い本を持って明日都の駐車場まで歩くのがとても大変だし危ないです。もっと近くに駐車場をつくってもらえたら毎週でもかよいたいです。	女性	30代

No.	意見	性別	年代
12	南郷学区に住んでいてよく図書館を利用させてもらっています。予約をすると違う図書館から持ってきてもらえたりするのでとても嬉しいですし、子供3人ともよく一緒に行っています。本もまあまああるので良いのですが、不満があるとすれば建物の老朽化です。市民センターの方も2階の方も図書館も薄暗くて年季が入っているのもっと明るく清潔感のある建物になるとみんなが入りやすく利用しやすい場所になるのではないかなと思います。みんなが集まれる場所になるといいかなと思います。	女性	30代
13	私自身、20代ということもあり、生涯学習に関する知識が少なく、学習頻度も少ないです。そういった私たち若者が参加する意思を持つことは大切だと思います。しかしながら、そういった状況に至っていないのが現状ではないかと考えます。まずは若者が参加するきっかけを作ることが大事で、そのためには情報が入ってくる環境づくりが必要です。私はまず生涯学習と聞いて図書館が思い浮かびました。実際私の家から滋賀県立大津市立ともに少し遠いかなという印象があり、駅前にあれば利用しやすいのにと感じています。隣の草津市の南草津駅前に図書館があり、ほかにも公共施設、スポーツジムも入居していて街づくりの拠点となっています。このような施設を大津市内の JR の沿線で建設されれば前述したことが、可能になってくるのではないかと考えています。現実的ではないかと思いますが、1若者の意見として受け取っていただけると幸いです。	男性	20代
14	図書館が古いです。勉強スペースも少ないですし、勉強スペースをかくほして下さると学生の利用も増えると思います。	女性	20代
15	図書館等の施設をもっと充実させてほしいです。最新の本などもよめるようになるともっと行きたくなると思います。また、そういった施設が通えるような場所にあるとありがたいです。	女性	20代
16	私は本が好きなのでふらっと寄れる図書館があればもっとたくさんの情報が得られると思います。情報を得て自分の興味の持ったことに対して学習が進められる環境づくりが大切だと思います。	女性	10代

8 子ども読書（1件）			
No.	意見	性別	年代
1	子供達には幼児のうちからじぶんで読書の習慣をつけるようにしてほしいです。小学生では遅いと思います。（好き嫌いがでていたので）	女性	50代

9 アンケートについて（10件）			
No.	意見	性別	年代
1	大津地域だけでなく、滋賀県内・外の情報を収集・精査する努力・汗を自身で流し、DX時代に合った現実をよく見てこの様なアンケートを作成すべきであり、教育委員会の質が問われるような陳腐なものでない事を祈ります。「生涯学習」を運営される方にはもっと自己啓発が必要ではないかと思えるような「アンケート」でした。「作成させられている、やらされている」感があるようなアンケートでした。教員免許更新制廃止：あまりにも能力以上の仕事が多く多くの教員が子供達まで目がいきとどいていない、「NHK・ひきこもり先生」の様な校長派の教師が多いと思う。	男性	70代以上
2	アンケート集計の結果はどのように公表されるのでしょうか？	男性	70代以上
3	質問が多い。質問に対して答えにくい。何を知りたいのかアンケートのつくりを再考された方がよい。	女性	60代

No.	意見	性別	年代
4	現在草津市立の小学校にてPTA ボランティアグループで図書室の運用取り組みを行っています。朝各教室での読み聞かせ、本の紹介、手書きのポスターによる本の紹介、クイズ形式による本探しなど子供達に興味を持って本を読んでもらえる工夫（アイデア）を多数していますので是非紹介したいです。教育委員会新聞（広報？）でも紹介されました。	女性	50代
5	特になし。市税で今回のアンケート調査をされていると思いますが、県内の企業に委託できないのでしょうか？	男性	40代
6	予算を使って、このようなアンケートを実施する意味がわかりません。しかも、外注ですよ。税金のムダ使い!!いい加減にして下さい。	男性	40代
7	もう少しアンケートの質問事項を減らして、経費減らしたらどうですか？その分余ったお金で本が充実させられると思いますよ。	女性	40代
8	そもそも結論ありきの質問ばかりで嫌になります。また、なぜ大津の企業が実施してないのでしょうか？ 利権ですか？ こういう無駄（地域のお金を回す）から、やめてはいかがでしょうか？	不明	40代
9	・どういう基準でアンケートの回答する人を選んでいるのか不思議で仕方ないです。書いとくべきではないでしょうか？ ・アンケートを回答してもいつもそれほど進歩していない もう少しきっちり活用してほしい。	女性	20代
10	全国に教育委員会というものが存在していますが教育委員会は文部省の出先機関ではなく文部省並びに政治の政策を監視するための機関として存在すべきであると思う。戦前戦中に戦争思想国民一人一人を押しつけた日本国（特に東条の時代）が教育思想の大課題をどうにも出来なかったどうしてブレーキをかけることが出来なかったか？過去の良い例（私達が経験したこと）が教育全般に於いて反省し、今後に生かしていかなければなりません。アンケートのようなこまかい事柄については今さら必要ないと思います。今日の情報社会では各個が情報を通じて知識を得て、理解していると思います。戦前のような学歴の低い時代ではないのだからそれなりに教育は持っていると思います。従ってこのアンケートはあまり意味がないと思います。	不明	不明

10 施策について（13件）			
No.	意見	性別	年代
1	公民館へ行く足（送迎バス・タクシー等）	男性	70代以上
2	少ない年金生活の為、心のゆとりがありません。日々の生活に追われてギスギスしています。高齢者にも収入になる仕事がしたい。シルバー人材センターに加入していたが仕事がないのに会費がいるから辞めた。委託してまで税金を使うのはやめよう！市の職員がすれば市民センターは暇そう	女性	70代以上
3	大津というのは北部・中部・南部とあります。生涯学習をするにしても中部だけ色々充実しているではこまります。北部や南部にもできるように何事も3か所すべてが参加できるまたはしやすいように心配をお願いしたいです。	女性	70代以上
4	「生涯学習」で体得したスキルを使える仕事を創り出してほしい。（例えばデザイン画・イラスト画を市広報に載せる仕事。など）	女性	50代
5	生涯学習は、必要なことは認めるが、行政がコストをかけてまでやるべきことか、手法など考えて欲しい。	男性	40代
6	ビジネスでは採算がとれないような人権問題、公害問題、いじめ問題の対策などを地道に続けていくのが市の責務であり、民間のエンターテインメント的な学習を市がとり入れる必要はないと思う。生涯学習も大事だけれども、防災や新型コロナ対策に多くの公的資源を注入してもらいたい。	男性	40代

No.	意見	性別	年代
7	<p>・人生100年時代と言われているが、健康寿命がそうならなければ意味がない。健康を維持できる環境をととのえ市民生活の中に浸透できるくらいの取組みが必要。・行政からの発信ツールを見直すべき時なのでは?→単純にIT化するだけでなく、人々の生活ルーティンの中に入り込む事が大事。生活の中から行政の情報が自然と入ってくる(例えば、スーパーに買物に行った際など)地域、自治体、PTAなど、昭和からある組織がくずれてきている中で、生活の変化に対応した行政サービスが必要なのではないかと地元企業を上手に活用すれば良い。銀行に行かない人はそういないし、スーパーに買物に行かない人もいない。滋賀県、大津市はコンテンツは充実しているのに活かさきれていないと思う。・そもそも生涯学習の定義は何なのか?生涯学習の目的は、その目的を達成する為に市はどのような取組みをしているのか?それを市民は知っているのか。私は全く知らない。・市が提供してくれたら嬉しいコンテンツ①スポーツ(水泳・テニス・チームスポーツなど様々なもの)②健康促進(フィットネス・食育支援←平和堂とかとコラボしては?)③老後資金相談(生涯教育という意味で、人が生きていく為にはコストがかかるので…滋賀銀とコラボしては?)④図書館をリラックスできるスペースに(カフェとかあればいいのに)⑤琵琶湖を活用したマリンスポーツ(カヌーとか乗れたらいいのに)生涯学習とは、人が生涯にわたり学び、学習の活動を続けて行く事だけど、学ぶ対象の範囲が広がればもっと人々は参加するのでは?アニメを学ぶ事も文学を学ぶ事も同列だと思うけどアンケートにあったように漫画雑誌を除いているようでは、何も変わらないし、広がらないかな。好きな事を知る為の努力は学習だとは思わないしコストをかけているが意識しない。ラジコンを速くする為に色々調べたり機械を購入したりなど。</p>	男性	40代
8	<p>生涯学習は各人の主体的な興味に基づくものだと思うので、ボランティアなどは不用と思います。やりたい人はやるし、やらない人はやらない。それでいいのでは。行政でできることはきっかけ作りと環境作りだけだと思います。必要以上にそこにリソースを割かなくてもよいと思います。</p>	男性	40代
9	<p>生涯学習という言葉になじみがなく、めんどくさいやがんばるイメージがある。地域おこしやより地域の魅力を引き出すためにもボランティアではなく仕事として成り立つ仕組みを作してほしい。</p>	男性	40代
10	<p>保育士として働いています。田んぼ、畑を通して、地域の方々と交流する機会が多く、子どもたち、保護者、職員ともども、大変充実した毎日を過ごしています。新しい場所を整え、作ることも大切ですし、既存の環境を活かし、学習する事も同じく大切だと実感しています。大津市、滋賀の一番とも言えるこの財産を是非活かしていける仕組みや、取り組みを期待します。</p>	男性	40代
11	<p>1.親の姿をみて子どもたちは育ちます 2.学習という形だけではなく、見せる・させる・感じ合うことの環境をつくること 3.子育てママは働きたいが働けない人が多すぎ 理由は高齢化などもあります。家で出来る役所仕事、時給ではなく分給で働いてもらうなどやり方はたくさんあるし、求めている人も多い⇒働ける→子どもを増やしたい意欲にもつながる 4.もっと県民として少し義務的に琵琶湖を大切にしていけることを広めてほしい。びわ湖放送をもっと活用して。何が役に立つか県民としてのほこりをもてるように。県外から来られる方にもしっかり意識づけを 5.県民のための県民政治が行われることによって、子育て・教育・高齢化・起業促進に必ずつながります 6.自治体の力でコロナ予防 知事には任せられない</p>	女性	30代
12	<p>皆様の日頃のご努力に感謝しております。もう十分にされているような気がします。ただ最近、民間の事業者に丸投げされているような気がしてなりません。なぜ税金は高くなり庶民の暮らしを圧迫するのか、それが最大の関心事であります。</p>	不明	不明

No.	意見	性別	年代
13	余り束縛感なく読書感想文などを書く人を増やし特別な事ではなく（まとめ）（自分の気持）等記録することによって第三者の感想を聞くことにより色々な気づきや向上心が人間性を豊かにしたり、自己反省から考え方の軌道修正にも役立つのではと思います。 テレビ等は受け身が多いので老いていく自分が自発的に自分のこと（信念）周囲の人に対する思いやりが生まれていけば己ごと視野も広がるのではなど自己反省と共に機会をつくって頂いたりすれば近江文化の一端として琵琶湖の日本一に負けない人間味溢れる老人や若人が欲しく思います。	不明	不明

11 その他（44件）			
No.	意見	性別	年代
1	生涯学習の大切さを確認するも、自ら実践していない私がコメントするのもおこがましいですが意見を述べます。生涯学習に大切なものは好奇心とコミュニケーションと有酸素運動と言われています。生涯、このことを実践すれば、老いで氣息奄々の状況を感じることなく、生き甲斐があると思います。人もそれぞれ、生き方もそれぞれです。カニは甲羅に以せて穴を掘るのも人生の選択の一つです。穴を掘るカニを大地に導くのも行政の仕事かと思えます。よりよい高齢者の生き甲斐をバックアップして欲しいと思えます。「カニは甲羅に以せて穴を掘る」「身の丈に合った生活」の言葉を払拭するために生涯学習は必要なり	男性	70代以上
2	私は高年齢で今では「生涯学習」に関して意欲は有りますが体力的に対応がむずかしくなってきました。交通や出掛けることそれ自体が生涯学習の一部となりました。	男性	70代以上
3	むずかしい。	男性	70代以上
4	生涯学習については、どんな小さな事であっても本人が学習する気持ちを持って学ぶ事だと考えています。	男性	70代以上
5	生涯学習をしたい思いはあるが、年齢、体力を考えると今まで経験したことを続ける（レベルアップ）ことだと思ひ、年齢により違いがあると思ひます。新しいことに挑戦も良いと思ひますが継続すること。	男性	70代以上
6	私は今年から（1月から）ピアノを先生から教えてもらっています。ピアノ演奏に関するいちからの基本基礎から教えてもらっています。音譜楽譜リズムの取り方・ピアノのケンバンに置く（両手指）手の置き方、演奏の仕方を教えてもらってできるだけできるように心がけています。先生が教えてくれた事を忘れないように個人的に一人で練習している日も有る。「ピアノ演奏が楽しい」とそう思えるようになるように練習し、楽曲に慣れ親しんでいくようにしたい。せつかく弾けるようになってきたのでやめる事はしない。年齢に関係なく演奏できるように勉強したいと思ひている。人様の前で堂々と演奏できたらいいなと思ひている。	男性	70代以上
7	みんなが外出しやすい環境を作り出すこと。特に高齢者の外出促進策を望む	男性	70代以上
8	以前は体育館での体操教室に通いましたがこのコロナ禍で参加はしていません。これが落ち着いたら参加したいと思ひます。（他の事業次第です）	男性	70代以上

No.	意見	性別	年代
9	今回の生涯学習に関する市民アンケート調査に協力し、改めて生涯学習の重要性を認識しました。幼い頃から親や身内から人間は一生勉強だよと聞かされました。生涯学習の原点の言葉だと思っていました。私は趣味として、懐メロの歌謡曲を30数年間歌ってきました。私の世代はテレビがなくラジオかレコードで歌を聞いて覚えてから練習して歌いました。私の若いころは、戦中から戦後と歌謡曲の全盛時代で、まさに歌は世につれ、世は歌につれの時代でした。私はいくつかの歌の会に入っていますが、自分の歌唱力を高めるだけでなく、仲間の歌も楽しく、聞きながら、後世の継続にも努めてまいります。コロナ禍でいくつかの歌の会が中止や休止に追い込まれています。残念ですが、よい機会がくるまでまつしかありません。これも学習の一つでしょうか？	男性	70代以上
10	子ども、小学生、社会人、老人、世界の人が、行きたくなる。いじめも聞いてもらえるところでありますようにいつまでも。	女性	70代以上
11	「生涯学習とは？」生涯学習そのものの意味と内容が何か良く解らない。結局問1の「1～10」すべてを指すということなのでしょうでしょうか？改めて考え直してみたいと思いました。	女性	70代以上
12	若い頃は唐橋焼陶芸教室 ビデオ教室 洋らんクラブ パソコンの基礎操作 組ひも作り 七宝焼 グランドゴルフ等色々手を出していましたが最後まで出来なくて残念に思っています。何か一つ位「生涯学習」をしたと思うところまで頑張ればよかったと後悔しています。	女性	70代以上
13	私は大昔高校の教員でしたが、44才からは自宅で英語塾を15年。三人の息子が成人又は大学生になってからは、海外旅行を年に3～4回、海外へは50才過ぎてから74回。もと地理の教員として実際に世界をみたかったのです。60代は主にバックパッカーとして一人旅を。以後はツアーに参加して2019年12月のバルカン半島のたびをもって海外旅行はやめました。以後はもともと幼児の頃より好きだった読書と65才からはじめたボウリングにはまり、今日にいたっていますが、「学習」という何かの組織・集団に属したことは主婦のころ地域のママさんコーラスに何年か参加していた以外一度もありません。つまり自分の楽しみは一人でみつけ、一人で楽しむタイプなのです。それに年齢も年齢ですし、今から団体に入って何かを学びたいという気持は全くないのでせつかくのアンケートの「図書館」以外の部分にはお答えできなくてすみません。ちなみに同年の主人の今の趣味は（元は柔道マン）日本画制作と山歩き。お互いの趣味には口を出しません。共通の趣味は海外旅行でしたがそれはもう断念。今は二人で週に1～2回早朝ボウリングを楽しんでいます。主人はもと大学教授でしたが、今は私も主人も「生涯学習」に関心がなくマイペースですすみません。	女性	70代以上
14	すみません。身体が不自由なためいけません。申し訳ございません。	女性	70代以上
15	子供がおりませんので子供に関することに関心有りません。一人住まいですので自分の健康だけに関心が有ります。	女性	70代以上
16	コロナ巣ごもり中でまとはずれの返信で申しわけありません。	女性	70代以上
17	何をなさっているのか、良く分かりません。	女性	70代以上
18	80歳に手が届きますが、仕事、ボランティアなど忙しく過ごしています。この良き時代に育った子供たちに幸あれと願っていますが、今どうして各自治会員が50%以下と言う現実のことが心配でなりません。そのことを話し合ってみたいです。	女性	70代以上
19	生涯、学習の一言に尽きるのではないのでしょうか。	女性	70代以上
20	100才時代といわれています。健康で一人一人が心豊かに生涯学習したいです。	女性	70代以上

No.	意見	性別	年代
21	唯一の楽しみは月に一度図書館へ行くことです。15冊借りたいのですが、重いので10冊くらいにしています。洋裁に興味がありますが、家から遠いのであきらめています。子供に関する活動を細々とやっています。もう少し活動内容を充実させるためにも自身の勉強が必要と思っているのですが。老いと立ち向かっている日々です。	女性	70代以上
22	「生涯学習」に興味、関心はありますが、時間に余裕がありません。生活する事で、精一杯なのです。残念ですが…。生活と、時間にゆとりの有る方が、されれば良いと思います。	女性	60代
23	県外から大津にきました。夏休みの宿題の少なさにびっくりしました、塾などいっている子は宿題+勉強ができるけどそうでない子はまったくわからず差ができると思う。草津市は小学生か中学生に漢検を取り組んでいると聞いた。うらやましかった。	女性	60代
24	私自身60才になり、前は、働かなくてよくなったら、興味のある事の知識を増やしてみたいと思っていましたが、まだまだ余裕のある生活ではないため、いつまで働くのか?という毎日です。日々の新聞さえも、読むヒマがないのに、学んでみたいという気持ちだけでは、続ける自信がありません。今や、生涯学習は、現実離れしている感があります。	女性	60代
25	「生涯学習」ってなに?と思ってアンケートを記しているうちにいろいろな事がわかってきました。これからはもう少しかわっていかうかなあ〜と思いました。まずは興味を持つことから始めたいと思います。このアンケートがまずは一歩めかな!!	女性	60代
26	生涯学習の場は主に公民館だと思いますが最近の支所窓口は対応が悪く質問しても顔をみずにパソコン入力しながらの返事であったり職員同士が私言（明らかに仕事に関係ない事）をしやべっているのがきこえてきます。学生が窓口で住民票を申請したら「コンビニの方が安いですよ」と…せっかく窓口に来ているのに受付前から…何のために支所がのこったのか今一度支所の大切さを職員で確認して頂き、接遇研修を窓口全員しっかりと受けて地域住民に丁寧に接してほしいです。生涯学習の場としても意識して下さい。	男性	50代
27	コロナのため密に注意しなければならないので現在は何とも言えません。	男性	50代
28	生涯学習を受ける人それぞれが自分が生きて来た過去やこれからの生き方について改めて見直せる意識を持てるようになる事が重要だと思う。	男性	50代
29	生涯学習はやりたいと思えばいつでもどこでもできるものだと思う。特別なものにしない方が、よいと思う。生きる中での経験すべてが学習と考える。	女性	50代
30	今は仕事で精一杯なので週末等に別のことをする時間はありませんが、退職したら公民館等の活動に参加したいと思っています ボランティアにも興味があります	女性	50代
31	体系だったものにしてもらえたら、学習計画をたてやすくなります。公の補助がありつつ、その成果が公に還元されるサイクルが確立できれば、螺旋的に方向性をもって発展していけるのではないのでしょうか?SDGs 的な認識を市民が共有して相互にパートナーシップを構築して、三方よしでビジネスとしても持続可能性を持った地域社会を実現することができれば大津市の魅力はさらに増し多くの人を外からひきつけることにもつながれると思います。	男性	40代
32	働いているときは学習センターによく出向きました。今はあまり顔を出す時がなくなりました。アンケート調査あまりはつきりできませんでした。ごめんなさい。	女性	40代
33	自分の意志が弱いため、習いたいことがあっても続かない。やりたいときにやりたいだけ出来たらよいのになって思います。無理ですよね。	女性	40代
34	生涯学習は興味があり重要と思いますが、日々の生活が忙しく、時間がとれないのが現状です。機会があれば積極的に利用したいと思います。	女性	40代

No.	意見	性別	年代
35	一部の人だけが恩恵を受けられる環境というのはよくないと思うので、自動車が必要の地域かもしれないが、皆が利用しやすく、利便性があることは大切だと思います。(市県民税を支払っているのだから)生涯学習をすることで年に関係なく充実した生活を送ることにつながると思うので、皆がそれぞれ自分の好きなことで見つけて取り組めるようになればいいと思います。学校と地域の協力は大切だが、学校の先生の負担が懸念されます。ただでさえボランティアのような時間外労働が多い。学校の仕事環境に配慮した取り組みであってほしい。	女性	40代
36	今日に至るまで、大津市職員が仕切っている「生涯学習」は全く魅力なく、時間と血税の無駄使い。この様なアンケート調査を実施しても反映される事なく、ただの血税を使った“市民向けのパフォーマンス”。大津市役所は内部が腐敗仕切っており、その中にある公務員が「生涯学習」に関して考察する事自体、能力不足で無理です。大津市は昔から大阪・京都のベッドタウンであり学識経験者(特に京都大学)、芸術家、大企業OB、OG等有能で社会経験が豊富な方達が多数居住されています。そのような民間の方達の力をお借りするのが最良です。プラスこの様な方達は県外はじめ他の市町村に招かれ活躍されています。この現状を知らないのは大津市在住者が少ない大津市職員だけです。(この私の意見は大津市へ納品される成果物に載せて下さい。)	女性	40代
37	僕が子どもの時に比べ、高齢者・障がい者が利用しやすい様整ってきている様に思う。回数は多くないが仕事でも、人権、生涯学習をテーマにした会議、イベントの開催に携わっているが、仕事の主としているわけではなく、造詣を深めたいと思う。図書館や美術館などへは滅多に行かないので今一つわからないが、子どもの時は図書館の人から本の読み聞かせや紙芝居してもらい楽しかった記憶があるので続けるのがよいと思う。	男性	30代
38	生涯学習→大人になって初めて知る事ばかりですが仕事をして始めて視野が広がりフィードバックできる事も多いと思うので大人になって⇒うみのこに乗るとか 改めて大人になってからおもう小学生と同じプログラムをこなして視野広げるようなプロジェクトがあったら地方創生にもつながると思います。	女性	30代
39	毎日仕事のため大変忙しく「生涯学習」について考える時間がありません。広報や回覧板等を見るようにして知っていききたいと思います。	女性	30代
40	生涯学習がこんなに広い意味だとは知りませんでした。出産を機に時間ができたので、色んな資格取得に励んでいます。勉強嫌いだった自分が今その面白さにハマっています。何ごともやり始めるのは遅くない。いろんな人に生涯学習をするキッカケができればと思います。	女性	30代
41	何を始めるにも遅すぎる事のない社会になればいいと思う。	男性	20代
42	生涯学習を通じて人々の生活がより豊かになればいいなあと思います。私自身もそういった取り組みに参加してみたいです。	女性	20代
43	よりよくなるために自分にできることから参加・発信していきたいという思いはあります。	女性	20代
44	もっと有意義な活動をすべき	男性	10代

生涯学習に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

大津市教育委員会では、市民の皆様が、ふだん、どのような事柄を学びたいと思っ
ていらっしゃるのか、また、どのようにして学んでいらっしゃるのかなどを調べるために、ア
ンケート調査を行うことになりました。

このアンケートの結果を生かして、大津市の生涯学習をより良いものにしていきたく
と考えております。お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、このアンケートのねら
いをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートは、どなたがお答えになったのか分からないようにして、すべ
て数字で整理しますので、あなたがお答えになった事柄が外部に漏れたり、ご迷惑をおかけ
したりすることは決してありません。お手数でございますが、お答え下さったアンケート
は、同封の封筒に入れて、**7月26日(月)まで**にお返し下さい。

「生涯学習」とは

人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や、
公民館における講座等の社会教育などの学習機会に限らず、自ら進んで行う学習や
スポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などの様々な学習活動のことを指しま
す。



■ お答えになるときの注意 ■

- ◇このアンケートは、宛名に記されたご本人がお答え下さい。
- ◇ご本人が何らかの都合でお答えができず、ご家族に18歳以上の方がおられる場合は、
その方が代わってお答え下さい。
- ◇このアンケートの提出は義務ではありませんが、市民の皆様の声を集めるためにも、
ぜひ積極的なご回答をお願いします。
- ◇質問によっては、○を付けていただく数が違います。一つだけ選んでいただく場合と、
いくつか選んで付けていただく場合がありますので、ご注意ください。
- ◇()には、あてはまる事柄を分かりやすくお書き下さい。
- ◇アンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
土・日・祝を除く開庁日の9時から17時までにお願いたします。

This is a questionnaire survey of lifelong learning. Answers are not obligatory.
If you have any questions, please contact us by email to otsu2403@city.otsu.lg.jp.

大津市教育委員会事務局生涯学習課

TEL 528-2635 (直通)

※ この調査は、大津市教育委員会が(株)名豊へ委託して実施しています。

■ 生涯学習のイメージについてお聞きします

問1 「生涯学習」とは、1.～10.のようなことをいいます。これらのうち、あなたはどのようなイメージを持っていましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
2. 趣味・教養を高めること
3. 職業上必要な知識・技能を身に付けること
4. 高齢者の生きがいを充実すること
5. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする
6. 公民館など自治体の講座や教室における学習活動
7. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動
8. 学校における学習活動
9. 大学等における社会人の学び直し（リカレント教育等）
10. 健康・体力づくりをすること
11. その他（)

■ 生涯学習の実態と必要性についてお聞きします

問2 あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。(○を1つ)

- | | | | |
|-------------|-------|------------|-------|
| 1. よくした | 【問3へ】 | 2. 時々した | 【問3へ】 |
| 3. あまりしなかった | 【問7へ】 | 4. 全くしなかった | 【問7へ】 |

問2で「1. よくした」か「2. 時々した」に○を付けた方にお聞きします

問3 あなたは、この1年くらいの間、どのくらい学習をしましたか。(○を1つ)

- | | | | |
|----------|----------|------------|----------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月2～3回程度 | 4. 年数回程度 |
|----------|----------|------------|----------|

問4 あなたは、どのような学習をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など）
2. 教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境など）
4. 健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）
5. 家族生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）
6. 育児・教育（家庭教育・幼児教育・教育問題など）
7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8. 情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページの使い方など）
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の正規課程での学習
12. その他（)

問5 あなたは学びを通して、地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じていますか。
(○を1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 大いに感じている | 2. まあ感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |

問6 新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動全般に変化はありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 研修会・講座・教室など集合形式の学習活動が減った |
| 2. 変化はなかった |
| 3. Webを活用した学習活動が増えた |
| 4. 在宅での学習活動が増えた |
| 5. その他 () |

問2で「3. あまりしなかった」か「4. 全くしなかった」に○を付けた方にお聞きします

問7 あなたが「生涯学習」をしなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 仕事や家事が忙しくて時間がとれないから |
| 2. 学習のための費用がかかるから |
| 3. 講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから |
| 4. 学習機会の情報(内容・場所)が入手できないから |
| 5. いっしょに参加する仲間がないから |
| 6. 指導者や運営の仕方が自分に合わないから |
| 7. 身近なところに施設や場所がないから |
| 8. 自分の希望にあう講座や教室がないから |
| 9. 家族や職場などの周囲の理解が得られないから |
| 10. 学習内容に魅力がないから |
| 11. 自分の意思が弱いから |
| 12. 計画がうまく作れないから |
| 13. 人前に出るのがおっくうだから |
| 14. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出を控えたり、機会がなくなったりしたから |
| 15. その他 () |

問8 あなたは、今後「生涯学習」をしたいと思いますか。(○を1つ)

- | | | | |
|-------------|--------|------------|--------|
| 1. ぜひしたい | 【問9へ】 | 2. できればしたい | 【問9へ】 |
| 3. あまりしたくない | 【問10へ】 | 4. 全くしたくない | 【問10へ】 |

問8で「1. ぜひしたい」「2. できればしたい」に○を付けた方にお聞きします

問9 あなたは、今後どのような学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など)
2. 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境など)
4. 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)
5. 家族生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)
6. 育児・教育(家庭教育・幼児教育・教育問題など)
7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
8. 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校(高等・専門・各種学校・大学・大学院など)の正規課程での学習
12. その他()

問10 あなたは、今後、オンライン学習をしたいと思いますか。(○を1つ)

- | | | | |
|----------|--------|-------------|--------|
| 1. したい | 【問11へ】 | 2. したいができない | 【問12へ】 |
| 3. したくない | 【問13へ】 | | |

問10で「1. したい」に○を付けた方にお聞きします

問11 オンライン学習をしたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. いつでも自分の好きな時間に学習できる
2. 自宅で学習できる
3. 外出先など好きな場所で学習できる
4. 人と会わずに学習できる
5. 学校や仕事上、オンラインでの学習が必要
6. 受講料が安価(または無料)
7. その他()

問10で「2. したいができない」に○を付けた方にお聞きします

問12 オンライン学習をしたいができない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. パソコンやスマートフォン等の機器を持っていない
2. パソコンやスマートフォン等の機器は持っているが、使い方がわからない
3. Wi-Fi等のインターネット環境が整っていない
4. 費用がかかる
5. その他()

■ 学習情報の入手についてお聞きします

問15 あなたは、普段情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ・ラジオ |
| 3. 雑誌・情報誌 | 4. 市の広報・情報誌 |
| 5. ちらし | 6. 回覧板 |
| 7. 掲示板・ポスター | 8. 電話 |
| 9. ファックス | 10. インターネット |
| 11. ケーブルテレビ | 12. 口伝え・口コミ |
| 13. アプリ・メール配信 | 14. その他 () |
| 15. 入手するつもりはない | |

問16 あなたは、特に「生涯学習」に関する情報を、どこから入手したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ・ラジオ |
| 3. 雑誌・情報誌 | 4. 市の広報・情報誌 |
| 5. ちらし | 6. 回覧板 |
| 7. 掲示板・ポスター | 8. 電話 |
| 9. ファックス | 10. インターネット |
| 11. ケーブルテレビ | 12. 口伝え・口コミ |
| 13. アプリ・メール配信 | 14. その他 () |
| 15. 入手するつもりはない | |

■ 学習成果の活用についてお聞きします

問17 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験をどの程度生かしていますか。
(○を1つ)

- | | | | |
|---------------|----------|---------------|----------|
| 1. 十分に生かしている | 【問 18 へ】 | 2. ある程度生かしている | 【問 18 へ】 |
| 3. あまり生かしていない | 【問 18 へ】 | 4. 全く生かしていない | 【問 18 へ】 |
| 5. 生涯学習をしていない | 【問 19 へ】 | | |

問 17で「1.十分に生かしている」「2.ある程度生かしている」「3.あまり生かしていない」「4.全く生かしていない」に○を付けた方にお聞きします

問18 あなたは、学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会教育施設での学習に関する指導・助言など
2. 地域の子育て・育児の支援
3. 地域のボランティアやNPO活動など
4. 子ども会やPTA並びに自治会などの地域活動
5. 自分の人生の充実
6. 健康の維持・増進
7. 自分の家庭生活や、子育て教育
8. 仕事や就職・転職
9. その他 ()
10. 生かしたいとは思わない

■家庭教育についてお聞きします

「家庭教育」とは、保護者が、子どもに対し、責任をもって生活のために必要な習慣を身につけさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図る教育をいいます。

子どもが、基本的な生活習慣や他人に対する思いやりなどの基本的倫理観、自立心や自制心を身につけるためには、家庭や保護者が重要な役割を担っています。

問19 あなたは、「家庭教育」という言葉を知っていましたか。(○を1つ)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問20 あなたは、家庭教育の推進について、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て・育児に関する資料などの提供
2. 子育て・育児に関する学習の機会の提供
3. 多くの人が参加しやすい内容の交流行事や場の設置
4. 家庭教育に関する出前講座の実施
5. 子どもを持つ家庭の不安や悩みを聞く人材の育成
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

問21 本市では、家庭教育推進の一環として、あいさつ、朝ごはん、会話の大切さなどを盛り込んだ「おおつ家庭教育5か条」を制定し、啓発活動を行っています。
あなたは、「おおつ家庭教育5か条」を知っていましたか。(○を1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問22 本市では、「おおつ家庭教育5か条」をどのように周知することが効果的だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 広報おおつ | |
| 2. 大津市のホームページ | |
| 3. その他 (|) |
| 4. あまり必要だとは思わない | |
| 5. 全く必要だとは思わない | |

■ 地域と学校の連携・協働についてお聞きします

問23 近年、学校と地域が連携・協働して学びの機会を提供することで、子どもたちの豊かな育ちを支援していこうという取組が盛んになっています。あなたは、こうした取組についてどう思われますか。(○を1つ)

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 大いに必要だと思う | 【問24へ】 |
| 2. まあ必要だと思う | 【問24へ】 |
| 3. あまり必要だとは思わない | 【問26へ】 |
| 4. 全く必要だとは思わない | 【問26へ】 |

問23で「1. 大いに必要だと思う」「2. まあ必要だと思う」に○を付けた方にお聞きします

問24 あなたは、地域と学校の連携・協働の取組において、何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 公民館やコミュニティセンターなど社会教育施設等と連携した学び | |
| 2. 地元企業や団体・組織と協力した学び | 3. 高齢者や学生などの地域人材の活用 |
| 4. 学校行事等への地域住民の参加 | 5. 部活動での指導や交流 |
| 6. 地域住民による登下校指導などの安全管理 | 7. 放課後の居場所支援 |
| 8. 貧困家庭の子どもたちに対しての支援 | 9. 行事・事業の合同開催 |
| 10. その他 (|) |

問25 あなたは、問24に示したような活動に、地域住民として参加したいですか。(○を1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. できれば参加したい |
| 3. あまり参加したくない | 4. 全く参加したくない |

問26 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域や社会での活動に関する情報提供
2. 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り
3. コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
4. 活動の成果が社会的に評価されること
5. 交通費などの必要経費の支援
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

問27 あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域住民間の交流
2. 地域の子育て支援や家庭教育支援
3. 健康づくり・スポーツ振興
4. 防犯・防災、安全な地域・まちづくり
5. 地域の歴史・文化・伝統の継承
6. 地域の環境保全
7. 学校の教育活動支援
8. 高齢者支援
9. その他 ()
10. わからない

■ 公民館・コミュニティセンターについてお聞きします

問28 あなたは公民館・コミュニティセンターに、どういったことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習の内容をもっと充実してほしい
2. サービスを充実するなど、もっと利用しやすくしてほしい
3. 生涯学習についての専門的な指導員を置いてほしい
4. 地域の人が集まる場にしてほしい
5. もっと情報を発信してほしい
6. 場所・部屋の提供をしてほしい
7. 家庭教育などの情報が得られる場所にしてほしい
8. 使用要件を緩和し、利用しやすくしてほしい
9. その他 ()

問33 あなたは大津市が設置している図書館を利用するにあたり、どのようなことを望みますか。
(項目ごとの上位3つに○)

<p>① 機能面 (○は3つまで)</p>	<p>1. 本の種類を増やすこと 2. 児童サービスを充実させること 3. 生活課題や地域課題の解決に向けた支援を充実させること 4. 読書関連事業を充実させること 5. 障害者サービスを充実させること 6. 電子図書を増やすこと 7. 開館時間を延長すること 8. その他 ()</p>
<p>② 施設環境面 (○は3つまで)</p>	<p>1. 授乳室、キッズスペース、読書スペース、学習スペース等の環境が整っていること 2. 書架スペースを増やすこと 3. くつろぎやすい館内の環境を整備すること 4. 返却場所を増やすこと 5. 貸出場所を増やすこと (移動図書館の巡回場所を含む) 6. 駐車場を整備すること 7. 行きやすい場所にあり気軽に立ち寄れること 8. その他 ()</p>

問34 あなたの家から近隣の図書館までの所要時間はどのくらいですか。(交通手段は問いません。)
(○を1つ)

1. 15分未満	2. 15分以上 30分未満	3. 30分以上 1時間未満
4. 1時間以上	5. わからない	

■ 子どもの読書活動の推進についてお聞きします

大津市では現在、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。こうした取組に関わって、あなたの読書活動の状況やご意見をお聞かせください。

問35 あなたは本（漫画、雑誌は除く）を読むことが好きですか。(○を1つ)

1. 好き	2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い	4. 嫌い

問36 あなたは子どもの頃、読み聞かせをしてもらったことはありますか。(○を1つ)

1. よくしてもらっていた	2. 時々してもらっていた
3. あまりしてもらっていない	4. してもらっていない

問37 あなたは、子どもの読書活動を推進するために、家庭、地域、学校でどのような取組が必要だと考えますか。それぞれで必要だと思うものに○を2つまで付けてください。

(1)「家庭」での取組 (○を2つまで)

1. 子どもに読み聞かせをする
2. 家庭内で子どもが読書をする時間をつくる
3. 家族で一緒に読書をする時間をつくる
4. 保護者が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
5. 本を購入するなどし、子どもが読みたい本をいつでも読めるようにしておく
6. 保護者が読書の重要性について理解する
7. 保護者自らが進んで読書をする
8. 保護者が積極的に子どもを図書館などや書店へ連れて行く
9. その他 ()

(2)「地域」での取組 (○を2つまで)

1. 地域の人が学校図書館の運営 (本の貸出や書架の整理など) に参加する
2. 学校や地域で活動する人や子ども読書活動団体を育成する
3. 図書館などを子どもが利用しやすい読書環境に整備する
4. 図書館などの蔵書を充実させる
5. 図書館などで子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
6. 図書館、学校図書館、子ども読書活動団体のそれぞれが連携を深める
7. 児童館や公民館などで読み聞かせ会やおはなし会などを積極的に実施する
8. その他 ()

(3)「学校」での取組 (○を2つまで)

1. 保育園、幼稚園、学校の先生が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
2. 学校での読書の時間を増やす
3. 学校図書館に専任の司書職員^{※1}を配置する
4. 学校図書館を子どもが利用しやすい読書環境に整備する
5. 学校図書館の蔵書を充実させる
6. その他 ()

※1 専任の司書職員：いわゆる「学校司書」。学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員のこと。平成26年6月に学校図書館法が一部改正され、配置の努力義務が規定されました。

■ 「おおつ学」についてお聞きします

近年、生涯学習の分野で自分の住む地域のことを学ぶ「地域学」がいろいろな所で展開されており、大津市でも地域リーダーとして必要な知識を学ぶ「大津人実践講座」があります。

問38 あなたは、「おおつ学」のことをご存じでしたか。(○を1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問39 あなたは、大津についての歴史や文化、環境等を学ぶ機会があれば、参加してみたいと思いますか。(○を1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. できれば参加したい |
| 3. あまり参加したくない | 4. 全く参加したくない |

■ あなたの日常のお付き合いについてお聞きします

問40 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。それぞれについて○を1つ付けてください。

(1) 付き合いの程度 (○を1つ)

- | |
|---|
| 1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる |
| 2. 日常的に立ち話しをする程度の付き合いは、している |
| 3. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない |
| 4. 付き合いは全くしていない |

(2) 付き合いしている人の数 (○を1つ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある (概ね 20 人以上) |
| 2. ある程度の人と面識・交流がある (概ね 5～19 人) |
| 3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある (概ね 4 人以下) |
| 4. 隣の人がだれかも知らない |

問45 あなたはどちらの地域（学区）にお住まいですか。（○を1つ）

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 小松学区 | 2. 木戸学区 | 3. 和邇学区 |
| 4. 小野学区 | 5. 葛川学区 | 6. 伊香立学区 |
| 7. 真野学区 | 8. 真野北学区 | 9. 堅田学区 |
| 10. 仰木学区 | 11. 仰木の里学区 | 12. 雄琴学区 |
| 13. 日吉台学区 | 14. 坂本学区 | 15. 下阪本学区 |
| 16. 唐崎学区 | 17. 滋賀学区 | 18. 山中比叡平学区 |
| 19. 藤尾学区 | 20. 長等学区 | 21. 逢坂学区 |
| 22. 中央学区 | 23. 平野学区 | 24. 膳所学区 |
| 25. 富士見学区 | 26. 晴嵐学区 | 27. 石山学区 |
| 28. 南郷学区 | 29. 大石学区 | 30. 田上学区 |
| 31. 上田上学区 | 32. 青山学区 | 33. 瀬田学区 |
| 34. 瀬田南学区 | 35. 瀬田東学区 | 36. 瀬田北学区 |

問46 最後に、「生涯学習」に関して、あなたのご意見、ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

大津市
生涯学習に関する市民アンケート調査
調査結果報告書

令和4年3月発行

発行：大津市教育委員会事務局生涯学習課 TEL：077-528-2635
住所：〒520-8575 大津市御陵町3-1 FAX：077-523-5735
E-mail：otsu2403@city.otsu.lg.jp
